

札幌市文化芸術活動実態調査

報告書

令和3年3月
札幌市市民文化局文化部文化振興課

目 次

I. 調査の概要

(1) 調査の目的	1
(2) 調査の内容	1
(3) 凡例	1

II. 調査の結果

(1) 調査結果の要約	3
(2) 個人向け調査	6
1. 基本情報	6
1-1 性別	6
1-2 居住区	6
1-3 年代	7
2. 文化芸術分野の活動状況・制作環境	8
2-1 現在、力を入れて取り組んでいる文化芸術活動	8
2-2 現在、最も力を入れて取り組んでいる文化芸術活動	11
2-3 文化芸術活動における主な役割	13
2-4 文化芸術活動の活動期間	14
2-5 創作、企画制作、技術提供、施設運営、教育研究の拠点	14
2-6 創作、企画制作、技術提供、施設運営、教育研究を行っていた場所	15
2-7 文化芸術活動の展開、作品の発表や販売を行っている場所	16
2-8 文化芸術活動の発表や作品の販売を行っていた施設・スペース	17
2-9 文化芸術活動の発表形態・回数	18
2-10 オンライン発表の有無	19
2-11 文化芸術活動に費やした時間	19
2-12 情報を発信する際に利用する媒体	19
2-13 情報を受け取る際に利用する媒体	20
2-14 文化芸術団体への所属・参加状況	20
3. 文化芸術活動による収入等	21
3-1 文化芸術活動への関わり方と収入の状況	21
3-2 文化芸術活動の主な雇用形態	23
3-3 文化芸術活動以外の主な雇用形態	23

3-4	個人の年間所得	25
3-5	文化芸術活動による所得	30
3-6	文化芸術活動による支出	34
3-7	文化芸術活動の主な財源	38
3-8	助成金・補助金の申請状況（2019年）	38
3-9	助成金・補助金の申請状況（2020年）	39
3-10	申請した「文化芸術活動の継続支援事業」の種別・件数	39
3-11	助成金・補助金を申請しなかった理由	40
3-12	クラウドファンディングへの取組状況	40
4.	文化芸術活動に関する課題	41
4-1	不足している・課題だと感じていること	41
5.	文化芸術活動に対する意識等	45
5-1	文化芸術活動を続けている・行っている理由	45
5-2	文化芸術が社会にもたらす効果	46
5-3	現在、接点・関わりのある「他の文化芸術分野」	47
5-4	今後、接点・関わりを持ちたい「他の文化芸術分野」	49
5-5	現在、接点・関わりのある「社会分野」	51
5-6	今後、接点・関わりを持ちたい「社会分野」	52
5-7	今後、接点・関わりを持ってやってみたいこと	54
5-8	連携を進める上での課題	58
5-9	意見・要望・課題等	59
(3)	団体向け調査	63
1.	基本情報	63
1-1	団体の形態	63
1-2	事務所の所在地	63
1-3	団体構成員の種別・人数	64
2.	文化芸術分野の活動状況・制作環境	65
2-1	現在、力を入れて取り組んでいる文化芸術活動	65
2-2	現在、最も力を入れて取り組んでいる文化芸術活動	68
2-3	文化芸術活動における主な役割	70
2-4	文化芸術活動の活動期間	71
2-5	創作、企画制作、技術提供、施設運営、教育研究の拠点	71
2-6	文化芸術活動の制作・練習、企画構想を行っていた場所	72
2-7	文化芸術活動の展開、作品の発表や販売を行っている場所	73

2-8	文化芸術活動の発表や作品の販売を行っていた施設・スペース	74
2-9	文化芸術活動の発表形態・回数	75
2-10	オンライン発表の有無	76
2-11	文化芸術活動に関わった時間	76
2-12	情報を発信する際に利用する媒体	76
2-13	情報を受け取る際に利用する媒体	77
3.	文化芸術活動による収入等	78
3-1	文化芸術活動による収入・売上の状況	78
3-2	文化芸術活動による支出の状況	81
3-3	文化芸術活動の主な財源	84
3-4	助成金・補助金の申請状況（2019年）	84
3-5	助成金・補助金の申請状況（2020年）	85
3-6	「文化芸術活動の継続支援事業」Bの申請状況	85
3-7	助成金・補助金を申請しなかった理由	86
3-8	クラウドファンディングへの取組状況	86
4.	文化芸術活動に関する課題	87
4-1	不足している・課題だと感じていること	87
5.	文化芸術活動に対する意識等	90
5-1	文化芸術活動を続けている・行っている理由	90
5-2	文化芸術が社会にもたらす効果	91
5-3	現在、接点・関わりのある「他の文化芸術分野」	92
5-4	今後、接点・関わりを持ちたい「他の文化芸術分野」	94
5-5	現在、接点・関わりのある「社会分野」	96
5-6	今後、接点・関わりを持ちたい「社会分野」	97
5-7	今後、接点・関わりを持ってやってみたいこと	99
5-8	連携を進める上での課題	101
5-9	意見・要望・課題等	102

III. 資料編

(1)	個人向け調査 調査票（Web用）	105
(2)	団体向け調査 調査票（Web用）	123
(3)	個人向け調査 調査票	139
(4)	団体向け調査 調査票	153

I. 調査の概要

(1) 調査の目的

札幌市では、文化芸術関係者が新型コロナウイルス感染症の影響を受けていることも踏まえ、市の文化芸術に関する短期的及び中長期的な施策の推進に関して意見交換を行うため、有識者、芸術家、市民等で構成する「札幌文化芸術未来会議（以下「未来会議」という。）」を設置している。

未来会議における意見交換も踏まえた結果、文化芸術施策の方向性や具体的な施策の検討に当たっては、文化芸術活動の現状、課題及びニーズ等の実態を幅広く把握する必要があると思われたため、札幌市在住及び札幌市を活動の拠点とする文化芸術関係者を対象として、広く活動実態等を把握するためのアンケート調査を行うこととした。

(2) 調査の内容

- | | |
|---------|---------------------------------|
| 1. 調査対象 | 札幌市在住及び札幌市を活動の拠点とする文化芸術活動を行う関係者 |
| 2. 調査方法 | Web アンケートおよび紙媒体の郵送・配架にて実施 |
| 3. 調査期間 | 令和3年1月29日～令和3年2月16日 |
| 4. 回収数 | 個人向け調査：1,267 団体向け：238 |

(3) 凡例

- ・ <SA>はシングルアンサー（単一回答）、<MA>はマルチアンサー（複数回答）、<1～3A>は選択肢を1つ～3つまで選択できる回答、<IN>は数値記述回答を表わす。また、集計にあわせて回答形式を変更している項目もあるため、調査時の形式とは異なるものもある。
- ・ サンプル数 N は、注記のない限り、非該当者（その設問に答える必要のない方）を除いた数であるため、回収数以下になる。
- ・ 割合は、原則として回答不明者を除いて集計している。
- ・ 集計結果は、小数第2位を四捨五入し、小数第1位までを表示しているため、割合の合計が100.0にならない場合がある。
- ・ 複数の選択肢を回答可能な設問については、各選択肢の回答数を回答された総数で割った割合を表示している。そのため、各選択肢の割合の合計は100.0を超える場合がある。
- ・ グラフでは、最も高い割合の項目は （赤色の丸）、2番目に割合が高い項目は （青色の丸）、3番目に割合が高い項目は （緑色の丸）で

印をつけている（項目数によっては2番目に高い割合、3番目に高い割合には印がついていないことがある）。

- ・表では、各行ごとに最も高い割合のセルは濃いオレンジ、2番目はオレンジ、3番目は薄いオレンジに着色している。
- ・中間値とは、データを小さいものから順に並べた際にちょうど中間に来る値である（データが偶数個の際は中央2データの平均値をとる）。数値記述回答にて極端に値が大きいデータが存在する際、平均値はそれに大きく影響されてしまうため、中間値を平均値と合わせて表記している。（例：5つのデータ「1,1,1,1,100」の平均値は20.8、中間値は1となる）
- ・各設問におけるクロス集計は、コメント中では〈Q1×Q2〉のように表側（表の左側にある、クロス集計の軸となる設問）の設問番号を先に、表頭（表の上側にある、クロス集計の集計対象となる設問）の設問番号を後に記載してある。

II. 調査の結果

(1) 調査結果の要約

1. 基本情報

個人は、『性別』は男女ほぼ半数、『年代』は40代(23.7%)の割合が最も高かった。特に、30～50代は回答者全体の約6割を占めている。

団体は、「法人でない団体(34.0%)」の『形態』が、また『構成人数』は10人未満の団体が回答者全体の約半数を占めている。

2. 文化芸術分野の活動状況・制作環境

『現在、最も力を入れて取り組んでいる文化芸術活動』の分野は、「音楽」、「美術」、「演劇」が多く、個人では全体の約7割、団体では全体の約6割を占めている。また、『文化芸術活動における主な役割』は、個人・団体ともに「創作発表」が個人は約7割、団体が約6割と最も多く、次いで「企画制作」、「教育研究」の順となっている。

個人が『創作、企画制作、技術提供、施設運営、教育研究を行っていた場所』および団体が『制作・練習、企画構想を行っていた場所』は、2019年に比べて2020年は「自宅」や「団体が賃貸する事務所・工房・スペース」など、個人や団体が所有するスペースを利用する割合は増加しているが、不特定多数の人が利用する公立・民間施設などを利用する割合は軒並み減少している。同様に、『文化芸術活動の発表や作品の販売を行っていた施設・スペース』も施設等の利用が軒並み減少するなか、「ウェブ・動画配信」を選択する個人・団体が増えている。一方で、「なし」という回答も増加している。

『文化芸術活動に関わった時間』について、個人は平均23.4時間/週(2019年)から18.6時間/週(2020年)、中間値は15時間/週(2019年)から10時間/週(2020年)に、団体は平均23.3時間/週(2019年)から15.1時間/週(2020年)、中間値は15時間/週(2019年)から8時間/週(2020年)に減少している。

新型コロナウイルス感染症対策による文化芸術活動の停止・制限等の影響が、活動場所の制限や活動時間の縮小という結果に表れていることが見てとれる。

3. 文化芸術活動による収入等

個人では、約4割が文化芸術活動を生活の収入源としている。また、雇用形態は「個人事業主・フリーランス(81.5%)」が多かった。

『個人の年間所得』は、300万円未満の割合が約7割(2020年)を占めている。特に100万円未満は約3割で、2019年に比べて6.1ポイント増加している。また、『文化芸術活動による所得』も、平均は78.0万円(2019年)から46.4万円(2020年)に、中間値は50万円(2019年)から20万円(2020年)に減少している。

また、個人の『文化芸術活動による支出』は、『性別・年代別』、『分野別』、『役割別』とのクロス集計いずれにおいても「0円超～25万円未満」が最も高い割合を占めている。一方で、2020年は所得・支出ともに「0円」の割合も高くなっており、所得・支出それぞれに新型コロナウイルス感染症対策による文化芸術活動の停止・制限等の影響が出たと推測される。

団体の『文化芸術活動の収入・売上額』は、平均額が1億432.6万円(2019年)から5,365.3万円(2020年)に、中間値が100万円(2019年)から30万円(2020年)に減少している。

『文化芸術活動の収入・売上額』と『団体形態別』とのクロス集計をみると、個人事業所や法人でない団体において「0円超～500万円未満」との回答が多く、2020年はどちらも5割を超えている。一方で、2020年は『収入・売上額』、『支出』ともに「0円」の割合も高くなっており、こちらも個人同様、新型コロナウイルス感染症対策による文化芸術活動の停止・制限等の影響が出たと推測される。

『文化芸術活動関連の助成金・補助金』については、個人は81.5%、団体は63.2%が申請していなかった(2020年)。『申請しなかった理由』としては、「活動に適した助成金・補助金がなかった」、「情報を知らなかった」などが多く挙げられた。

『文化芸術活動の主な財源』は、個人・団体ともに「チケット収入や作品の売り上げ」が約半数を占めている。他には、個人が「出演料、講師料、振付料、作曲料、原稿料等」、「貯金、株や家賃などの不労所得等、文化芸術活動以外の収入(給与等)」、団体が「構成員からの会費」、「代表者や主要メンバーの自己負担」を多く挙げている。

「チケット収入や作品の売り上げ」を主な財源とする個人・団体が多いなか、発表や収入を得るための場・機会が減少したため、文化芸術活動の継続や日々の生活が困難になっている状況がうかがえる。

4. 文化芸術活動に関する課題

『文化芸術活動をするにあたって不足している・課題だと感じていること』は、個人・団体ともに【場・機会】分野に関する課題が多く挙げられた。具体的な課題としては、個人では【場・機会】発表の場・機会(49.4%)、「【場・機会】収入を得るための場・機会(48.3%)」、「【資金】発表の資金」など、団体では【資金】日常的な活動経費(43.6%)、「【場・機会】発表の場・機会(43.1%)」、「【資金】発表の資金(41.3%)」などの、文化芸術活動を披露する場・機会や披露に必要な資金に関する課題が多く挙げられた。

5. 文化芸術活動に対する意識等

『文化芸術活動を行っている理由』は、「人との交流、相互理解や関係を築く」、「趣味や余暇活動の充実、生き甲斐の創出」が多く挙げられた。他にも、個人では「アイデンティティの形成や自己肯定感の向上(56.7%)」、団体では「自己表現及びコミュニケーション能力の拡大(47.6%)」など、自己表現や人々との交流に関する理由が多く挙げられた。

『文化芸術が社会にもたらす効果』は、個人・団体ともに「人々が生きる楽しみを見出せる」が特に多く、8割以上の方が挙げた。他にも「人々の創造性の向上」、「地域社会・経済の活性化」、「子どもの豊かな心の育み」などが多く挙げられた。

『今後、接点・関わりを持ちたい「他の文化芸術分野」』は、「音楽」、「美術」、「メディア芸術」などの分野が多く、具体的な内容としては、「【美術】映像」、「【メディア芸術】デジタル技術を活用した芸術表現」、「【メディア芸術】映画」など、映像に関するものやデジタル技術を活用した芸術表現に注目が集まっていることがうかがえる。

現在、接点・関わりのある「社会分野」と今後、接点・関わりを持ちたい「社会分野」に

かけての増減の状況を見ると、「多文化共生」、「国際交流」で、今後、接点・関わりを持ちたいとの希望が多く挙げられた。また、個人では「環境」分野でもポイントの増分（9.3ポイント）が高かった。

今後、接点・関わりを持ってやってみたいことでは、個人・団体ともに「コラボ・異分野での創作など」、「国・地域・多世代などの交流」に関することが多く挙げられた。

『連携を進める上での課題』としては、個人・団体ともに「コーディネーター（繋ぐ人、導く人など）がない」、「連携のための助成金・補助金がない」など、連携を促す人材や連携の際に必要な資金に関することが課題として多く挙げられている。

意見・要望・課題等では、個人・団体ともに「申請方法の簡便化・申請対象の拡大など」、「日常的な活動経費の補助・減免など」が多く挙げられた。他にも、個人では「発表の場・機会の増加」、「広報・告知・情報発信などの場・機会の増加」、団体では「(用途によらない)助成金・補助金等の給付」など、発表の場・機会の増加に関することや助成金・補助金に関すること、文化芸術活動に掛かる費用負担の軽減の要望などが多く挙げられた。

(2) 個人向け調査

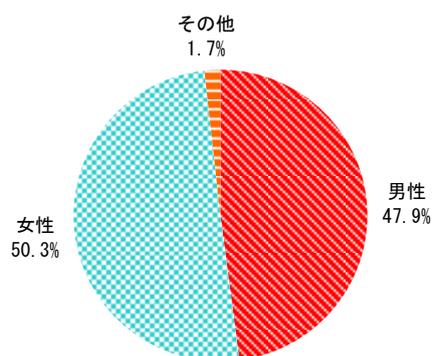
1. 基本情報

まず、あなたの基本情報をお聞きします。

- 性別〈Q1〉は、男女ほぼ半数で、「女性 (50.3%)」がわずかに多かった。
- 居住区〈Q2〉は、「中央区 (22.1%)」が最も多く、全体の約 2 割であった。次いで「北区 (12.0%)」、「豊平区(11.3%)」の順となっている。一方、「札幌市外」と回答した割合も約 1 割あった。
- 年齢〈Q3〉は、30～50 代が回答者全体の約 6 割を占めている。特に「40 代 (23.7%)」が最も多く、次いで 30 代 (20.9%)、50 代 (17.2%) の順となっている。

1-1 性別

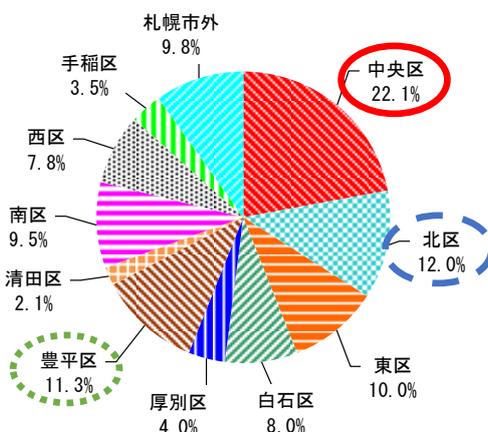
Q1. あなたの性別をお答えください。〈SA〉



(N=1,262)

1-2 居住区

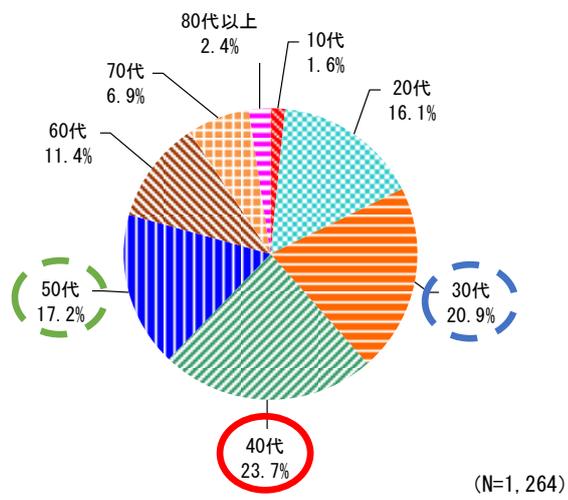
Q2. お住まいの区をお答えください。〈SA〉



(N=1,265)

1-3 年代

Q3. 年齢をお答えください。〈SA〉



2. 文化芸術分野の活動状況・制作環境

文化芸術分野の活動状況や制作環境についてお聞きします。

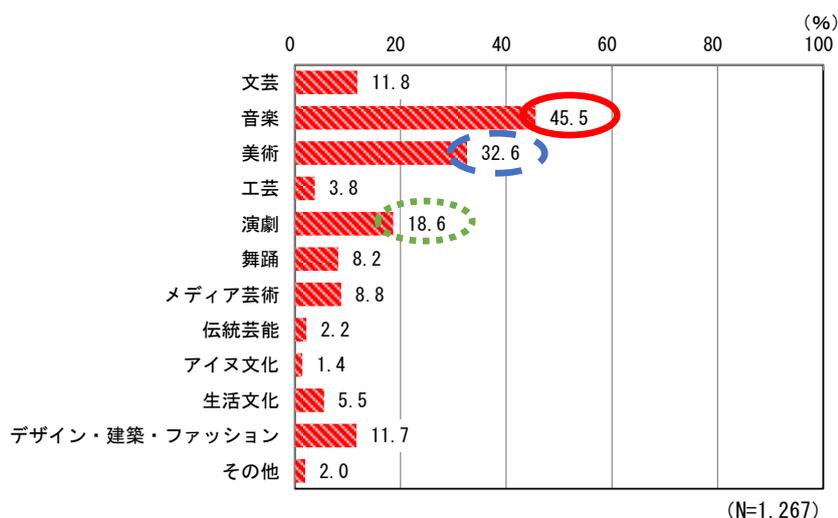
- 現在、最も力を入れて取り組んでいる文化芸術活動の分野〈Q5〉は、「音楽（38.1%）」、「美術（18.8%）」、「演劇（14.2%）」が多く、回答者全体の約7割であった。
- 文化芸術活動における主な役割〈Q6〉は、「創作発表(73.7%)」が最も多く、約7割であった。次いで、「企画制作(22.5%)」、「教育研究(19.4%)」の順となっている。
- 活動期間〈Q7〉は、「10～19年(29.7%)」が最も多く、回答者全体の約3割であった。次いで、「30年以上(22.0%)」も多く挙げられた。
- 創作、企画制作、技術提供、施設運営、教育研究を行っていた場所〈Q9・Q10〉は、2019年に比べて2020年は「施設(賃貸・無償)」利用が軒並み減少するなか、「自宅」は5.0ポイント増加している。
- 文化芸術活動の発表や作品の販売の施設・スペース〈Q12・Q13〉も、2019年に比べて2020年は「施設」を利用するという回答が軒並み減少するなか、「ウェブ・動画配信」は13.9ポイント増加している。一方で、「なし」という回答も9.1ポイント増加している。
- 文化芸術活動に費やした時間〈Q19〉は、平均は23.4時間／週(2019年)から18.6時間／週(2020年)に、中間値は15時間／週(2019年)から10時間／週(2020年)に減少している。

2-1 現在、力を入れて取り組んでいる文化芸術活動

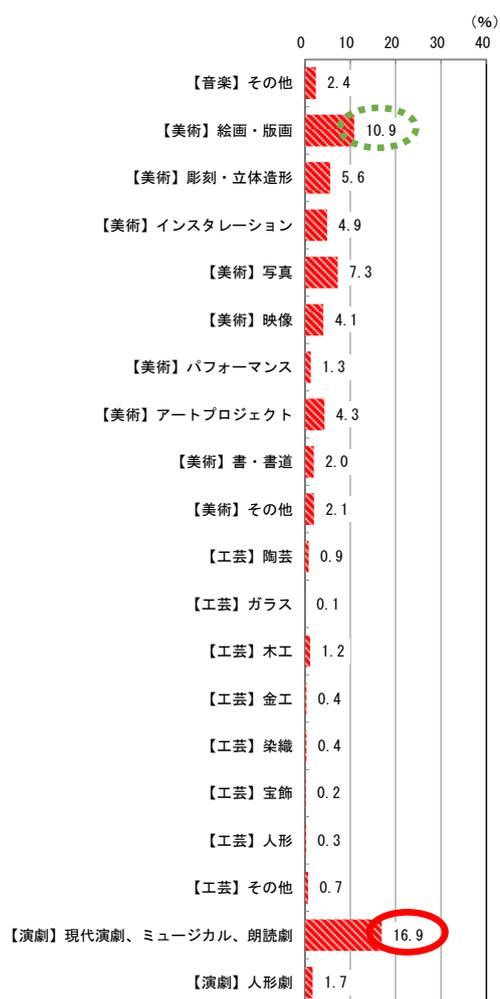
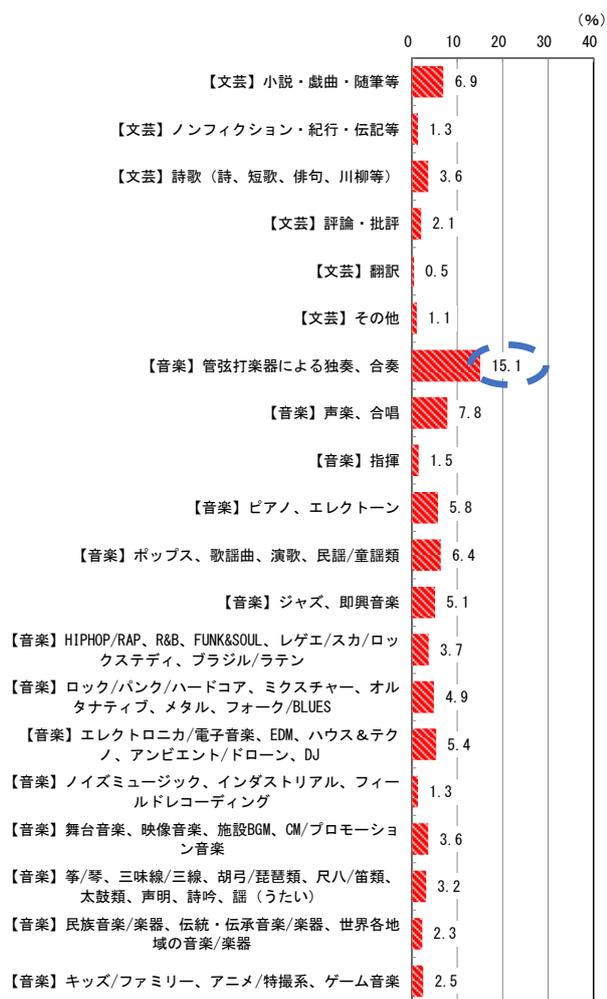
Q4. 現在、あなたが力を入れて取り組んでいる文化芸術活動を3つまでお答えください
 (※次問以降ではここでご回答いただいた「文化芸術活動」についてお答えください)。

<1～3A>

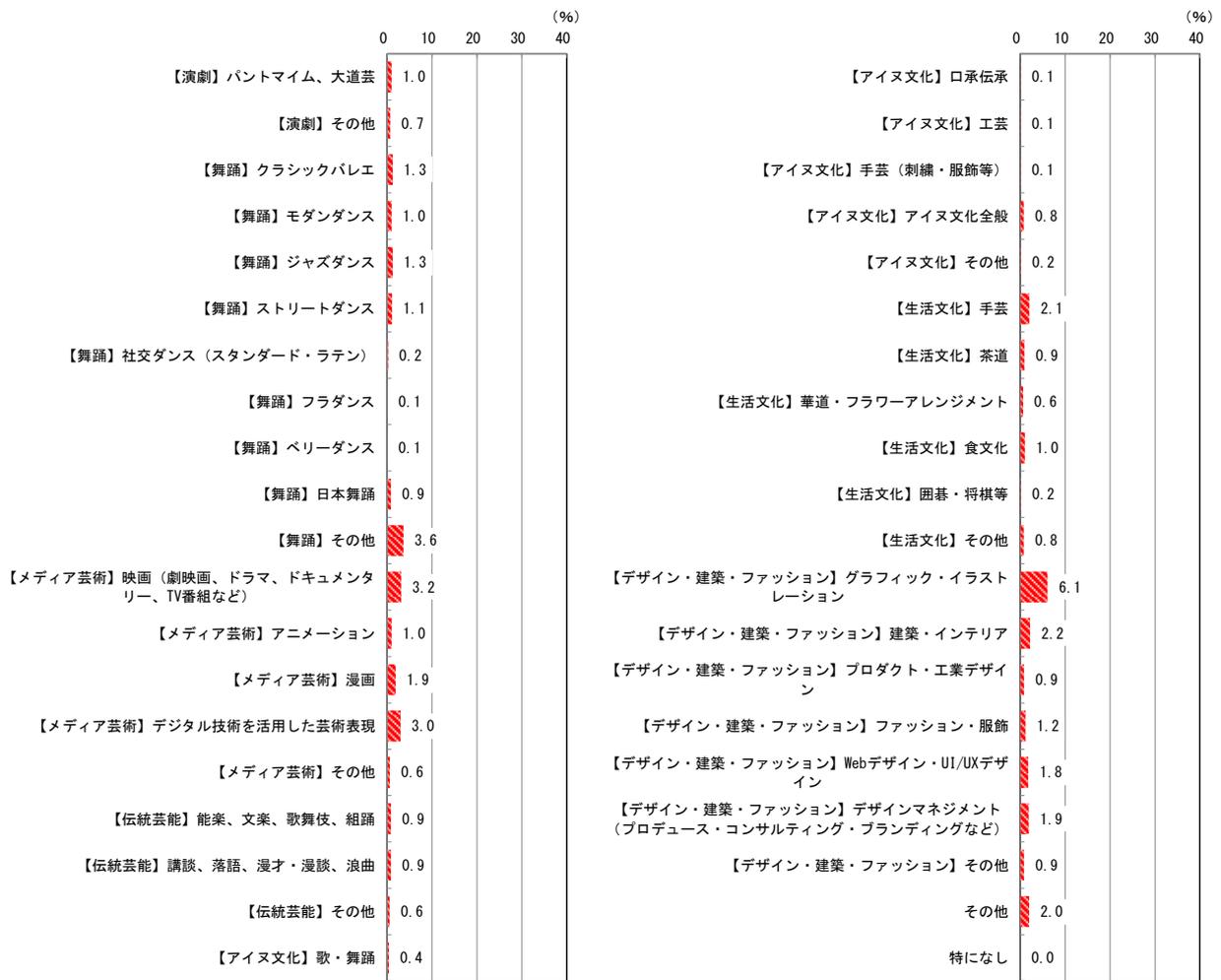
Q4. 現在取り組んでいる文化芸術活動 分野ごとの集計<MA>



Q 4. 現在取り組んでいる文化芸術活動 各分野の内訳<MA>



Q 4. 現在取り組んでいる文化芸術活動 各分野の内訳<MA> ※前頁の続き

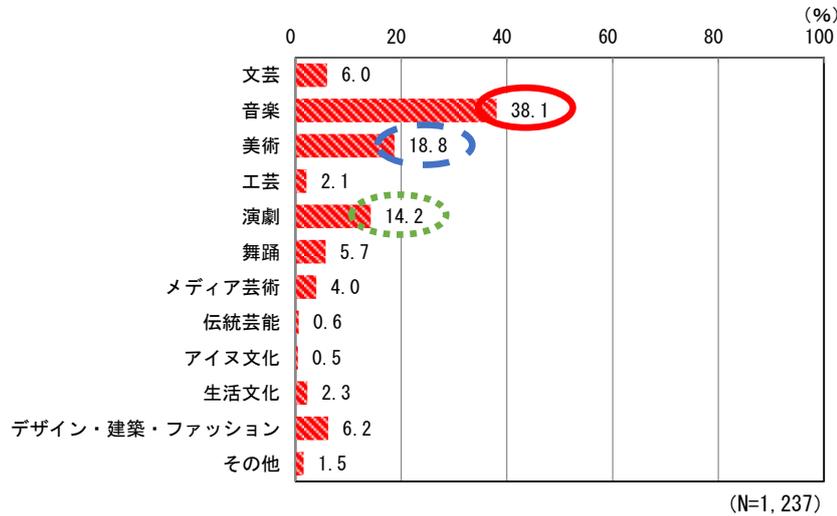


(N=1,267)

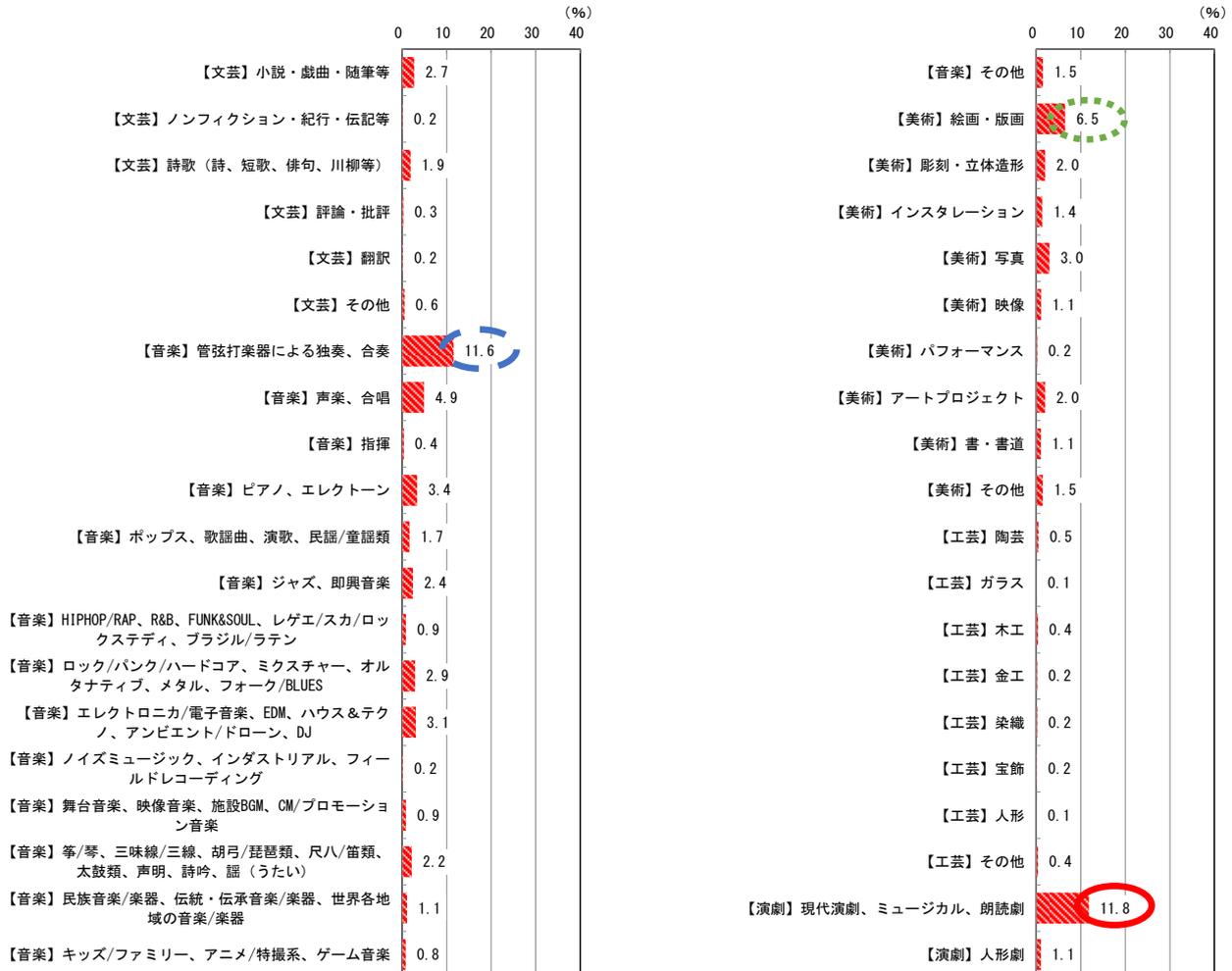
2-2 現在、最も力を入れて取り組んでいる文化芸術活動

Q5. 前問でお答えいただいた中で、現在、あなたが最も力を入れて取り組んでいる文化芸術活動をお答えください。<SA>

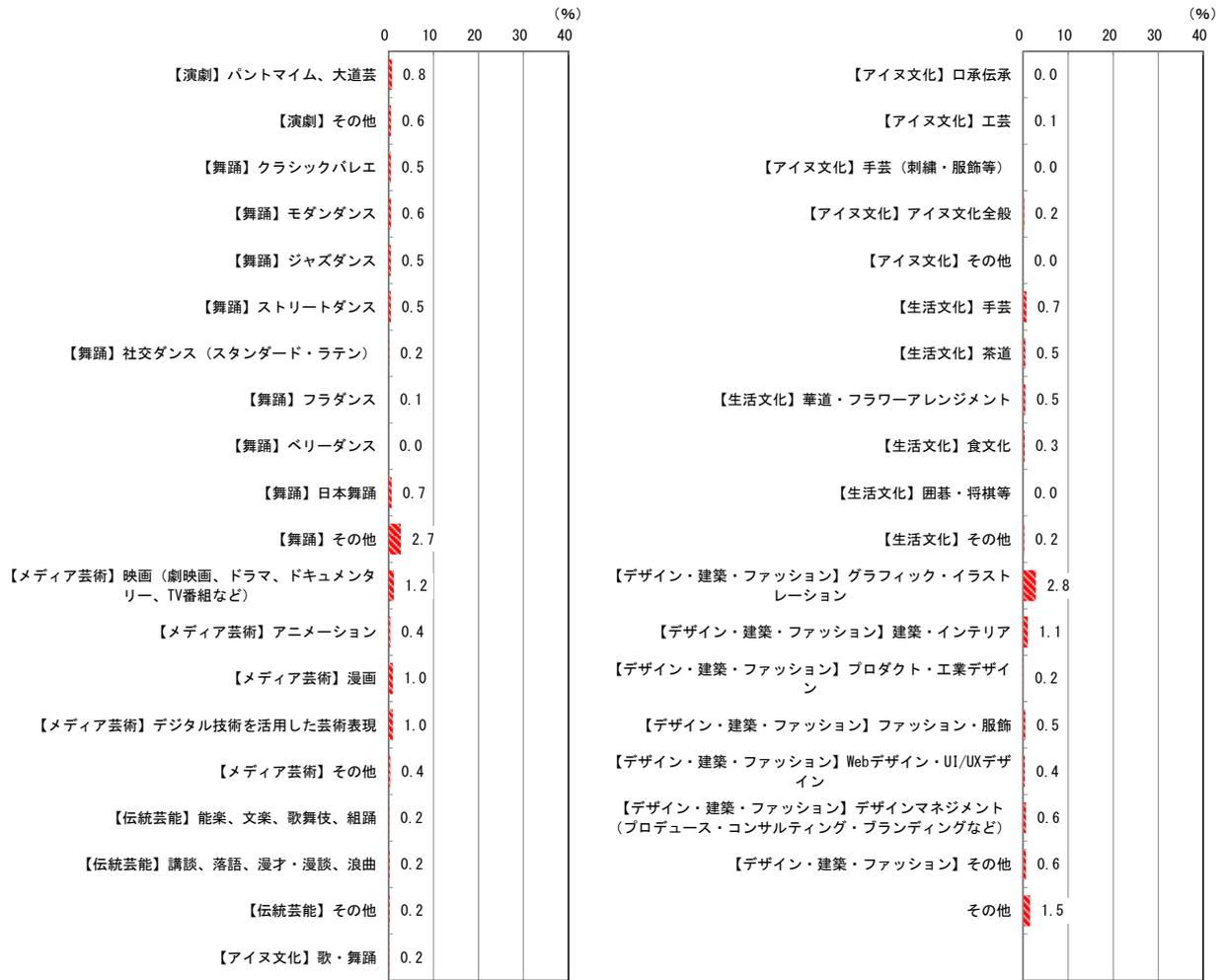
Q5. 最も力を入れて取り組んでいる文化芸術活動 分野ごとの集計<SA>



Q5. 最も力を入れて取り組んでいる文化芸術活動 各分野の内訳<SA>



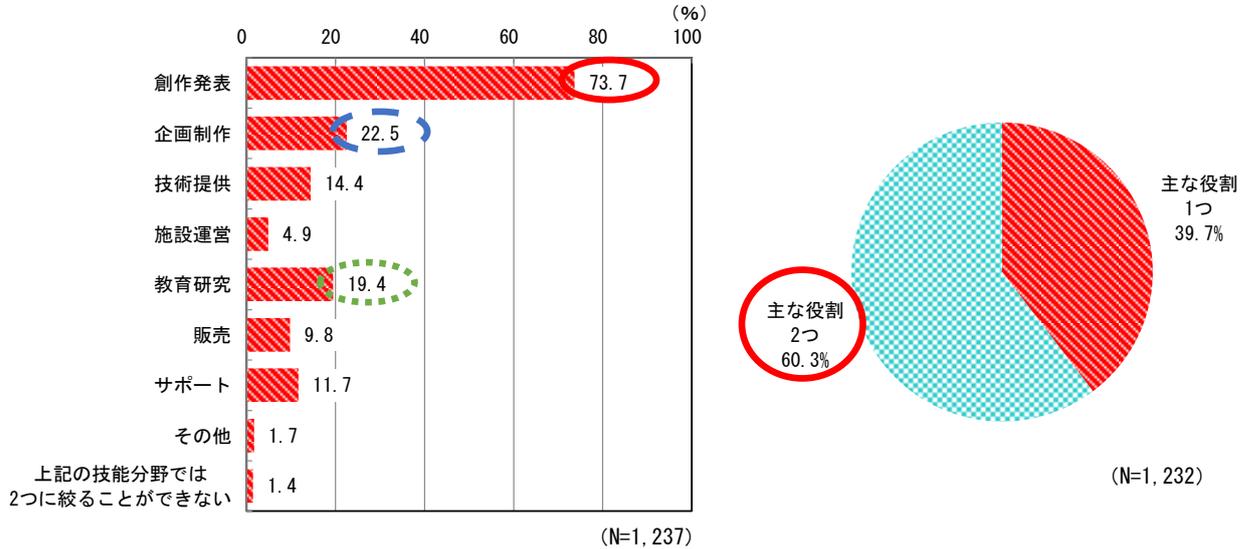
Q 5. 最も力を入れて取り組んでいる文化芸術活動 各分野の内訳<SA> ※前頁の続き



(N=1, 237)

2-3 文化芸術活動における主な役割

Q6. あなたが関わっている文化芸術活動における主な役割を、優先順位の高い順に最大2つまでお答えください。〈1~2A〉



Q6. 文化芸術活動の主な役割 役割の内訳
 (「主な役割」が2つあると回答した方のみ)

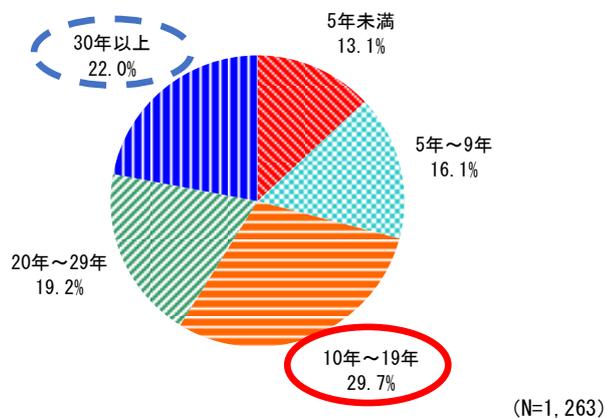
(%)

	創作発表	企画制作	技術提供	施設運営	教育研究	販売	サポート	その他
全体 (N=743)	78.2	34.3	21.1	7.0	29.6	14.7	13.3	1.7
創作発表 (N=581)	100.0	26.3	15.7	2.2	31.7	14.3	8.6	1.2
企画制作 (N=255)	60.0	100.0	14.1	9.0	3.9	3.9	8.6	0.4
技術提供 (N=157)	58.0	22.9	100.0	5.7	7.0	2.5	3.8	-
施設運営 (N=52)	25.0	44.2	17.3	100.0	1.9	7.7	3.8	-
教育研究 (N=220)	83.6	4.5	5.0	0.5	100.0	0.9	4.5	0.9
販売 (N=109)	76.1	9.2	3.7	3.7	1.8	100.0	5.5	-
サポート (N=99)	50.5	22.2	6.1	2.0	10.1	6.1	100.0	3.0
その他 (N=13)	53.8	7.7	-	-	15.4	-	23.1	100.0

創作発表：音楽や舞台芸術、映画等の出演、公演、上演、作品創作〔作曲、脚本、演出、振付〕、大道芸、写真家、舞踏家、美術やメディア芸術等の作品創作・発表、その他の創作発表
 企画制作：プロデューサー、ディレクター、キュレーター、マネージャー、プロモーター、コーディネーター、中間支援、その他の企画制作
 技術提供：照明技術、音響技術、舞台技術・舞台管理、道具・衣装製作、展示設営、撮影・編集・プログラミング、デザイン、調律、トレーナー、通訳・翻訳、その他の技術提供
 施設運営：ホール・劇場、美術館・博物館、映画館、貸スペース、ライブハウス・クラブ、スタジオ・アトリエ、その他の施設運営
 教育研究：教室等の指導者、専修学校・養成所指導者、大学・高等学校の専任教員、批評家・研究者、その他の教育研究
 販売：作品販売、楽器販売、ショップ、ギャラリー、古物商、プロモーション、マネージャー
 サポート：ボランティア、コレクター、愛好家等

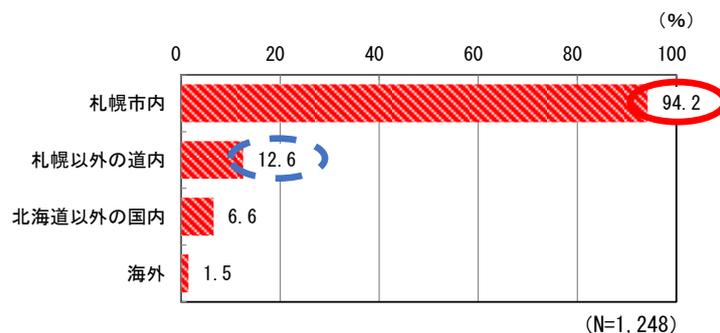
2-4 文化芸術活動の活動期間

Q7. あなたは、現在関わっている文化芸術活動についてどのくらいの期間活動してきましたか。〈SA〉



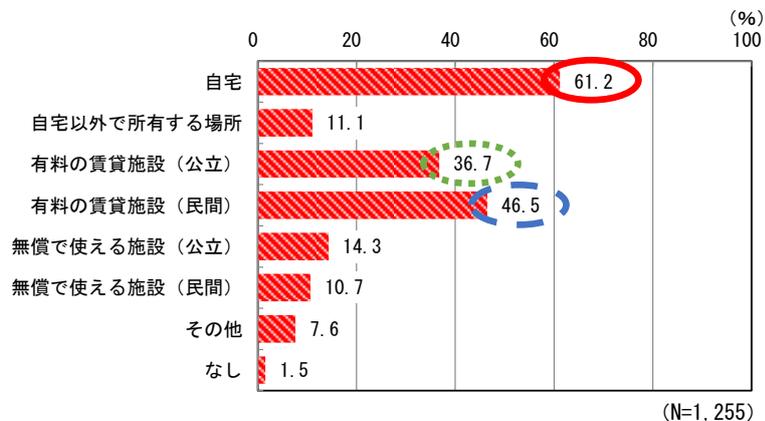
2-5 創作、企画制作、技術提供、施設運営、教育研究の拠点

Q8. あなたの創作、企画制作、技術提供、施設運営、教育研究の拠点（貸し稽古場、工房、スタジオ、練習室等）はどこにありますか。〈MA〉

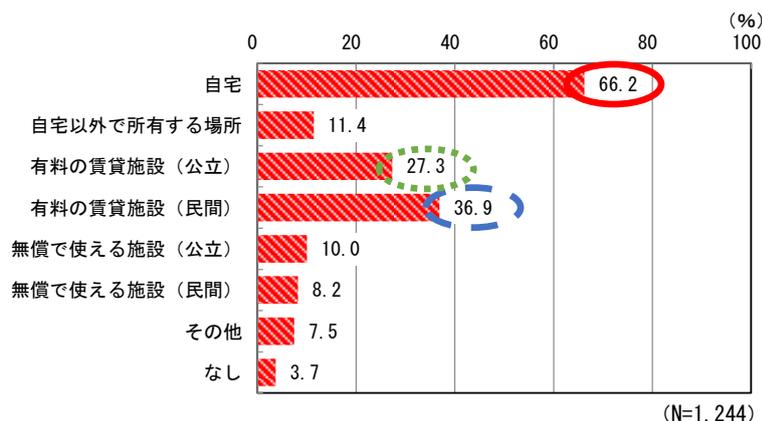


2-6 創作、企画制作、技術提供、施設運営、教育研究を行っていた場所

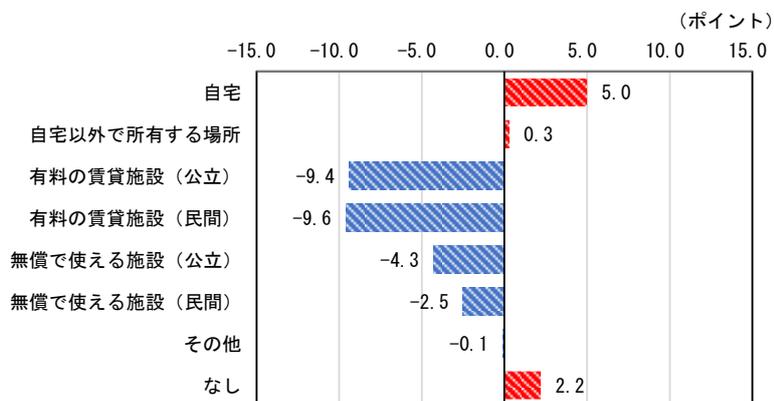
Q9. 2019年にあなたが創作、企画制作、技術提供、施設運営、教育研究を行っていた場所をお答えください。<MA>



Q10. 2020年にあなたが創作、企画制作、技術提供、施設運営、教育研究を行っていた場所をお答えください。<MA>

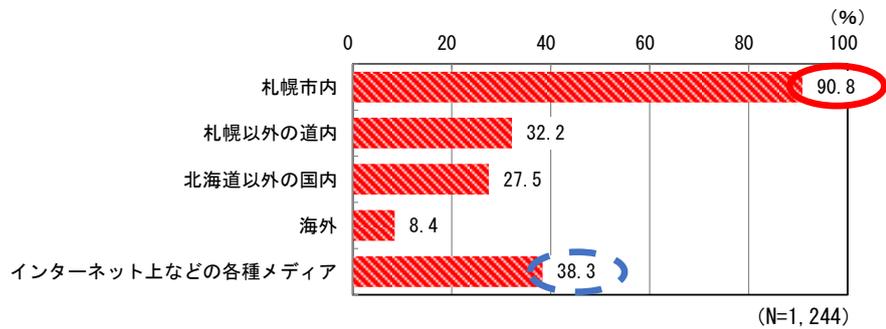


Q9. 創作、企画制作、技術提供、施設運営、教育研究を行っていた場所 (2019年) から
Q10. 創作、企画制作、技術提供、施設運営、教育研究を行っていた場所 (2020年)
にかけての増減の状況



2-7 文化芸術活動の展開、作品の発表や販売を行っている場所

Q11. あなたが文化芸術活動の展開、作品の発表や販売を行っている場所はどこにありますか。〈MA〉

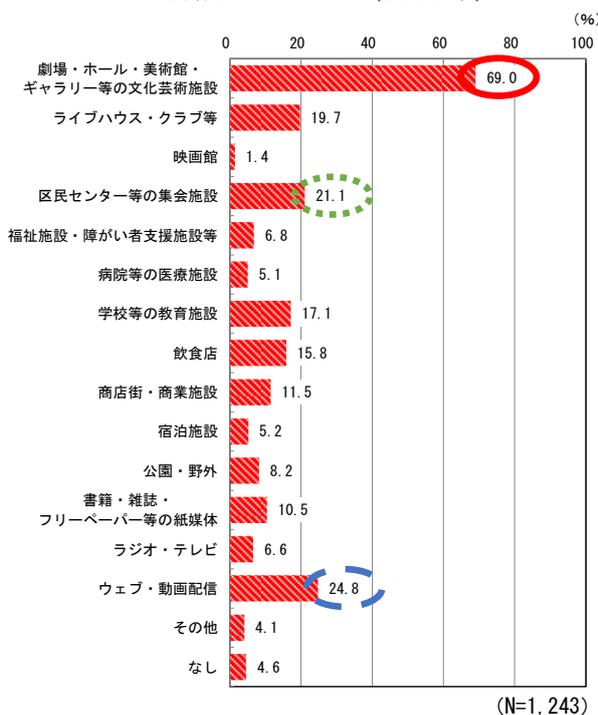


2-8 文化芸術活動の発表や作品の販売を行っていた施設・スペース

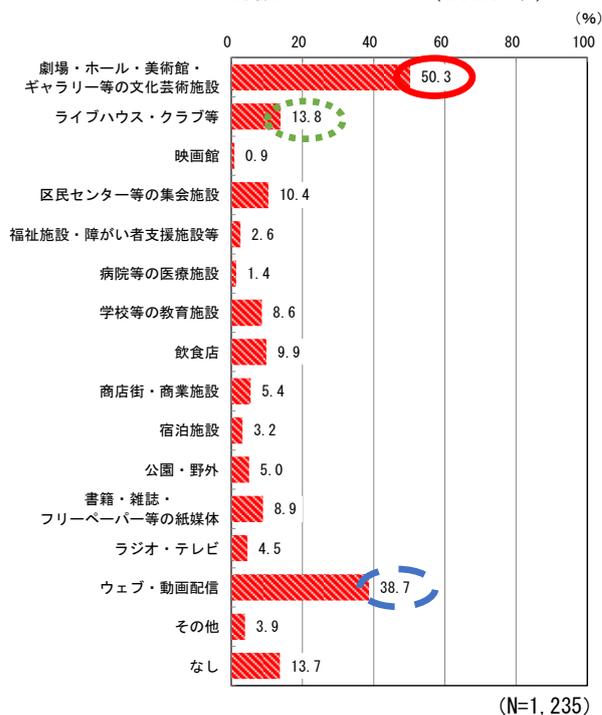
Q12. 2019年にあなたが文化芸術活動の発表や作品の販売を行っていた施設・スペースをお答えください。〈MA〉

Q13. 2020年にあなたが文化芸術活動の発表や作品の販売を行っていた施設・スペースをお答えください。〈MA〉

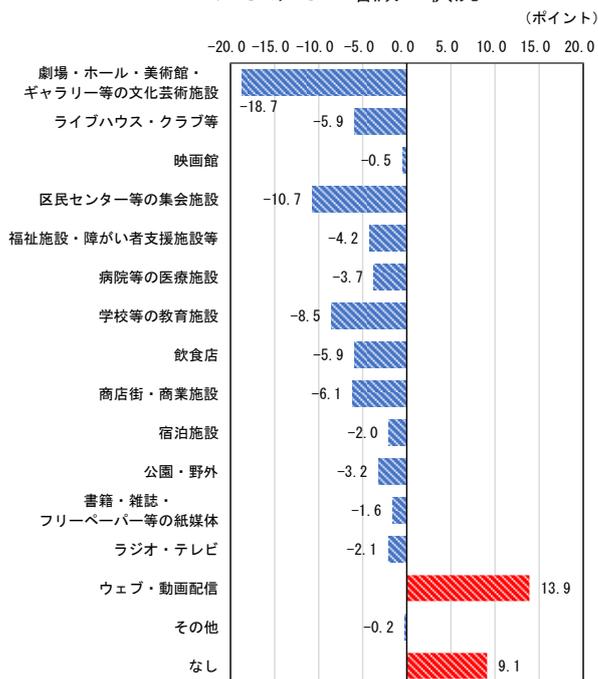
Q12. 発表や作品販売を行っていた施設・スペース（2019年）



Q13. 発表や作品販売を行っていた施設・スペース（2020年）



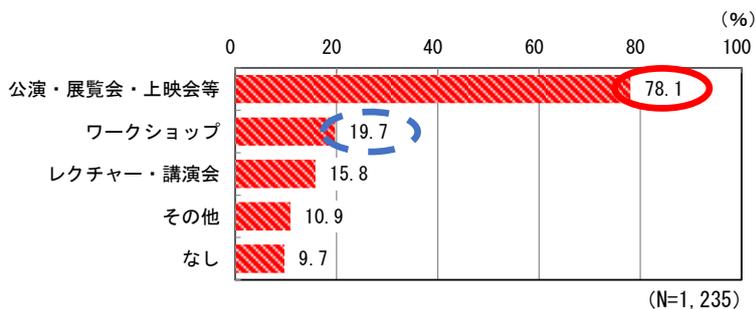
Q12. 文化芸術活動の発表や作品販売を行っていた施設・スペース（2019年）から
Q13. 文化芸術活動の発表や作品販売を行っていた施設・スペース（2020年）
にかけての増減の状況



2-9 文化芸術活動の発表形態・回数

Q14. 2019年にあなたが行った文化芸術活動の発表形態をお答えください。

<MA>

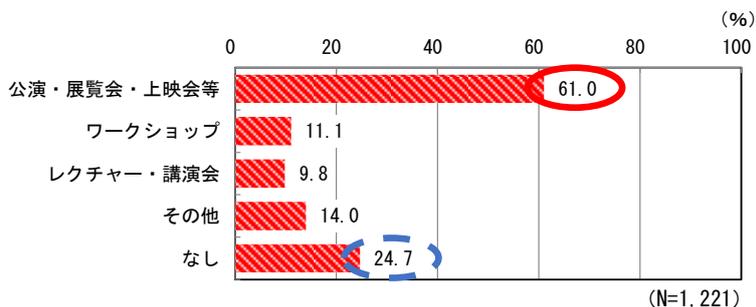


Q15. 2019年のそれぞれの発表等の回数をお答えください。 <IN>

	公演・展覧会・上映会等	ワークショップ	レクチャー・講演会	その他
N	925	228	181	112
最大	355回	310回	365回	330回
最小	1回	1回	1回	1回
平均	14.3回	9.6回	11.4回	21.6回
中間値	5回	3回	3回	5回

Q16. 2020年にあなたが行った文化芸術活動の発表形態をお答えください。

<MA>

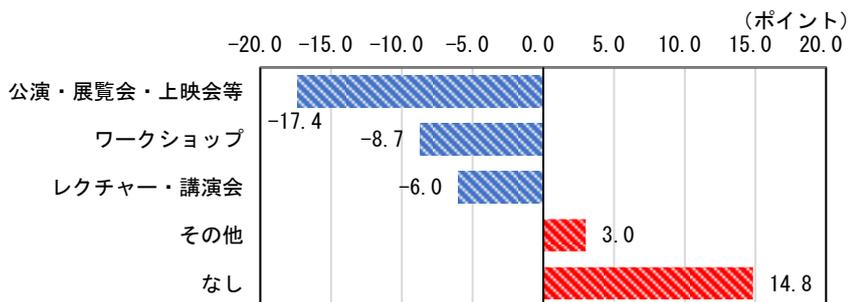


Q17. 2020年のそれぞれの発表等の回数をお答えください。 <IN>

	公演・展覧会・上映会等	ワークショップ	レクチャー・講演会	その他
N	721	129	113	151
最大	280回	220回	363回	500回
最小	1回	1回	1回	1回
平均	7.6回	8.2回	13.4回	19.1回
中間値	3回	2回	3回	4回

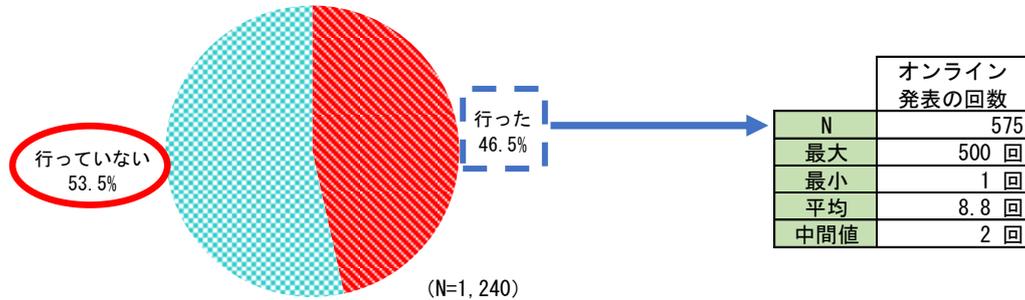
Q16. 文化芸術活動の発表形態（2019年）から

Q17. 文化芸術活動の発表形態（2020年）にかけての増減の状況



2-10 オンライン発表の有無

Q18. 2020年にあなたはオンラインでの発表を行いましたか。行った場合はその回数をお答えください。〈SA→IN〉



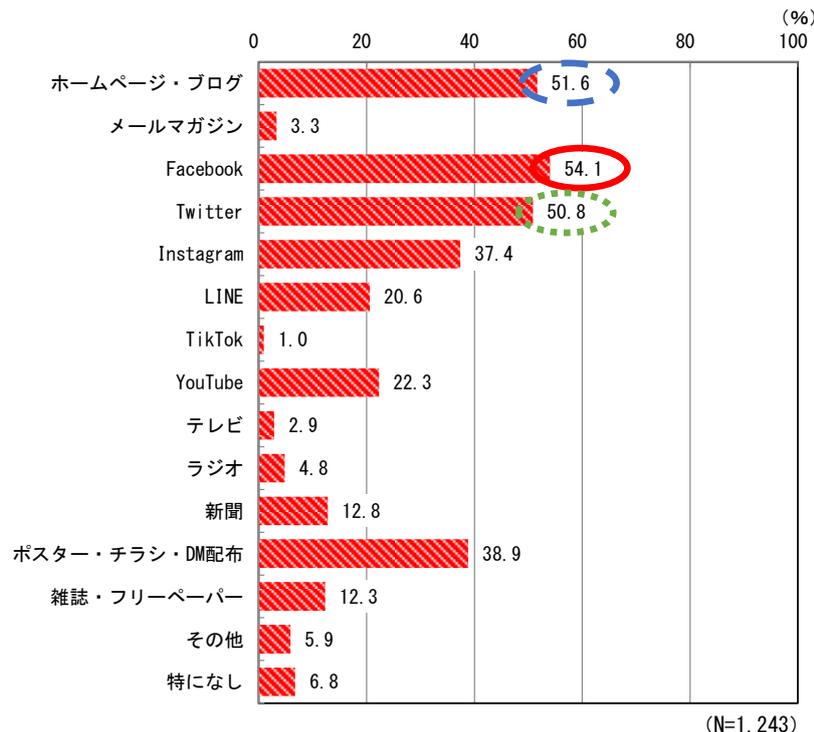
2-11 文化芸術活動に費やした時間

Q19. 1週間当たり、あなたが文化芸術活動に費やした時間を、2019年と2020年についてお答えください。〈IN〉

	文化芸術活動に費やした時間 (2019年)	文化芸術活動に費やした時間 (2020年)
N	1,049	1,060
最大	168 時間/週	168 時間/週
最小	0 時間/週	0 時間/週
平均	23.4 時間/週	18.6 時間/週
中間値	15 時間/週	10 時間/週

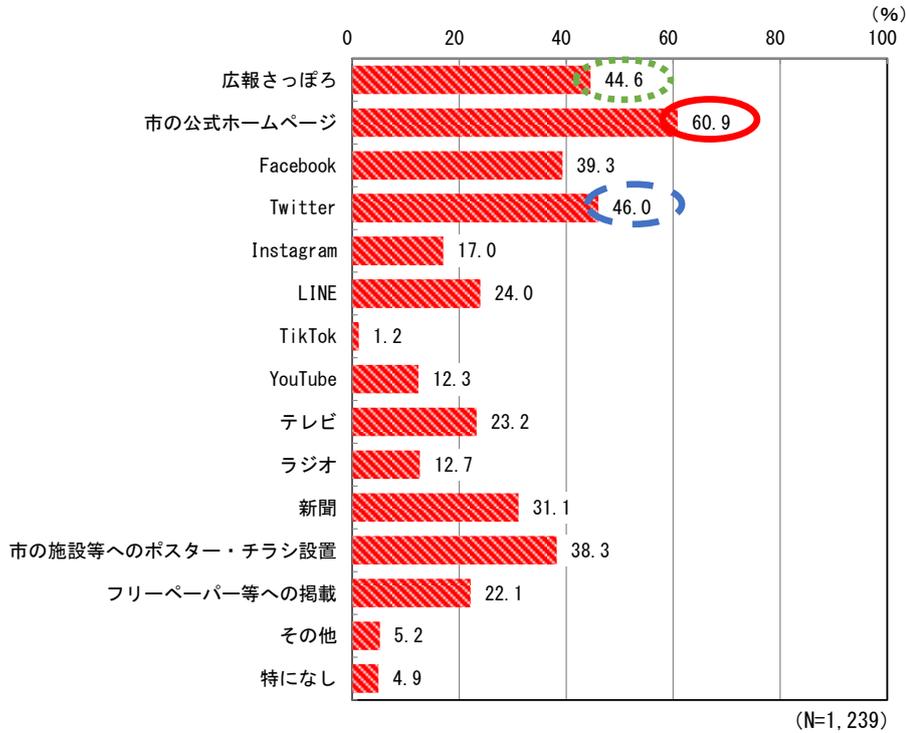
2-12 情報を発信する際に利用する媒体

Q20. 普段、どのような媒体で文化芸術活動の発表や、作品の販売等について情報発信していますか。〈MA〉



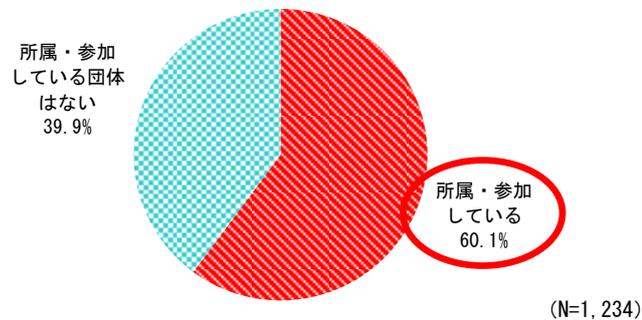
2-13 情報を受け取る際に利用する媒体

Q21. あなたが札幌市から助成金や補助事業等に関する情報発信を受け取る場合、どのような媒体を望みますか。〈MA〉



2-14 文化芸術団体への所属・参加状況

Q22. あなたは文化芸術団体（法人、趣味のサークル、グループ等）に所属・参加していますか。また、所属・参加している場合、差し支えなければ、あなたが所属している文化芸術団体名をお答えください（団体名を回答したくない場合はテキストボックスには「回答しない」などのご記入下さい）。〈SA・FA〉



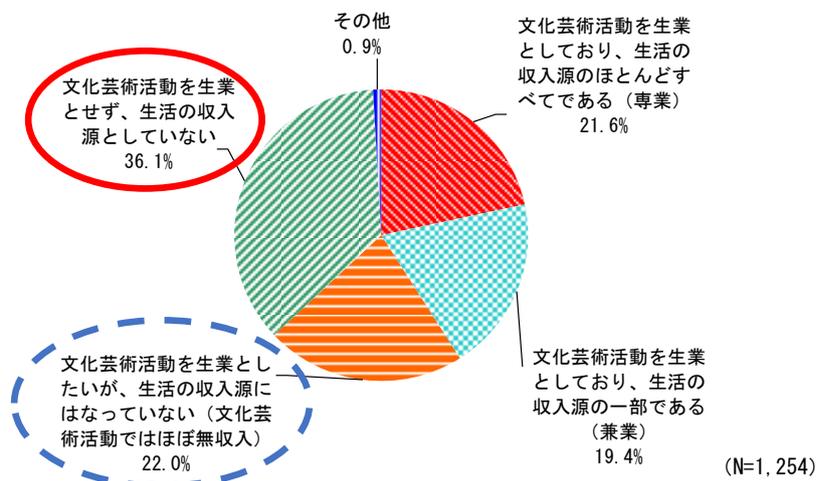
3. 文化芸術活動による収入等

文化芸術活動による収入等についてお聞きします。

- 「文化芸術活動が生活の収入源」〈Q23〉の人の割合は約4割、主な雇用形態〈Q24〉は「個人事業主・フリーランス」が約8割であった。また、文化芸術活動以外の仕事の主な雇用形態〈Q25〉は、「正社員・正職員(28.7%)」、「非正規の常用雇用者(28.6%)」が多かった。
- 個人所得〈Q26・Q27〉は、300万円未満が回答者全体の約7割であった(2020年)。特に100万円未満は2019年から6.1ポイント増加している。
- 文化芸術活動による所得〈Q28〉は、平均が78.0万円(2019年)から46.4万円(2020年)に、中間値が50万円(2019年)から20万円(2020年)に減少している。
- 文化芸術活動による所得〈Q28〉を性別・年代別とのクロス集計〈Q1・Q3×Q28〉で見ると、ほぼ全ての性別・年代で「0円超～25万円未満」の割合が最も高い。現在、最も力を入れている分野とのクロス集計〈Q5×Q28〉で見ると、「音楽」分野・「美術」分野では「0円超～25万円未満」、「演劇」分野では「25万円～50万円未満」の割合が2019年に比べて10ポイント以上増加している。また、文化芸術の主な役割とのクロス集計〈Q6×Q28〉でも、2020年は「サポート」を除く全ての役割で「0円超～25万円未満」の割合が最も高い。
- 文化芸術活動による支出〈Q29〉は、性別・年代別〈Q1・Q3×Q29〉、分野別〈Q5×Q29〉、役割別〈Q6×Q29〉とのクロス集計いずれにおいても、「0円超～25万円未満」が最も高い割合を占めている。ただ、2020年は所得・支出ともに「0円」の割合も高くなっており、新型コロナウイルス感染症対策による文化芸術活動の停止・制限等の影響によるものと推測される。
- 文化芸術活動の主な財源〈Q30〉は、「チケット収入や作品の売り上げ(46.8%)」、「出演料、講師料、振付料、作曲料、原稿料等(37.9%)」、「貯金、株や家賃などの不労所得等、文化芸術活動以外の収入(給与等)(30.1%)」が多く挙げられた。
- 文化芸術活動関連の助成金・補助金〈Q33〉では、2020年は8割以上の人が申請していなかった。申請しなかった理由〈Q36〉としては、「自分の活動に適した助成金・補助金がなかった(32.8%)」、「情報を知らなかった(30.1%)」が挙げられた。

3-1 文化芸術活動への関わり方と収入の状況

Q23. あなたの文化芸術活動への関わり方と文化芸術活動による収入の状況について、最も近いものをお答えください。〈SA〉



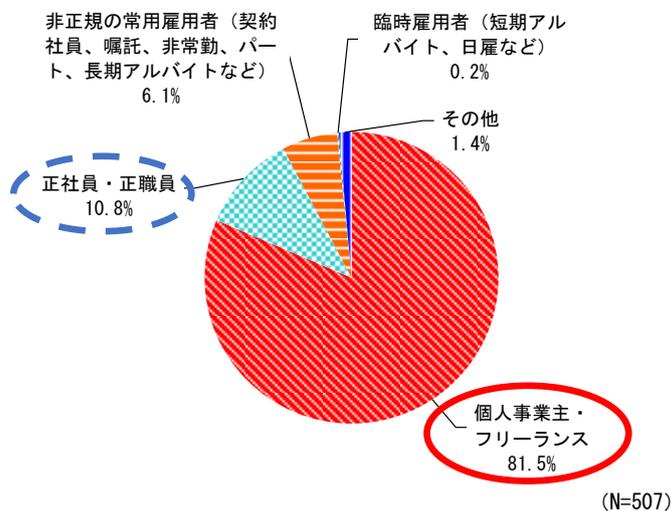
Q1. 性別・Q3年代と Q23. 文化芸術活動への
関わり方と収入の状況のクロス集計

(%)

	の文化 ほぼ全 芸術活 動が生 活の収 入源 (専業)	の文化 一部(兼 業)活 動が生 活の収 入源	文化 芸術活 動では ほぼ無 収入	と文化 芸術活 動を生 活の収 入源 として いない	その 他
全体 (N=1,253)	21.5	19.4	22.0	36.2	0.9
男性 (N=602)	26.9	18.9	19.1	34.2	0.8
女性 (N=625)	17.1	18.9	24.6	38.4	1.0
その他 (N=22)	4.5	40.9	27.3	27.3	-
10代 (N=20)	-	10.0	40.0	50.0	-
20代 (N=203)	11.8	17.2	36.5	34.0	0.5
30代 (N=263)	26.6	22.4	28.1	22.4	0.4
40代 (N=298)	30.2	23.8	17.1	28.2	0.7
50代 (N=216)	25.0	22.2	17.1	34.3	1.4
60代 (N=141)	17.0	12.8	12.8	56.0	1.4
70代 (N=84)	8.3	9.5	11.9	67.9	2.4
80代以上 (N=26)	-	7.7	15.4	76.9	-
男性・10代 (N=5)	-	-	-	100.0	-
男性・20代 (N=89)	14.6	18.0	37.1	30.3	-
男性・30代 (N=125)	32.0	22.4	25.6	20.0	-
男性・40代 (N=138)	35.5	23.2	14.5	25.4	1.4
男性・50代 (N=105)	35.2	20.0	10.5	32.4	1.9
男性・60代 (N=81)	22.2	17.3	14.8	45.7	-
男性・70代 (N=47)	10.6	6.4	10.6	70.2	2.1
男性・80代以上 (N=12)	-	-	16.7	83.3	-
女性・10代 (N=14)	-	14.3	50.0	35.7	-
女性・20代 (N=108)	10.2	16.7	35.2	37.0	0.9
女性・30代 (N=131)	22.9	20.6	30.5	25.2	0.8
女性・40代 (N=154)	26.6	23.4	19.5	30.5	-
女性・50代 (N=107)	15.0	22.4	24.3	37.4	0.9
女性・60代 (N=60)	10.0	6.7	10.0	70.0	3.3
女性・70代 (N=37)	5.4	13.5	13.5	64.9	2.7
女性・80代以上 (N=12)	-	16.7	16.7	66.7	-

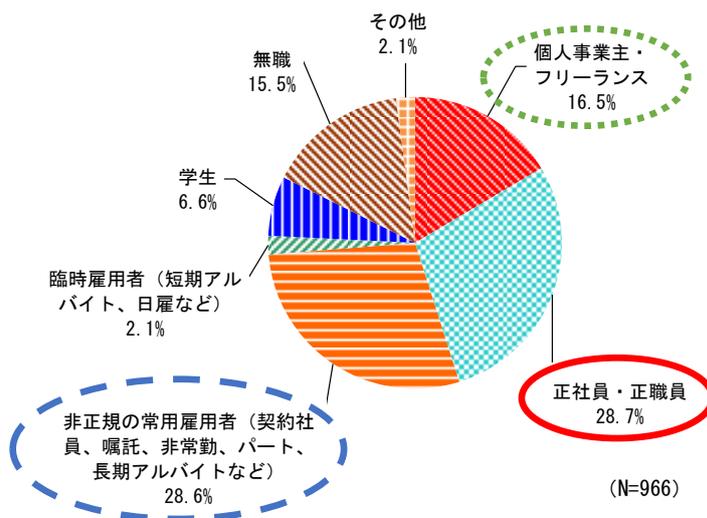
3-2 文化芸術活動の主な雇用形態

Q24. 【Q23で「1. 文化芸術活動を生業としており、生活の収入源のほとんどすべてである（専業）」「2. 文化芸術活動を生業としており、生活の収入源の一部である（兼業）」回答者のみお答えください】文化芸術活動の主な雇用形態をお答えください。〈SA〉



3-3 文化芸術活動以外の主な雇用形態

Q25. 【Q23で「2. 文化芸術活動を生業としており、生活の収入源の一部である（兼業）」「3. 文化芸術活動を生業としたいが、生活の収入源にはなっていない（文化芸術活動ではほぼ無収入）」「4. 文化芸術活動を生業とせず、生活の収入源としていない」「5. その他」回答者のみお答えください】文化芸術活動以外のお仕事の主な雇用形態をお答えください。〈SA〉



Q1. 性別・Q3. 年代と Q25. 文化芸術活動以外の
仕事の雇用形態のクロス集計

(%)

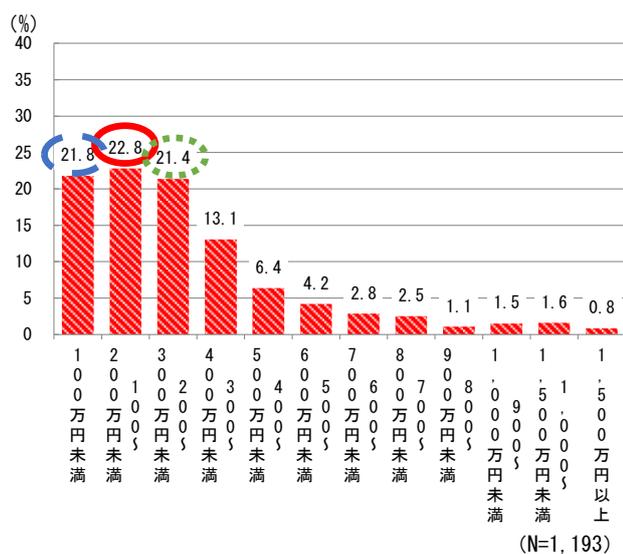
	個人 事業主・フ リーラン ス	正社 員・正職 員	長期 アルバイト など	非正 規の常 用雇用 者(契 約社 員、嘱 託、非 常勤、 パート など)	臨 時雇 用者 (短 期ア ルバ イ ト、 日雇 など)	学 生	無 職	そ の 他
全体 (N=966)	16.5	28.7	28.6	2.1	6.6	15.5	2.1	
男性 (N=433)	21.5	38.3	18.5	0.9	6.2	12.0	2.5	
女性 (N=508)	12.6	20.7	36.6	3.1	6.7	18.7	1.6	
その他 (N=21)	4.8	23.8	42.9	-	14.3	9.5	4.8	
10代 (N=20)	-	-	15.0	-	85.0	-	-	
20代 (N=178)	7.3	21.9	42.1	1.1	25.3	1.7	0.6	
30代 (N=192)	16.7	33.3	37.5	2.1	0.5	8.3	1.6	
40代 (N=205)	20.5	40.5	25.9	3.4	-	6.3	3.4	
50代 (N=160)	21.3	40.0	27.5	0.6	0.6	8.1	1.9	
60代 (N=116)	19.8	21.6	21.6	4.3	-	30.2	2.6	
70代 (N=71)	18.3	2.8	4.2	1.4	-	69.0	4.2	
80代以上 (N=23)	8.7	-	-	-	-	91.3	-	
男性・10代 (N=5)	-	-	-	-	100.0	-	-	
男性・20代 (N=76)	7.9	28.9	31.6	-	28.9	2.6	-	
男性・30代 (N=85)	23.5	37.6	34.1	1.2	-	2.4	1.2	
男性・40代 (N=87)	29.9	50.6	10.3	1.1	-	2.3	5.7	
男性・50代 (N=68)	25.0	66.2	4.4	-	-	1.5	2.9	
男性・60代 (N=63)	28.6	33.3	22.2	1.6	-	11.1	3.2	
男性・70代 (N=38)	13.2	5.3	2.6	2.6	-	73.7	2.6	
男性・80代以上 (N=11)	9.1	-	-	-	-	90.9	-	
女性・10代 (N=14)	-	-	21.4	-	78.6	-	-	
女性・20代 (N=96)	7.3	16.7	49.0	2.1	22.9	1.0	1.0	
女性・30代 (N=100)	11.0	31.0	41.0	3.0	-	13.0	1.0	
女性・40代 (N=112)	14.3	31.3	37.5	5.4	-	9.8	1.8	
女性・50代 (N=89)	18.0	21.3	43.8	1.1	1.1	13.5	1.1	
女性・60代 (N=53)	9.4	7.5	20.8	7.5	-	52.8	1.9	
女性・70代 (N=33)	24.2	-	6.1	-	-	63.6	6.1	
女性・80代以上 (N=10)	10.0	-	-	-	-	90.0	-	

3-4 個人の年間所得

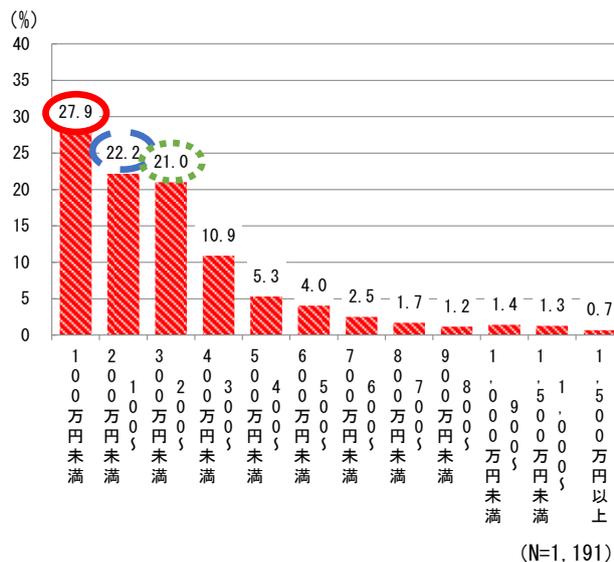
Q26. 2019年のあなた個人の年間所得をお答えください（※給与所得者は給与・賞与の額〔収入〕、事業主は所得額〔必要経費を差し引いた額〕、年金受給者は年金額をお答えください。上記の複数の所得がある場合や、株・不動産等による財産所得がある場合はこれらを合算した額をお答えください）。<SA>

Q27. 2020年のあなた個人の年間所得をお答えください。<SA>

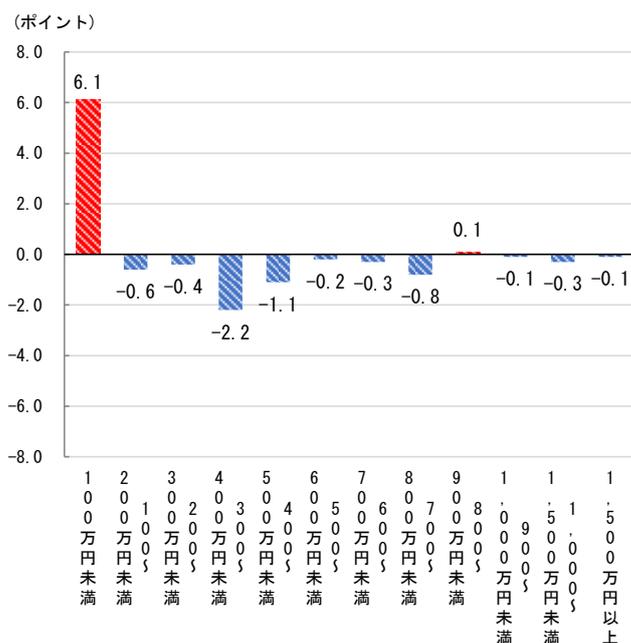
Q26. 個人の年間所得（2019年）



Q27. 個人の年間所得（2020年）



Q26. 個人の年間所得（2019年）から
Q27. 個人の年間所得（2020年）にかけての増減の状況



Q1. 性別・Q3. 年代と Q26. 個人の年間所得（2019年）のクロス集計

(%)

	1 0 0 万円 未満	2 1 0 0 万円 未満	3 2 0 0 万円 未満	4 3 0 0 万円 未満	5 4 0 0 万円 未満	6 5 0 0 万円 未満	7 6 0 0 万円 未満	8 7 0 0 万円 未満	9 8 0 0 万円 未満	1 9 0 0 万円 未満	1 1 0 0 万円 未満	1 0 0 0 万円 以上
全体 (N=1,193)	21.8	22.8	21.4	13.1	6.4	4.2	2.8	2.5	1.1	1.5	1.6	0.8
男性 (N=578)	11.6	17.1	23.2	17.3	8.8	4.7	4.3	4.0	2.1	2.9	2.6	1.4
女性 (N=589)	31.2	28.4	19.7	9.2	4.2	3.6	1.5	1.2	0.2	-	0.7	0.2
その他 (N=22)	40.9	18.2	18.2	9.1	-	4.5	-	-	-	4.5	-	4.5
10代 (N=19)	94.7	5.3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
20代 (N=202)	38.1	35.1	16.3	9.4	1.0	-	-	-	-	-	-	-
30代 (N=261)	17.2	24.5	25.3	19.5	8.4	1.5	1.5	-	0.8	0.4	-	0.8
40代 (N=289)	17.0	18.0	21.1	13.8	8.7	8.7	4.2	3.1	2.1	1.0	1.7	0.7
50代 (N=201)	18.9	20.9	15.9	7.5	6.5	7.0	7.0	6.0	1.0	5.0	3.5	1.0
60代 (N=122)	15.6	16.4	25.4	12.3	9.0	1.6	1.6	6.6	1.6	3.3	4.9	1.6
70代 (N=73)	12.3	26.0	30.1	17.8	-	5.5	2.7	1.4	1.4	-	1.4	1.4
80代以上 (N=24)	20.8	8.3	41.7	12.5	8.3	4.2	-	-	-	-	-	4.2
男性・10代 (N=5)	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
男性・20代 (N=89)	32.6	33.7	18.0	14.6	1.1	-	-	-	-	-	-	-
男性・30代 (N=124)	7.3	22.6	27.4	21.8	12.9	1.6	3.2	-	0.8	0.8	-	1.6
男性・40代 (N=136)	7.4	11.0	22.1	19.1	9.6	10.3	6.6	3.7	4.4	1.5	2.9	1.5
男性・50代 (N=97)	9.3	7.2	16.5	9.3	10.3	8.2	10.3	9.3	2.1	10.3	5.2	2.1
男性・60代 (N=72)	2.8	11.1	27.8	13.9	13.9	1.4	-	11.1	2.8	5.6	6.9	2.8
男性・70代 (N=46)	4.3	23.9	32.6	26.1	-	2.2	4.3	2.2	2.2	-	2.2	-
男性・80代以上 (N=9)	11.1	-	33.3	33.3	11.1	11.1	-	-	-	-	-	-
女性・10代 (N=13)	92.3	7.7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
女性・20代 (N=107)	41.1	36.4	15.9	5.6	0.9	-	-	-	-	-	-	-
女性・30代 (N=130)	26.2	26.9	22.3	17.7	4.6	1.5	-	-	0.8	-	-	-
女性・40代 (N=147)	26.5	23.8	21.1	8.8	8.2	6.1	2.0	2.7	-	-	0.7	-
女性・50代 (N=100)	27.0	34.0	15.0	6.0	3.0	6.0	4.0	3.0	-	-	2.0	-
女性・60代 (N=50)	34.0	24.0	22.0	10.0	2.0	2.0	4.0	-	-	-	2.0	-
女性・70代 (N=27)	25.9	29.6	25.9	3.7	-	11.1	-	-	-	-	-	3.7
女性・80代以上 (N=13)	30.8	15.4	46.2	-	7.7	-	-	-	-	-	-	-

Q1. 性別・Q3. 年代と Q27. 個人の年間所得（2020年）のクロス集計

(%)

	1 0 0 万 円 未 満	2 1 0 0 万 円 未 満	3 2 0 0 万 円 未 満	4 3 0 0 万 円 未 満	5 4 0 0 万 円 未 満	6 5 0 0 万 円 未 満	7 6 0 0 万 円 未 満	8 7 0 0 万 円 未 満	9 8 0 0 万 円 未 満	1 9 0 0 万 円 未 満	1 1 0 0 万 円 未 満	1 5 0 0 万 円 未 満	1 5 0 0 万 円 未 満
全体 (N=1,191)	27.9	22.2	21.0	10.9	5.3	4.0	2.5	1.7	1.2	1.4	1.3	0.7	
男性 (N=577)	18.0	17.3	23.6	14.6	6.8	5.5	3.6	2.4	2.1	2.6	2.3	1.2	
女性 (N=588)	36.9	27.2	18.2	7.7	4.1	2.4	1.5	1.0	0.3	0.2	0.3	0.2	
その他 (N=22)	45.5	13.6	27.3	4.5	-	4.5	-	-	-	4.5	-	-	
10代 (N=20)	95.0	5.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
20代 (N=202)	38.1	32.7	19.3	8.9	1.0	-	-	-	-	-	-	-	
30代 (N=260)	23.8	23.1	26.5	16.2	5.0	1.9	0.8	0.4	1.2	0.4	-	0.8	
40代 (N=289)	24.6	19.0	19.0	11.1	8.7	7.3	3.5	2.4	1.4	1.4	0.7	1.0	
50代 (N=201)	28.9	20.9	10.4	6.5	5.0	7.0	7.0	5.0	1.5	4.5	3.0	0.5	
60代 (N=123)	22.8	15.4	26.8	11.4	6.5	2.4	2.4	1.6	3.3	1.6	4.9	0.8	
70代 (N=71)	15.5	23.9	33.8	12.7	2.8	5.6	1.4	-	-	1.4	1.4	1.4	
80代以上 (N=23)	26.1	13.0	39.1	8.7	8.7	4.3	-	-	-	-	-	-	
男性・10代 (N=5)	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
男性・20代 (N=89)	33.7	31.5	21.3	12.4	1.1	-	-	-	-	-	-	-	
男性・30代 (N=124)	13.7	21.8	29.8	19.4	6.5	2.4	1.6	0.8	1.6	0.8	-	1.6	
男性・40代 (N=136)	15.4	12.5	22.8	13.2	10.3	10.3	5.1	2.2	2.2	2.2	1.5	2.2	
男性・50代 (N=97)	16.5	15.5	7.2	9.3	6.2	11.3	8.2	8.2	3.1	8.2	5.2	1.0	
男性・60代 (N=72)	13.9	4.2	31.9	15.3	8.3	2.8	4.2	2.8	5.6	2.8	6.9	1.4	
男性・70代 (N=45)	8.9	22.2	35.6	20.0	4.4	2.2	2.2	-	-	2.2	2.2	-	
男性・80代以上 (N=9)	11.1	-	33.3	22.2	22.2	11.1	-	-	-	-	-	-	
女性・10代 (N=14)	92.9	7.1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
女性・20代 (N=107)	41.1	34.6	16.8	6.5	0.9	-	-	-	-	-	-	-	
女性・30代 (N=129)	32.6	25.6	21.7	14.0	3.9	1.6	-	-	0.8	-	-	-	
女性・40代 (N=147)	34.0	24.5	16.3	8.8	7.5	3.4	2.0	2.7	0.7	-	-	-	
女性・50代 (N=100)	39.0	26.0	14.0	4.0	4.0	3.0	6.0	2.0	-	1.0	1.0	-	
女性・60代 (N=51)	35.3	31.4	19.6	5.9	3.9	2.0	-	-	-	-	2.0	-	
女性・70代 (N=26)	26.9	26.9	30.8	-	-	11.5	-	-	-	-	-	3.8	
女性・80代以上 (N=12)	33.3	25.0	41.7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

Q5. 最も力を入れて取り組んでいる文化芸術活動（分野別）と

Q26. 個人の年間所得（2019年）のクロス集計

(%)

	1 0 0 万 円 未 満	2 1 0 0 万 円 未 満	3 2 0 0 万 円 未 満	4 3 0 0 万 円 未 満	5 4 0 0 万 円 未 満	6 5 0 0 万 円 未 満	7 6 0 0 万 円 未 満	8 7 0 0 万 円 未 満	9 8 0 0 万 円 未 満	1 9 0 0 万 円 未 満	1 1 0 0 万 円 未 満	1 0 0 万 円 未 満
全体 (N=1,164)	22.0	22.9	21.4	13.1	6.4	4.0	2.7	2.6	1.1	1.5	1.5	0.8
文芸 (N=65)	18.5	16.9	33.8	10.8	7.7	3.1	-	4.6	-	3.1	1.5	-
音楽 (N=445)	19.8	20.4	23.4	13.5	6.5	5.2	2.5	2.7	1.6	1.8	1.8	0.9
美術 (N=222)	25.7	19.4	19.8	14.4	7.7	2.3	4.1	1.8	1.4	0.9	1.8	0.9
工芸 (N=24)	29.2	33.3	16.7	8.3	4.2	4.2	-	4.2	-	-	-	-
演劇 (N=169)	23.1	32.0	22.5	11.2	1.8	3.6	2.4	2.4	-	0.6	0.6	-
舞踊 (N=65)	32.3	30.8	10.8	13.8	6.2	-	3.1	1.5	-	-	1.5	-
メディア芸術 (N=48)	14.6	22.9	16.7	14.6	12.5	8.3	-	4.2	2.1	4.2	-	-
伝統芸能 (N=8)	12.5	37.5	12.5	-	12.5	-	12.5	-	12.5	-	-	-
アイヌ文化 (N=6)	16.7	50.0	-	-	-	33.3	-	-	-	-	-	-
生活文化 (N=22)	27.3	36.4	18.2	13.6	4.5	-	-	-	-	-	-	-
デザイン・建築・ファッション (N=71)	16.9	14.1	21.1	15.5	8.5	4.2	4.2	2.8	1.4	2.8	4.2	4.2
その他 (N=19)	26.3	21.1	10.5	15.8	5.3	5.3	5.3	5.3	-	5.3	-	-

Q5. 最も力を入れて取り組んでいる文化芸術活動（分野別）と

Q27. 個人の年間所得（2020年）のクロス集計

(%)

	1 0 0 万 円 未 満	2 1 0 0 万 円 未 満	3 2 0 0 万 円 未 満	4 3 0 0 万 円 未 満	5 4 0 0 万 円 未 満	6 5 0 0 万 円 未 満	7 6 0 0 万 円 未 満	8 7 0 0 万 円 未 満	9 8 0 0 万 円 未 満	1 9 0 0 万 円 未 満	1 1 0 0 万 円 未 満	1 0 0 万 円 未 満
全体 (N=1,162)	28.0	22.0	21.3	10.9	5.2	4.0	2.4	1.5	1.2	1.5	1.2	0.6
文芸 (N=65)	18.5	18.5	30.8	7.7	10.8	4.6	3.1	-	3.1	1.5	1.5	-
音楽 (N=445)	28.8	20.4	19.6	11.2	5.6	4.5	2.0	2.2	1.3	2.2	1.6	0.4
美術 (N=221)	28.5	19.5	23.1	11.3	5.9	2.3	4.1	0.9	1.4	0.5	1.4	1.4
工芸 (N=23)	34.8	30.4	17.4	4.3	8.7	-	4.3	-	-	-	-	-
演劇 (N=170)	29.4	28.8	22.4	9.4	2.4	2.9	2.4	1.2	-	0.6	0.6	-
舞踊 (N=65)	35.4	27.7	15.4	12.3	3.1	1.5	1.5	1.5	-	-	-	-
メディア芸術 (N=48)	18.8	18.8	25.0	14.6	4.2	8.3	-	4.2	2.1	4.2	-	-
伝統芸能 (N=8)	37.5	25.0	12.5	12.5	12.5	-	-	-	-	-	-	-
アイヌ文化 (N=6)	33.3	16.7	16.7	-	-	33.3	-	-	-	-	-	-
生活文化 (N=21)	38.1	33.3	19.0	4.8	-	4.8	-	-	-	-	-	-
デザイン・建築・ファッション (N=71)	18.3	19.7	21.1	16.9	4.2	8.5	1.4	1.4	-	2.8	2.8	2.8
その他 (N=19)	31.6	15.8	26.3	5.3	10.5	-	5.3	-	5.3	-	-	-

Q6. 文化芸術活動の主な役割と
Q26. 個人の年間所得（2019年）のクロス集計

(%)

	1 0 0 万円 未満	2 1 0 0 万円 未満	3 2 0 0 万円 未満	4 3 0 0 万円 未満	5 4 0 0 万円 未満	6 5 0 0 万円 未満	7 6 0 0 万円 未満	8 7 0 0 万円 未満	9 8 0 0 万円 未満	1 9 0 0 万円 未満	1 1 0 0 万円 未満	1 1 0 0 万円 以上
全体(N=1,183)	21.7	22.8	21.3	13.2	6.3	4.1	2.9	2.5	1.1	1.5	1.6	0.8
創作発表(N=876)	23.1	23.3	21.5	12.2	6.4	4.2	2.3	2.1	1.3	1.6	1.6	0.6
企画制作(N=272)	13.6	19.9	23.2	18.4	6.3	5.5	4.4	2.9	0.7	1.8	1.8	1.5
技術提供(N=174)	18.4	20.7	25.3	16.7	8.0	2.9	1.7	0.6	1.1	1.1	1.7	1.7
施設運営(N=60)	15.0	25.0	16.7	18.3	11.7	1.7	3.3	5.0	-	-	-	3.3
教育研究(N=225)	21.8	20.9	20.0	9.8	4.0	5.3	4.4	4.9	3.1	2.7	2.2	0.9
販売(N=119)	28.6	28.6	16.0	11.8	9.2	2.5	1.7	0.8	-	-	-	0.8
サポート(N=137)	27.0	20.4	19.7	13.1	5.1	5.1	3.6	2.2	0.7	1.5	1.5	-
その他(N=16)	12.5	18.8	43.8	18.8	6.3	-	-	-	-	-	-	-
上記の技能分野では2つに絞ることができない(N=17)	17.6	29.4	17.6	23.5	-	5.9	-	5.9	-	-	-	-

Q6. 文化芸術活動の主な役割と
Q27. 個人の年間所得（2020年）のクロス集計

(%)

	1 0 0 万円 未満	2 1 0 0 万円 未満	3 2 0 0 万円 未満	4 3 0 0 万円 未満	5 4 0 0 万円 未満	6 5 0 0 万円 未満	7 6 0 0 万円 未満	8 7 0 0 万円 未満	9 8 0 0 万円 未満	1 9 0 0 万円 未満	1 1 0 0 万円 未満	1 1 0 0 万円 以上
全体(N=1,182)	27.8	22.2	20.9	11.0	5.3	4.1	2.5	1.7	1.2	1.4	1.3	0.7
創作発表(N=877)	29.9	22.0	20.4	10.6	5.7	3.3	1.8	1.7	1.4	1.5	1.3	0.5
企画制作(N=272)	18.0	21.3	25.0	16.5	4.8	4.8	3.7	1.5	0.4	1.5	1.5	1.1
技術提供(N=174)	24.7	23.6	24.7	10.9	5.7	5.2	1.1	-	0.6	0.6	1.7	1.1
施設運営(N=59)	15.3	27.1	16.9	18.6	8.5	3.4	6.8	-	-	-	-	3.4
教育研究(N=225)	32.0	18.7	17.3	6.7	3.6	5.8	2.7	4.4	3.6	3.1	1.3	0.9
販売(N=119)	36.1	26.1	16.8	10.1	5.0	2.5	1.7	0.8	-	-	-	0.8
サポート(N=136)	28.7	23.5	19.9	10.3	6.6	3.7	2.9	0.7	1.5	0.7	1.5	-
その他(N=16)	12.5	31.3	37.5	12.5	6.3	-	-	-	-	-	-	-
上記の技能分野では2つに絞ることができない(N=17)	23.5	29.4	17.6	17.6	-	5.9	-	5.9	-	-	-	-

3-5 文化芸術活動による所得

Q28. 【Q23で「2. 文化芸術活動を生業としており、生活の収入源の一部である（兼業）」

回答者のみお答えください】あなた個人の2019年と2020年の年間所得のうち、文化芸術活動による所得の額をお答えください。ない場合は0(ゼロ)を記入してください。

<IN>

	文化芸術活動 の所得額 (2019年)	文化芸術活動 の所得額 (2020年)
N	210	210
最大	550万円	500万円
最小	0万円	0万円
平均	78.0万円	46.4万円
中間値	50万円	20万円

Q1. 性別・Q3. 年代とQ28. 文化芸術活動
による所得（2019年）のクロス集計

(%)

	0円	20万円未満	20.5万円未満	25万円未満	27.5万円未満	30万円未満	31.1万円未満	31.5万円未満	32.1万円未満	32.7万円未満	33.3万円以上
全体(N=209)	6.7	23.4	15.3	20.1	3.8	11.5	1.4	5.7	1.0	11.0	11.0
男性(N=108)	7.4	26.9	8.3	16.7	3.7	13.0	1.9	6.5	0.9	14.8	14.8
女性(N=97)	6.2	18.6	23.7	23.7	4.1	10.3	1.0	4.1	1.0	7.2	7.2
その他(N=4)	-	50.0	-	25.0	-	-	-	25.0	-	-	-
10代(N=4)	25.0	-	25.0	25.0	-	-	-	-	-	25.0	25.0
20代(N=32)	3.1	37.5	15.6	18.8	-	-	3.1	6.3	-	15.6	15.6
30代(N=48)	8.3	27.1	22.9	14.6	8.3	8.3	-	6.3	-	4.2	4.2
40代(N=47)	6.4	21.3	12.8	21.3	-	25.5	-	4.3	2.1	6.4	6.4
50代(N=37)	5.4	27.0	8.1	21.6	5.4	10.8	5.4	2.7	2.7	10.8	10.8
60代(N=20)	-	10.0	15.0	20.0	5.0	10.0	-	15.0	-	25.0	25.0
70代(N=15)	13.3	13.3	13.3	26.7	-	6.7	-	6.7	-	20.0	20.0
80代以上(N=5)	20.0	-	20.0	40.0	20.0	-	-	-	-	-	-
男性・10代(N=2)	50.0	-	-	-	-	-	-	-	-	50.0	50.0
男性・20代(N=12)	8.3	33.3	8.3	8.3	-	-	8.3	8.3	-	25.0	25.0
男性・30代(N=28)	10.7	39.3	14.3	14.3	7.1	3.6	-	3.6	-	7.1	7.1
男性・40代(N=28)	10.7	17.9	3.6	17.9	-	32.1	-	7.1	-	10.7	10.7
男性・50代(N=19)	-	31.6	-	21.1	5.3	5.3	5.3	5.3	5.3	21.1	21.1
男性・60代(N=11)	-	9.1	9.1	18.2	9.1	18.2	-	18.2	-	18.2	18.2
男性・70代(N=7)	-	28.6	28.6	14.3	-	14.3	-	-	-	14.3	14.3
男性・80代以上(N=1)	-	-	-	100.0	-	-	-	-	-	-	-
女性・10代(N=2)	-	-	50.0	50.0	-	-	-	-	-	-	-
女性・20代(N=18)	-	38.9	22.2	27.8	-	-	-	-	-	11.1	11.1
女性・30代(N=20)	5.0	10.0	35.0	15.0	10.0	15.0	-	10.0	-	-	-
女性・40代(N=17)	-	23.5	29.4	23.5	-	17.6	-	-	5.9	-	-
女性・50代(N=18)	11.1	22.2	16.7	22.2	5.6	16.7	5.6	-	-	-	-
女性・60代(N=9)	-	11.1	22.2	22.2	-	-	-	11.1	-	33.3	33.3
女性・70代(N=8)	25.0	-	-	37.5	-	-	-	12.5	-	25.0	25.0
女性・80代以上(N=4)	25.0	-	25.0	25.0	25.0	-	-	-	-	-	-

Q1. 性別・Q3. 年代と Q28. 文化芸術活動
による所得（2020年）のクロス集計

(%)

	0 円	20 5 万円 超 未 満	52 05 万円 未 満	75 50 万円 未 満	17 05 0 万円 未 満	11 20 50 万円 未 満	11 52 05 万円 未 満	11 75 50 万円 未 満	21 07 05 万円 未 満	2 0 0 万円 以上
全体 (N=209)	15.3	37.3	16.7	10.5	5.7	5.7	0.5	2.9	0.5	4.8
男性 (N=108)	15.7	35.2	15.7	13.0	4.6	5.6	0.9	1.9	0.9	6.5
女性 (N=97)	13.4	41.2	18.6	7.2	7.2	5.2	-	4.1	-	3.1
その他 (N=4)	50.0	-	-	25.0	-	25.0	-	-	-	-
10代 (N=4)	25.0	-	25.0	25.0	-	-	-	-	-	25.0
20代 (N=32)	15.6	43.8	9.4	12.5	-	9.4	-	-	3.1	6.3
30代 (N=48)	16.7	41.7	22.9	4.2	6.3	4.2	-	2.1	-	2.1
40代 (N=47)	12.8	31.9	23.4	10.6	6.4	4.3	2.1	4.3	-	4.3
50代 (N=37)	8.1	51.4	13.5	10.8	5.4	8.1	-	-	-	2.7
60代 (N=20)	10.0	30.0	10.0	20.0	5.0	5.0	-	10.0	-	10.0
70代 (N=15)	33.3	26.7	13.3	-	6.7	6.7	-	6.7	-	6.7
80代以上 (N=5)	40.0	-	-	40.0	20.0	-	-	-	-	-
男性・10代 (N=2)	-	-	-	50.0	-	-	-	-	-	50.0
男性・20代 (N=12)	8.3	41.7	8.3	16.7	-	8.3	-	-	8.3	8.3
男性・30代 (N=28)	21.4	42.9	25.0	-	3.6	3.6	-	3.6	-	-
男性・40代 (N=28)	14.3	32.1	17.9	14.3	3.6	3.6	3.6	3.6	-	7.1
男性・50代 (N=19)	15.8	31.6	10.5	15.8	10.5	10.5	-	-	-	5.3
男性・60代 (N=11)	18.2	18.2	9.1	27.3	9.1	9.1	-	-	-	9.1
男性・70代 (N=7)	14.3	57.1	14.3	-	-	-	-	-	-	14.3
男性・80代以上 (N=1)	-	-	-	100.0	-	-	-	-	-	-
女性・10代 (N=2)	50.0	-	50.0	-	-	-	-	-	-	-
女性・20代 (N=18)	16.7	50.0	11.1	11.1	-	5.6	-	-	-	5.6
女性・30代 (N=20)	10.0	40.0	20.0	10.0	10.0	5.0	-	-	-	5.0
女性・40代 (N=17)	5.9	35.3	35.3	-	11.8	5.9	-	5.9	-	-
女性・50代 (N=18)	-	72.2	16.7	5.6	-	5.6	-	-	-	-
女性・60代 (N=9)	-	44.4	11.1	11.1	-	-	-	22.2	-	11.1
女性・70代 (N=8)	50.0	-	12.5	-	12.5	12.5	-	12.5	-	-
女性・80代以上 (N=4)	50.0	-	-	25.0	25.0	-	-	-	-	-

Q5. 最も力を入れて取り組んでいる文化芸術活動（分野別）と
Q28. 文化芸術活動による所得（2019年）のクロス集計

(%)

	0 円	20 5 万円 超 円 未 満	52 05 万円 未 満	75 50 万円 未 満	17 05 万円 未 満	11 20 50 万円 未 満	11 52 05 万円 未 満	11 75 50 万円 未 満	21 07 05 万円 未 満	2 0 0 万円 以 上
全体(N=204)	6.9	23.5	15.7	20.1	3.9	10.8	1.5	5.9	1.0	10.8
文芸(N=11)	18.2	27.3	18.2	18.2	-	9.1	-	-	-	9.1
音楽(N=74)	5.4	24.3	21.6	16.2	4.1	6.8	1.4	8.1	-	12.2
美術(N=45)	6.7	13.3	17.8	26.7	-	20.0	-	8.9	-	6.7
工芸(N=4)	-	25.0	-	25.0	-	25.0	-	-	-	25.0
演劇(N=27)	11.1	22.2	14.8	11.1	7.4	3.7	3.7	3.7	-	22.2
舞踊(N=12)	8.3	25.0	-	33.3	8.3	-	8.3	8.3	-	8.3
メディア芸術(N=10)	-	50.0	-	30.0	-	20.0	-	-	-	-
伝統芸能(N=1)	-	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-
アイヌ文化(N=1)	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0	-
生活文化(N=3)	-	-	-	-	33.3	66.7	-	-	-	-
デザイン・建築・ファッション(N=13)	7.7	30.8	15.4	15.4	7.7	7.7	-	-	7.7	7.7
その他(N=3)	-	33.3	-	66.7	-	-	-	-	-	-

Q5. 最も力を入れて取り組んでいる文化芸術活動（分野別）と
Q28. 文化芸術活動による所得（2020年）のクロス集計

(%)

	0 円	20 5 万円 超 円 未 満	52 05 万円 未 満	75 50 万円 未 満	17 05 万円 未 満	11 20 50 万円 未 満	11 52 05 万円 未 満	11 75 50 万円 未 満	21 07 05 万円 未 満	2 0 0 万円 以 上
全体(N=204)	15.7	36.8	16.7	10.3	5.9	6.4	0.5	2.9	0.5	4.4
文芸(N=11)	36.4	9.1	18.2	9.1	-	9.1	-	9.1	-	9.1
音楽(N=74)	13.5	43.2	13.5	14.9	5.4	4.1	-	1.4	-	4.1
美術(N=45)	11.1	44.4	17.8	6.7	2.2	13.3	2.2	2.2	-	-
工芸(N=4)	-	25.0	25.0	25.0	-	25.0	-	-	-	-
演劇(N=27)	11.1	25.9	29.6	-	11.1	-	-	7.4	3.7	11.1
舞踊(N=12)	25.0	41.7	16.7	8.3	-	-	-	-	-	8.3
メディア芸術(N=10)	20.0	30.0	10.0	30.0	10.0	-	-	-	-	-
伝統芸能(N=1)	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-
アイヌ文化(N=1)	-	-	-	-	-	-	-	100.0	-	-
生活文化(N=3)	-	-	-	-	33.3	66.7	-	-	-	-
デザイン・建築・ファッション(N=13)	23.1	30.8	15.4	7.7	15.4	-	-	-	-	7.7
その他(N=3)	33.3	66.7	-	-	-	-	-	-	-	-

Q6. 文化芸術活動の主な役割と

Q28. 文化芸術活動による所得（2019年）のクロス集計

(%)

	0 円	20 5 万円 超 円 未 満	52 05 万円 未 満	75 50 万円 未 満	17 05 万円 未 満	11 20 50 万円 未 満	11 52 05 万円 未 満	11 75 50 万円 未 満	21 07 05 万円 未 満	20 0 万円 以上
全体 (N=206)	5.8	24.3	15.5	19.4	3.9	11.7	1.5	5.8	1.0	11.2
創作発表 (N=163)	6.1	22.7	17.2	17.2	3.7	11.0	1.8	6.7	0.6	12.9
企画制作 (N=49)	6.1	22.4	14.3	24.5	4.1	14.3	-	2.0	2.0	10.2
技術提供 (N=25)	12.0	36.0	12.0	16.0	-	16.0	-	4.0	-	4.0
施設運営 (N=9)	-	22.2	-	33.3	-	22.2	-	11.1	-	11.1
教育研究 (N=43)	4.7	23.3	18.6	18.6	7.0	7.0	2.3	7.0	-	11.6
販売 (N=17)	11.8	23.5	5.9	23.5	5.9	23.5	-	5.9	-	-
サポート (N=20)	5.0	20.0	25.0	20.0	-	5.0	5.0	10.0	5.0	5.0
その他 (N=6)	-	16.7	-	16.7	-	50.0	-	-	-	16.7
上記の技能分野では2つに絞ることができない (N=1)	-	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-

Q6. 文化芸術活動の主な役割と

Q28. 文化芸術活動による所得（2020年）のクロス集計

(%)

	0 円	20 5 万円 超 円 未 満	52 05 万円 未 満	75 50 万円 未 満	17 05 万円 未 満	11 20 50 万円 未 満	11 52 05 万円 未 満	11 75 50 万円 未 満	21 07 05 万円 未 満	20 0 万円 以上
全体 (N=206)	14.6	36.9	17.0	10.7	5.8	6.3	0.5	2.9	0.5	4.9
創作発表 (N=163)	14.7	36.2	18.4	8.6	5.5	6.1	0.6	3.7	0.6	5.5
企画制作 (N=49)	14.3	40.8	18.4	10.2	8.2	6.1	-	-	-	2.0
技術提供 (N=25)	12.0	44.0	16.0	4.0	8.0	4.0	4.0	4.0	-	4.0
施設運営 (N=9)	22.2	22.2	11.1	22.2	-	22.2	-	-	-	-
教育研究 (N=43)	18.6	44.2	7.0	11.6	4.7	2.3	-	7.0	-	4.7
販売 (N=17)	17.6	41.2	5.9	11.8	-	23.5	-	-	-	-
サポート (N=20)	20.0	20.0	45.0	10.0	5.0	-	-	-	-	-
その他 (N=6)	-	50.0	-	16.7	16.7	-	-	-	-	16.7
上記の技能分野では2つに絞ることができない (N=1)	-	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-

3-6 文化芸術活動による支出

Q29. あなたが 2019 年と 2020 年に文化芸術活動のために支出した金額をお答えください。ない場合は 0（ゼロ）を記入してください。<IN>

	文化芸術活動 の支出額 (2019年)	文化芸術活動 の支出額 (2020年)
N	1,044	1,038
最大	900 万円	700 万円
最小	0 万円	0 万円
平均	47.6 万円	36.2 万円
中間値	19 万円	10 万円

Q1. 性別・Q3. 年代と Q29. 文化芸術活動
の支出（2019 年）のクロス集計

(%)

	0 円	2 0 5 円 万 超 円 未 満	5 2 0 5 万 万 円 未 満	7 5 5 0 万 万 円 未 満	1 7 0 5 0 万 万 未 満	1 1 2 0 5 0 万 万 円 未 満	1 1 5 2 0 5 万 万 円 未 満	1 1 7 5 5 0 万 万 円 未 満	2 1 0 7 0 5 万 万 円 未 満	2 0 0 万 円 以上
全体 (N=1,044)	9.4	48.3	14.0	11.0	1.6	6.6	0.5	2.0	0.3	6.3
男性 (N=505)	9.1	47.5	14.5	10.3	2.2	6.5	-	2.6	0.2	7.1
女性 (N=519)	9.2	48.4	13.9	11.9	1.0	6.9	1.0	1.5	0.4	5.8
その他 (N=18)	16.7	66.7	5.6	5.6	5.6	-	-	-	-	-
10代 (N=17)	23.5	41.2	5.9	11.8	-	5.9	-	5.9	-	5.9
20代 (N=166)	8.4	50.6	15.1	8.4	2.4	4.8	0.6	1.2	0.6	7.8
30代 (N=218)	11.5	44.5	16.5	11.5	1.4	5.5	0.5	2.8	0.9	5.0
40代 (N=246)	10.6	49.2	14.2	11.0	0.8	6.9	-	1.6	-	5.7
50代 (N=173)	8.1	53.2	9.8	9.2	2.9	6.4	0.6	1.7	-	8.1
60代 (N=123)	8.9	41.5	17.1	13.8	1.6	9.8	0.8	2.4	-	4.1
70代 (N=74)	2.7	51.4	12.2	9.5	1.4	9.5	1.4	1.4	-	10.8
80代以上 (N=25)	8.0	56.0	8.0	20.0	-	4.0	-	4.0	-	-
男性・10代 (N=5)	40.0	20.0	-	-	-	20.0	-	20.0	-	-
男性・20代 (N=75)	9.3	48.0	13.3	6.7	4.0	6.7	-	1.3	1.3	9.3
男性・30代 (N=102)	10.8	47.1	17.6	9.8	2.9	5.9	-	1.0	-	4.9
男性・40代 (N=114)	11.4	43.0	14.9	13.2	1.8	7.0	-	2.6	-	6.1
男性・50代 (N=91)	6.6	53.8	8.8	9.9	2.2	5.5	-	3.3	-	9.9
男性・60代 (N=71)	7.0	46.5	16.9	11.3	1.4	8.5	-	4.2	-	4.2
男性・70代 (N=38)	5.3	47.4	18.4	7.9	-	5.3	-	2.6	-	13.2
男性・80代以上 (N=9)	-	66.7	11.1	22.2	-	-	-	-	-	-
女性・10代 (N=11)	18.2	45.5	9.1	18.2	-	-	-	-	-	9.1
女性・20代 (N=87)	8.0	51.7	17.2	10.3	-	3.4	1.1	1.1	-	6.9
女性・30代 (N=110)	10.9	41.8	16.4	12.7	-	5.5	0.9	4.5	1.8	5.5
女性・40代 (N=127)	8.7	54.3	14.2	9.4	-	7.1	-	0.8	-	5.5
女性・50代 (N=80)	10.0	52.5	10.0	8.8	3.8	7.5	1.3	-	-	6.3
女性・60代 (N=52)	11.5	34.6	17.3	17.3	1.9	11.5	1.9	-	-	3.8
女性・70代 (N=36)	-	55.6	5.6	11.1	2.8	13.9	2.8	-	-	8.3
女性・80代以上 (N=14)	14.3	42.9	7.1	21.4	-	7.1	-	7.1	-	-

Q1. 性別・Q3. 年代と Q29. 文化芸術活動
の支出（2020年）のクロス集計

(%)

	0 円	20 5 万円 超 円 未 満	52 0 5 万円 未 満	75 5 0 万円 未 満	17 0 5 0 万円 未 満	11 2 0 5 0 万円 未 満	11 5 2 0 5 0 万円 未 満	11 7 5 5 0 万円 未 満	21 0 7 0 5 0 万円 未 満	2 0 0 0 万円 以 上
全体 (N=1,038)	13.4	53.6	10.3	8.4	2.3	5.2	0.3	1.7	0.1	4.7
男性 (N=501)	12.4	55.5	9.4	8.2	2.2	4.8	-	1.4	-	6.2
女性 (N=517)	13.7	51.6	11.4	8.5	2.5	5.8	0.6	2.1	0.2	3.5
その他 (N=18)	27.8	55.6	5.6	11.1	-	-	-	-	-	-
10代 (N=16)	6.3	62.5	6.3	6.3	-	6.3	-	6.3	-	6.3
20代 (N=165)	12.1	56.4	9.1	7.3	2.4	5.5	-	2.4	-	4.8
30代 (N=217)	14.7	50.7	12.4	8.3	2.3	5.5	0.9	0.9	-	4.1
40代 (N=245)	14.3	52.7	10.2	8.2	3.3	4.1	0.4	2.0	-	4.9
50代 (N=173)	14.5	54.3	9.2	9.2	0.6	5.2	-	1.2	-	5.8
60代 (N=122)	14.8	51.6	10.7	9.8	3.3	4.9	-	0.8	0.8	3.3
70代 (N=73)	8.2	57.5	8.2	5.5	2.7	9.6	-	1.4	-	6.8
80代以上 (N=25)	8.0	60.0	12.0	12.0	-	-	-	8.0	-	-
男性・10代 (N=4)	-	50.0	-	-	-	25.0	-	-	-	25.0
男性・20代 (N=75)	13.3	57.3	5.3	9.3	2.7	5.3	-	2.7	-	4.0
男性・30代 (N=102)	13.7	56.9	9.8	6.9	3.9	3.9	-	1.0	-	3.9
男性・40代 (N=113)	11.5	51.3	11.5	8.8	2.7	5.3	-	0.9	-	8.0
男性・50代 (N=91)	14.3	54.9	8.8	6.6	1.1	5.5	-	1.1	-	7.7
男性・60代 (N=69)	11.6	55.1	11.6	8.7	1.4	5.8	-	1.4	-	4.3
男性・70代 (N=38)	10.5	57.9	10.5	7.9	-	-	-	2.6	-	10.5
男性・80代以上 (N=9)	-	77.8	-	22.2	-	-	-	-	-	-
女性・10代 (N=11)	9.1	63.6	9.1	9.1	-	-	-	9.1	-	-
女性・20代 (N=86)	10.5	55.8	12.8	4.7	2.3	5.8	-	2.3	-	5.8
女性・30代 (N=109)	14.7	45.0	14.7	10.1	0.9	7.3	1.8	0.9	-	4.6
女性・40代 (N=127)	15.7	53.5	9.4	7.9	3.9	3.1	0.8	3.1	-	2.4
女性・50代 (N=80)	15.0	53.8	10.0	11.3	-	5.0	-	1.3	-	3.8
女性・60代 (N=53)	18.9	47.2	9.4	11.3	5.7	3.8	-	-	1.9	1.9
女性・70代 (N=35)	5.7	57.1	5.7	2.9	5.7	20.0	-	-	-	2.9
女性・80代以上 (N=14)	7.1	50.0	21.4	7.1	-	-	-	14.3	-	-

Q5. 最も力を入れて取り組んでいる文化芸術活動（分野別）と
Q29. 文化芸術活動の支出（2019年）のクロス集計

(%)

	0 円	2 0 5 円 万超 円 [↓] 未 満	5 2 0 5 万 万 円 [↓] 未 満	7 5 5 0 万 万 円 [↓] 未 満	1 7 0 5 万 万 円 [↓] 未 満	1 1 2 0 5 0 万 万 円 [↓] 未 満	1 1 5 2 0 5 万 万 円 [↓] 未 満	1 1 7 5 5 0 万 万 円 [↓] 未 満	2 1 0 7 0 5 万 万 円 [↓] 未 満	2 0 0 0 万 万 円 [↓] 以 上
全体 (N=1,020)	9.4	48.1	14.2	11.1	1.7	6.5	0.5	2.1	0.2	6.3
文芸 (N=59)	8.5	39.0	20.3	18.6	-	8.5	-	1.7	-	3.4
音楽 (N=396)	8.8	52.5	12.9	10.1	2.3	4.3	0.3	2.8	0.5	5.6
美術 (N=193)	7.8	45.1	16.6	10.9	1.6	7.3	1.0	0.5	-	9.3
工芸 (N=20)	-	30.0	25.0	5.0	-	20.0	5.0	-	-	15.0
演劇 (N=138)	13.8	42.8	14.5	8.7	1.4	10.9	-	3.6	-	4.3
舞踊 (N=59)	10.2	54.2	5.1	13.6	1.7	5.1	-	3.4	-	6.8
メディア芸術 (N=42)	7.1	54.8	11.9	16.7	-	4.8	-	-	-	4.8
伝統芸能 (N=8)	25.0	50.0	12.5	-	-	12.5	-	-	-	-
アイヌ文化 (N=5)	-	80.0	-	-	-	20.0	-	-	-	-
生活文化 (N=20)	15.0	40.0	10.0	10.0	5.0	5.0	-	-	-	15.0
デザイン・建築・ファッション (N=66)	12.1	43.9	16.7	12.1	1.5	4.5	1.5	1.5	-	6.1
その他 (N=14)	-	57.1	21.4	21.4	-	-	-	-	-	-

Q5. 最も力を入れて取り組んでいる文化芸術活動（分野別）と
Q29. 文化芸術活動の支出（2020年）のクロス集計

(%)

	0 円	2 0 5 円 万超 円 [↓] 未 満	5 2 0 5 万 万 円 [↓] 未 満	7 5 5 0 万 万 円 [↓] 未 満	1 7 0 5 万 万 円 [↓] 未 満	1 1 2 0 5 0 万 万 円 [↓] 未 満	1 1 5 2 0 5 万 万 円 [↓] 未 満	1 1 7 5 5 0 万 万 円 [↓] 未 満	2 1 0 7 0 5 万 万 円 [↓] 未 満	2 0 0 0 万 万 円 [↓] 以 上
全体 (N=1,014)	13.5	53.6	10.2	8.5	2.4	5.0	0.3	1.8	0.1	4.6
文芸 (N=59)	10.2	55.9	3.4	16.9	1.7	5.1	-	3.4	-	3.4
音楽 (N=394)	14.2	57.4	11.2	5.1	2.3	4.6	0.3	0.8	-	4.3
美術 (N=192)	11.5	51.0	9.9	12.0	2.1	5.2	0.5	1.6	-	6.3
工芸 (N=20)	5.0	35.0	20.0	15.0	10.0	5.0	-	-	-	10.0
演劇 (N=137)	16.1	52.6	10.2	5.8	1.5	5.8	-	3.6	-	4.4
舞踊 (N=59)	15.3	49.2	10.2	10.2	3.4	1.7	-	3.4	1.7	5.1
メディア芸術 (N=41)	17.1	51.2	7.3	12.2	-	9.8	-	-	-	2.4
伝統芸能 (N=8)	25.0	62.5	-	-	-	12.5	-	-	-	-
アイヌ文化 (N=5)	20.0	60.0	-	-	20.0	-	-	-	-	-
生活文化 (N=19)	21.1	42.1	5.3	10.5	-	10.5	-	5.3	-	5.3
デザイン・建築・ファッション (N=66)	9.1	51.5	10.6	12.1	3.0	4.5	1.5	3.0	-	4.5
その他 (N=14)	7.1	57.1	21.4	7.1	7.1	-	-	-	-	-

Q6. 文化芸術活動の主な役割と

Q29. 文化芸術活動の支出（2019年）のクロス集計

(%)

	0 円	20 5円 万超 円 未 満	52 05 万万 円 未 満	75 50 万万 円 未 満	17 05 0万 円 未 満	11 20 50 万万 円 未 満	11 52 05 万万 円 未 満	11 75 50 万万 円 未 満	21 07 05 万万 円 未 満	2 0 0 0 万円 以上
全体 (N=1,032)	9.4	48.2	14.0	11.0	1.6	6.6	0.5	2.0	0.3	6.4
創作発表 (N=771)	8.9	46.8	15.6	10.9	1.9	6.7	0.4	1.8	0.3	6.6
企画制作 (N=229)	9.6	47.2	11.4	12.2	1.7	7.0	0.4	4.4	0.4	5.7
技術提供 (N=147)	15.0	51.7	10.9	10.9	-	3.4	0.7	3.4	0.7	3.4
施設運営 (N=49)	10.2	55.1	12.2	6.1	-	6.1	2.0	4.1	-	4.1
教育研究 (N=194)	6.7	49.0	15.5	13.4	0.5	5.2	-	0.5	0.5	8.8
販売 (N=100)	12.0	48.0	12.0	10.0	3.0	6.0	-	1.0	-	8.0
サポート (N=115)	7.8	48.7	13.0	11.3	1.7	7.8	0.9	3.5	0.9	4.3
その他 (N=18)	16.7	33.3	16.7	16.7	-	11.1	-	-	-	5.6
上記の技能分野では2つに絞ることができない (N=14)	7.1	28.6	14.3	28.6	-	7.1	-	-	-	14.3

Q6. 文化芸術活動の主な役割と

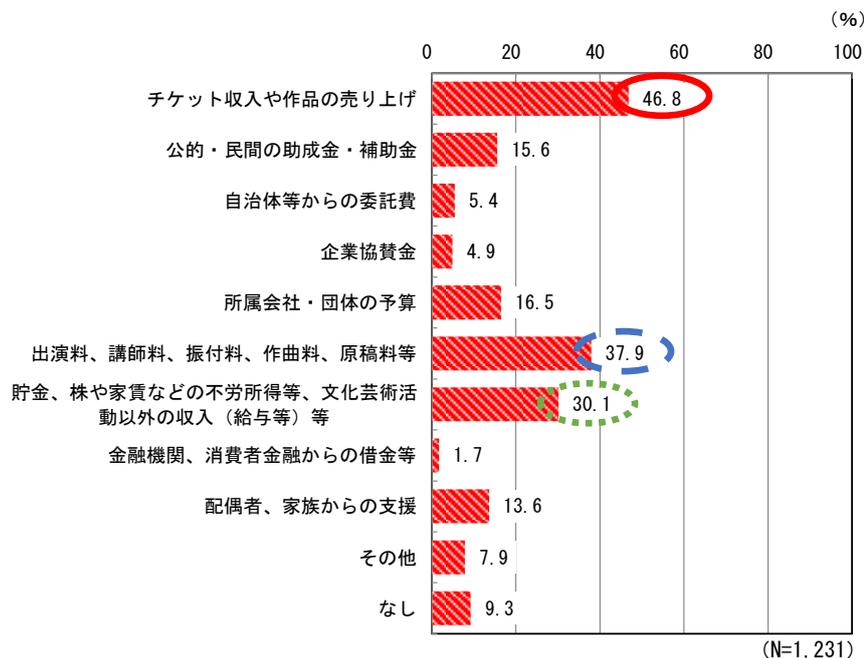
Q29. 文化芸術活動の支出（2020年）のクロス集計

(%)

	0 円	20 5円 万超 円 未 満	52 05 万万 円 未 満	75 50 万万 円 未 満	17 05 0万 円 未 満	11 20 50 万万 円 未 満	11 52 05 万万 円 未 満	11 75 50 万万 円 未 満	21 07 05 万万 円 未 満	2 0 0 0 万円 以上
全体 (N=1,026)	13.5	53.3	10.3	8.5	2.3	5.3	0.3	1.7	0.1	4.8
創作発表 (N=767)	12.6	53.8	11.2	8.5	2.2	4.7	0.3	1.7	0.1	4.8
企画制作 (N=226)	15.0	50.0	8.8	9.7	1.8	5.3	0.4	2.7	-	6.2
技術提供 (N=146)	15.8	54.8	12.3	8.9	2.1	1.4	0.7	0.7	-	3.4
施設運営 (N=49)	12.2	59.2	10.2	2.0	4.1	6.1	2.0	-	-	4.1
教育研究 (N=193)	9.8	55.4	12.4	8.3	2.6	4.1	-	1.6	-	5.7
販売 (N=100)	18.0	49.0	9.0	9.0	3.0	5.0	-	2.0	-	5.0
サポート (N=115)	14.8	53.9	7.0	12.2	2.6	5.2	-	2.6	-	1.7
その他 (N=18)	11.1	50.0	16.7	-	5.6	16.7	-	-	-	-
上記の技能分野では2つに絞ることができない (N=14)	7.1	50.0	14.3	-	-	21.4	-	7.1	-	-

3-7 文化芸術活動の主な財源

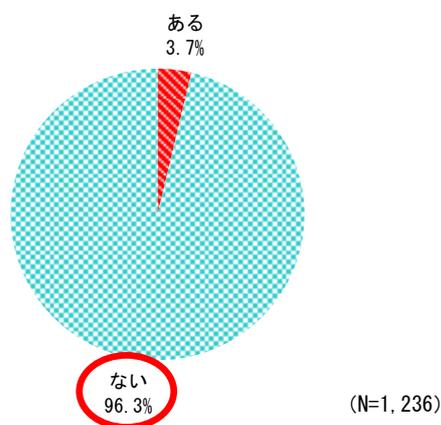
Q30. あなたが文化芸術活動を行う際の主な財源をお答えください。 <MA>



3-8 助成金・補助金の申請状況（2019年）

Q31. 2019年度に個人として申請した文化芸術活動関連の助成金・補助金はありますか。

<SA>



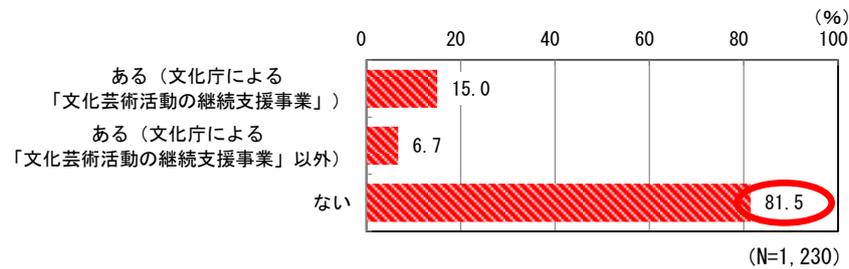
Q32. 【Q31で「1. ある」回答者のみお答えください】2019年度に申請した助成金・補助金のうち、採択されたのは何件ですか。 <IN>

	申請件数	採択件数
N	45	45
最大	15 件	5 件
最小	1 件	0 件
平均	1.8 件	1.1 件
中間値	1 件	1 件

3-9 助成金・補助金の申請状況（2020年）

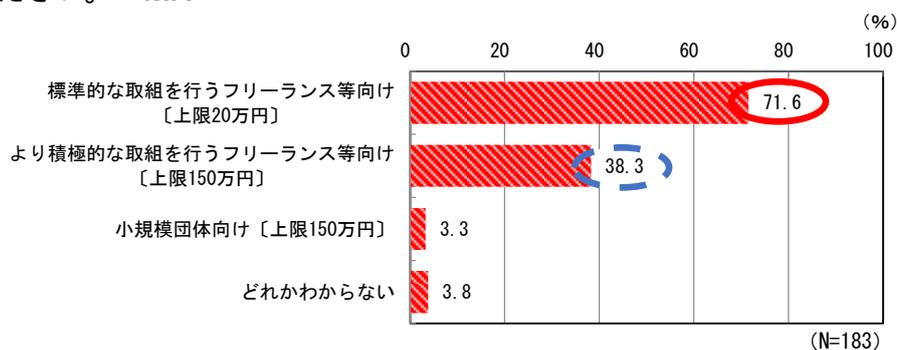
Q33. 2020年度に個人として申請した文化芸術活動関連の助成金・補助金はありますか。

<MA>



3-10 申請した「文化芸術活動の継続支援事業」の種別・件数

Q34. 【Q33で「1. ある（文化庁による「文化芸術活動の継続支援事業」）」回答者のみお答えください】申請した「文化芸術活動の継続支援事業」の種別（補助の形態）をお答えください。<MA>

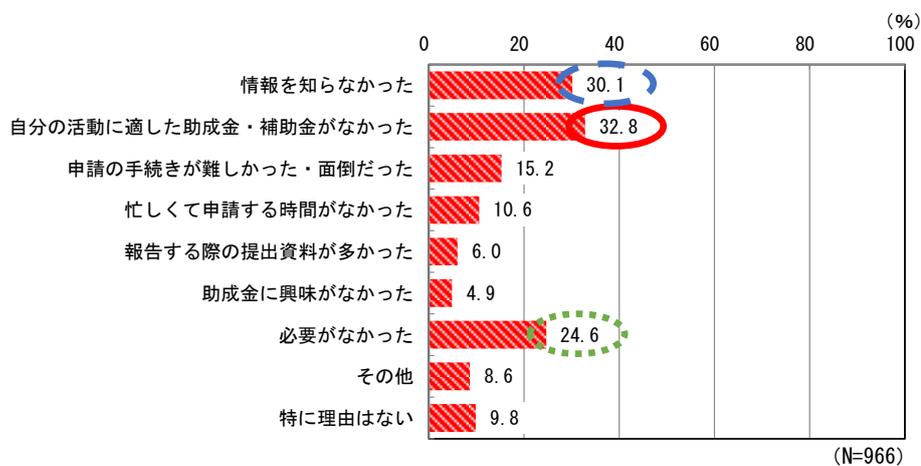


Q35. 【Q33で「2. ある（文化庁による「文化芸術活動の継続支援事業」以外）」回答者のみお答えください】2020年度に申請した「文化芸術活動の継続支援事業」以外の助成金・補助金のうち、採択されたのは何件ですか。<IN>

	申請件数（継続支援事業）	申請件数（継続支援事業以外）	採択件数（継続支援事業以外）
N	185	83	80
最大	3件	6件	6件
最小	1件	1件	0件
平均	1.2件	1.7件	1.5件
中間値	1件	1件	1件

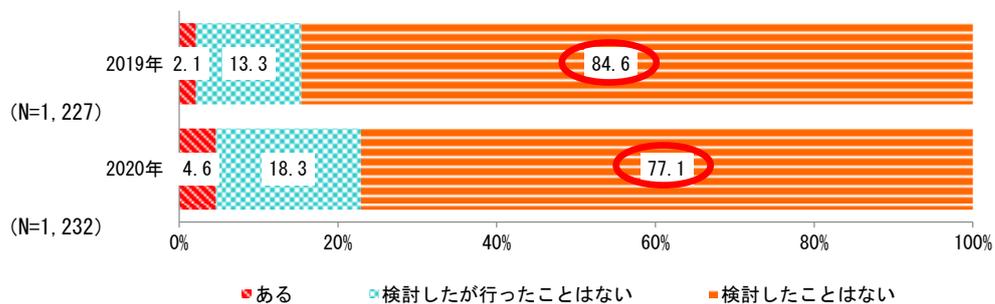
3-11 助成金・補助金を申請しなかった理由

Q36. 【Q31で「2. ない」、かつ、Q33で「3. ない」回答者のみお答えください】助成金・補助金を申請しなかった理由は何ですか。＜MA＞



3-12 クラウドファンディングへの取組状況

Q37. 文化芸術活動の資金調達のため、クラウドファンディングに取り組んだことはありますか。＜SA・マトリクス＞



4. 文化芸術活動に関する課題

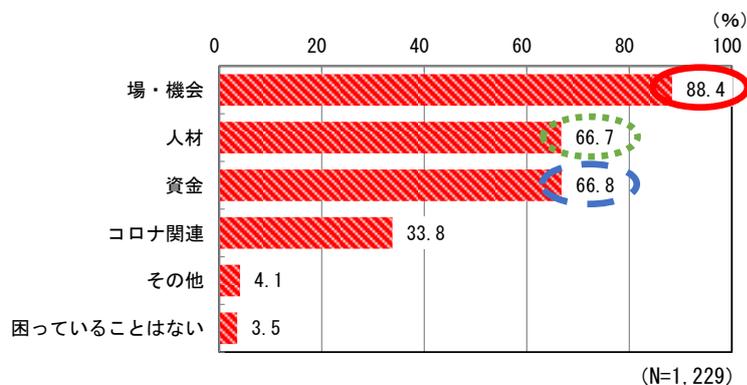
文化芸術活動に関する課題についてお聞きします。

- 文化芸術活動をするにあたって不足している・課題だと感じていること〈Q38〉は、【場・機会】に関する課題(88.4%)が多く挙げられた。具体的な課題としては、「【場・機会】発表の場・機会(49.4%)」、「【場・機会】収入を得るための場・機会(48.3%)」が多く挙げられた。
- 現在、最も力を入れている分野とのクロス集計〈Q5×Q38〉をみると、「演劇」分野や「メディア芸術」分野において【場・機会】、【資金】に関する課題が多く挙げられた。また、美術では「批評家・評論家・研究者」が不足しているという認識が高く、全体に比べて12.7ポイント高かった。
- 文化芸術の主な役割とのクロス集計〈Q6×Q38〉をみると、「教育研究」は「発表の場・機会(61.0%)」、「販売」は「収入を得るための場・機会(59.2%)」の割合が高く、それぞれ全体の割合に比べて10ポイント以上高かった。

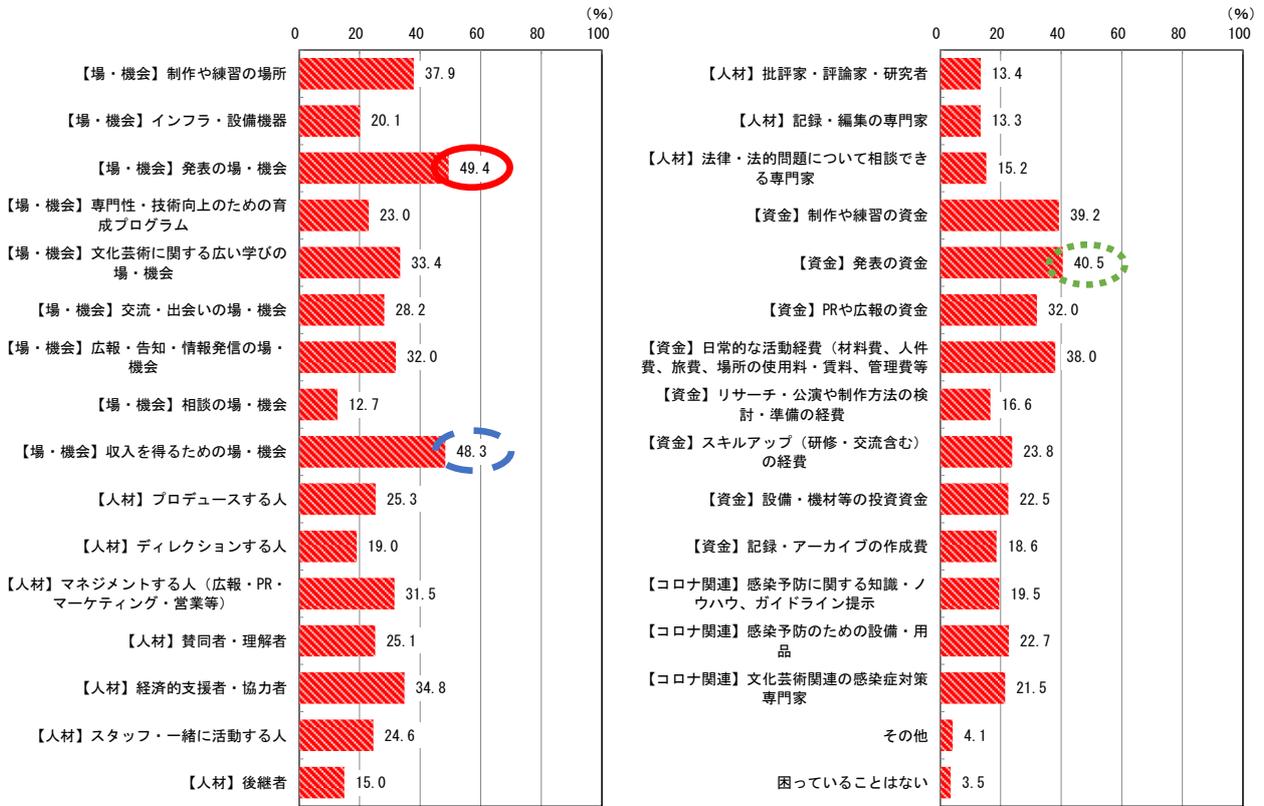
4-1 不足している・課題だと感じていること

Q38. あなたが文化芸術活動をするにあたって不足している・課題だと感じていることをお答えください。〈MA〉

Q38. 文化芸術活動をするにあたって不足・課題と感じていること
分野ごとの集計〈MA〉



Q38. 文化芸術活動をするにあたって不足・課題と感じていること
各分野の内訳<MA>



(N=1, 229)

Q5. 最も力を入れて取り組んでいる文化芸術活動（分野別）と

Q38. 文化芸術活動をするにあたって不足・課題と感じていることのクロス集計

(%)

	所 〔場・機会〕 制作や練習の場	機 器 〔場・機会〕 インフラ・設備	〔場・機会〕 発表の場・機会	上 の た め の 育 成 プ ロ グ ラ ム	〔場・機会〕 専門性・技術向	〔場・機会〕 文化芸術に 関する	〔場・機会〕 交流・出会いの 場・機会	報 告 信 の 場 ・ 機 会	〔場・機会〕 相談の場・機会	〔場・機会〕 収入を得るため の場・機会	〔人材〕 プロデューサー とする人	〔人材〕 ディレクション する人	〔人材〕 マネージメント する人 〔広報・PR・マ ーケティング ・営業等〕	〔人材〕 賛同者・理解者	〔人材〕 経済的支援者・協 力者	〔人材〕 スタッフ・一緒に活 動する人	〔人材〕 後継者
全体(N=1,199)	37.9	19.8	49.4	22.4	33.0	28.3	31.9	12.5	48.2	24.9	18.6	30.8	24.9	34.8	24.4	14.8	
文芸(N=69)	23.2	8.7	36.2	18.8	36.2	29.0	34.8	5.8	36.2	18.8	11.6	23.2	23.2	14.5	18.8	14.5	
音楽(N=461)	43.8	20.8	55.1	16.7	25.2	22.8	26.5	9.5	43.2	20.4	13.7	24.9	24.7	34.7	23.6	15.6	
美術(N=229)	30.1	23.1	50.2	21.8	35.4	31.4	29.7	15.7	48.9	31.0	24.9	34.9	27.5	36.2	21.0	11.8	
工芸(N=25)	20.0	12.0	60.0	16.0	28.0	28.0	32.0	16.0	72.0	28.0	28.0	36.0	20.0	52.0	24.0	8.0	
演劇(N=174)	54.6	21.3	43.7	37.4	46.6	33.9	46.6	19.0	61.5	33.9	23.6	40.2	24.1	42.0	28.7	14.4	
舞踊(N=68)	38.2	16.2	54.4	22.1	36.8	27.9	39.7	14.7	42.6	23.5	17.6	32.4	20.6	41.2	30.9	16.2	
メディア芸術(N=46)	26.1	17.4	41.3	32.6	37.0	32.6	34.8	13.0	47.8	26.1	23.9	26.1	30.4	41.3	28.3	15.2	
伝統芸能(N=8)	37.5	12.5	50.0	25.0	12.5	25.0	50.0	12.5	50.0	12.5	25.0	37.5	25.0	25.0	12.5	25.0	
アイヌ文化(N=6)	50.0	33.3	50.0	50.0	50.0	33.3	33.3	66.7	66.7	16.7	33.3	50.0	50.0	33.3	33.3	50.0	
生活文化(N=22)	13.6	4.5	22.7	31.8	31.8	27.3	22.7	22.7	50.0	9.1	9.1	27.3	13.6	4.5	13.6	9.1	
デザイン・建築・ファッション(N=72)	23.6	22.2	41.7	22.2	36.1	34.7	27.8	4.2	52.8	27.8	20.8	37.5	20.8	27.8	27.8	18.1	
その他(N=19)	15.8	21.1	47.4	10.5	36.8	36.8	31.6	-	47.4	15.8	15.8	31.6	42.1	31.6	31.6	21.1	

	究 者 〔人材〕 批評家・評論家・研	〔人材〕 記録・編集の専門 家	〔人材〕 法律・法的問題に つ	〔資金〕 制作や練習の資金	〔資金〕 発表の資金	〔資金〕 PRや広報の資金	所 の 使 用 料 ・ 人 件 費 ・ 旅 費 ・ 管 理 費 等 場	〔資金〕 日常的な活動経費	〔資金〕 リサーチ・準備の 経費や制	修 ・ 交 流 含 む の 経 費	〔資金〕 設備・機材等の 投資	〔資金〕 記録・アーカイブ の	〔人材〕 「コロナ関連」感 染予防のた	〔人材〕 「コロナ関連」文 化芸術関連	そ の 他	困 っ て い る こ と は な い
全体(N=1,199)	13.1	13.3	14.8	39.0	40.5	31.9	38.0	16.4	23.4	22.2	18.1	19.3	22.7	21.3	4.2	3.5
文芸(N=69)	11.6	13.0	13.0	26.1	26.1	24.6	26.1	10.1	13.0	10.1	10.1	11.6	11.6	14.5	1.4	5.8
音楽(N=461)	5.6	10.4	13.0	33.0	39.5	30.8	33.0	12.8	18.9	22.8	16.5	20.8	23.2	22.3	3.7	4.1
美術(N=229)	25.8	16.2	17.9	41.0	41.9	26.6	38.9	20.1	24.9	22.3	24.0	17.5	20.1	16.6	7.0	2.6
工芸(N=25)	12.0	12.0	20.0	36.0	44.0	32.0	40.0	12.0	28.0	40.0	24.0	12.0	20.0	16.0	8.0	-
演劇(N=174)	19.0	21.3	17.8	56.9	52.9	47.7	52.9	27.0	37.4	24.1	22.4	29.9	32.2	34.5	1.1	0.6
舞踊(N=68)	8.8	7.4	11.8	45.6	52.9	33.8	41.2	20.6	25.0	22.1	14.7	19.1	29.4	27.9	8.8	4.4
メディア芸術(N=46)	17.4	15.2	30.4	54.3	43.5	30.4	41.3	15.2	28.3	34.8	19.6	17.4	26.1	17.4	2.2	2.2
伝統芸能(N=8)	12.5	12.5	-	25.0	25.0	37.5	25.0	12.5	37.5	12.5	12.5	12.5	37.5	12.5	-	-
アイヌ文化(N=6)	16.7	-	33.3	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	66.7	33.3	16.7	16.7	33.3	16.7	-	-
生活文化(N=22)	-	4.5	-	18.2	22.7	13.6	45.5	9.1	22.7	13.6	-	13.6	13.6	22.7	4.5	18.2
デザイン・建築・ファッション(N=72)	15.3	11.1	8.3	36.1	23.6	30.6	36.1	9.7	16.7	13.9	15.3	8.3	12.5	6.9	2.8	5.6
その他(N=19)	5.3	15.8	5.3	26.3	15.8	21.1	36.8	5.3	10.5	21.1	10.5	5.3	5.3	5.3	10.5	-

Q6. 文化芸術活動の主な役割と

Q38. 文化芸術活動をするにあたって不足・課題と感じていることのクロス集計

(%)

	所【場・機会】制作や練習の場	機器【場・機会】インフラ・設備	【場・機会】発表の場・機会	上のための育成プログラム	【場・機会】専門性・技術に関する広い学びの場・機会	【場・機会】文化交流・出合いの場・機会	【場・機会】広報・告知・情報発信の場・機会	【場・機会】相談の場・機会	【場・機会】収入を得るための場・機会	【人材】プロデュースする人	【人材】ディレクションする人	【人材】マネジメントする人【広報・PR・マーケティング・営業等】	【人材】賛同者・理解者	【人材】経済的支援者・協力者	【人材】スタッフ・一緒に活動する人	【人材】後継者
全体(N=1,215)	38.0	20.3	49.6	23.2	33.5	28.3	32.3	12.8	48.7	25.6	19.3	31.8	25.4	35.1	24.7	15.1
創作発表(N=903)	43.3	21.0	53.8	23.1	34.1	27.8	32.8	12.7	52.3	28.0	19.3	33.4	26.0	38.2	24.3	13.3
企画制作(N=276)	34.8	26.8	45.7	28.6	37.3	35.5	40.9	18.1	53.3	28.3	27.9	42.8	31.9	43.5	33.3	21.7
技術提供(N=175)	35.4	27.4	36.6	30.3	33.7	25.7	32.0	13.7	56.6	26.3	22.9	33.7	25.7	36.0	29.1	19.4
施設運営(N=59)	18.6	22.0	27.1	30.5	33.9	30.5	33.9	16.9	42.4	28.8	30.5	39.0	28.8	35.6	25.4	25.4
教育研究(N=236)	36.0	16.1	61.0	22.5	36.0	24.6	37.7	10.6	50.4	24.2	15.3	33.1	26.3	39.8	24.6	20.8
販売(N=120)	29.2	20.0	56.7	23.3	28.3	33.3	30.8	15.8	59.2	32.5	25.8	37.5	30.0	36.7	20.8	5.8
サポート(N=141)	27.7	11.3	48.2	22.7	34.0	37.6	26.2	10.6	31.9	17.0	12.1	21.3	23.4	26.2	28.4	14.9
その他(N=18)	27.8	16.7	44.4	5.6	38.9	44.4	44.4	11.1	27.8	16.7	11.1	16.7	27.8	16.7	22.2	16.7
上記の技能分野では2つに絞ることができない(N=16)	43.8	31.3	50.0	12.5	31.3	37.5	18.8	6.3	43.8	31.3	18.8	25.0	25.0	18.8	37.5	31.3

	【人材】批評家・評論家・研究者	【人材】記録・編集の専門家	【人材】法律・法的問題について相談できる専門家	【資金】制作や練習の資金	【資金】発表の資金	【資金】PRや広報の資金	【資金】日常の活動経費【材料費・人件費・旅費や場所の使用料・賃料、管理費等】	【資金】リサーチ・公演や制作方法の検討・準備の経費	【資金】スキルアップ(研修・交流含む)の経費	【資金】設備・機材等の投資	【資金】記録・アーカイブの作成費	【コロナ関連】感染症予防に関する知識・ノウハウ、ガイドライン提示	【コロナ関連】感染症予防のための設備・用品	【コロナ関連】文化芸術関連の感染症対策専門家	その他	困っていることはない
全体(N=1,215)	13.6	13.4	15.4	39.7	41.0	32.3	38.4	16.8	24.0	22.8	18.8	19.6	22.8	21.6	4.0	3.3
創作発表(N=903)	14.5	14.6	16.5	43.4	46.3	35.0	41.0	18.6	25.9	24.6	20.5	20.6	24.5	23.5	3.7	2.7
企画制作(N=276)	18.1	18.8	21.7	45.7	44.6	41.3	44.2	23.2	23.9	25.7	26.1	17.4	25.0	23.2	3.6	2.5
技術提供(N=175)	12.0	13.1	18.9	41.1	36.6	38.9	38.9	17.7	28.6	33.7	24.0	16.0	24.0	22.9	4.6	3.4
施設運営(N=59)	15.3	18.6	18.6	33.9	25.4	28.8	37.3	13.6	28.8	28.8	16.9	18.6	16.9	16.9	3.4	-
教育研究(N=236)	14.4	15.3	16.1	38.6	47.5	33.5	37.3	19.5	26.7	19.9	19.5	19.5	23.7	22.9	5.1	1.7
販売(N=120)	12.5	12.5	16.7	47.5	40.8	28.3	46.7	14.2	23.3	30.0	20.0	20.0	21.7	15.0	4.2	0.8
サポート(N=141)	7.8	7.8	10.6	23.4	25.5	17.0	25.5	9.9	18.4	13.5	10.6	22.7	23.4	22.0	3.5	5.0
その他(N=18)	11.1	22.2	11.1	5.6	11.1	16.7	5.6	-	11.1	-	16.7	16.7	16.7	22.2	11.1	5.6
上記の技能分野では2つに絞ることができない(N=16)	6.3	6.3	25.0	37.5	31.3	31.3	37.5	18.8	25.0	18.8	18.8	31.3	25.0	18.8	-	12.5

5. 文化芸術活動に対する意識等

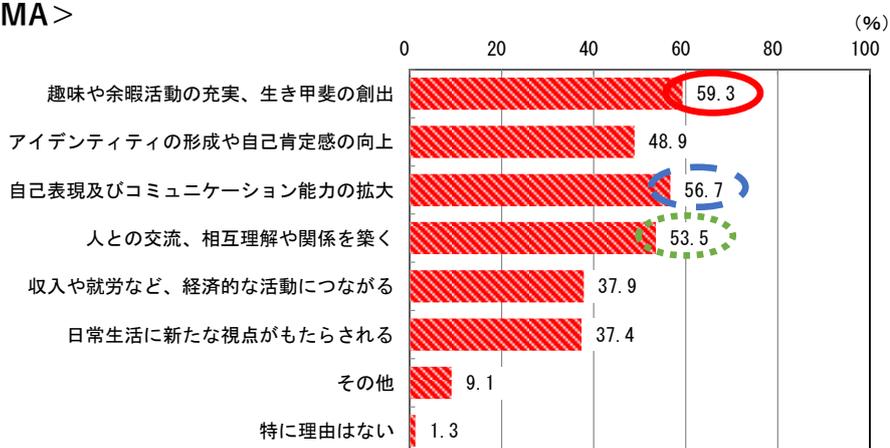
文化芸術活動に対する意識等についてお聞きします。

- 文化芸術活動を行っている理由〈Q39〉として、「趣味や余暇活動の充実、生き甲斐の創出(59.3%)」、「自己表現及びコミュニケーション能力の拡大(56.7%)」、「人との交流、相互理解や関係を築く(53.5%)」が多く挙げられた。
- 文化芸術が社会にもたらす効果〈Q40〉は、「人々が生きる楽しみを見出せる(82.2%)」の回答が特に多く、他には「人々の創造性の向上(62.6%)」、「地域社会・経済の活性化(58.0%)」、「子どもの豊かな心の育み(56.8%)」などが挙げられた。
- 今後、接点・関わりを持ちたい「他の文化芸術分野」〈Q42〉は、「音楽(48.3%)」、「美術(47.2%)」、「メディア芸術(39.2%)」が多い。具体的な内容としては「【美術】映像(26.2%)」、「【メディア芸術】映画(24.2%)」、「【メディア芸術】デジタル技術を活用した芸術表現(21.8%)」など、映像やデジタル技術を活用した芸術が多く挙げられた。
- 現在、接点・関わりのある「社会分野」〈Q43〉と今後、接点・関わりを持ちたい「社会分野」〈Q44〉にかけての増減の状況を見ると、「多文化共生(15.6%)」、「国際交流(10.7%)」、「環境(9.3%)」などの分野で、今後、接点・関わりを持ちたいとの希望が多く挙げられた。
- 今後、接点・関わりを持ってやってみたいこと〈Q45〉では、「コラボ・異分野での創作など(168件)」、「国・地域・多世代などの交流(114件)」などが特に多く挙げられた。
- 連携を進める上での課題〈Q46〉としては、「コーディネーター(繋ぐ人、導く人など)がいない(57.9%)」、「連携のための助成金・補助金がない(47.7%)」、「異分野間をつなぐ仕組みがない(42.6%)」など、連携のための仕組みや人材、資金が多く挙げられた。
- 意見・要望・課題等〈Q47〉では、不足している・課題だと感じていること〈Q38〉でも特に多かった「発表の場・機会の増加」が最も多く挙げられた。他にも「広報・告知・情報発信などの場・機会の増加」、「申請方法の簡便化・申請対象の拡大など」、「日常的な活動経費の補助・減免など」も多く挙げられた。

5-1 文化芸術活動を続けている・行っている理由

Q39. あなたが文化芸術活動を続けている・行っている理由はなんですか。

<MA>

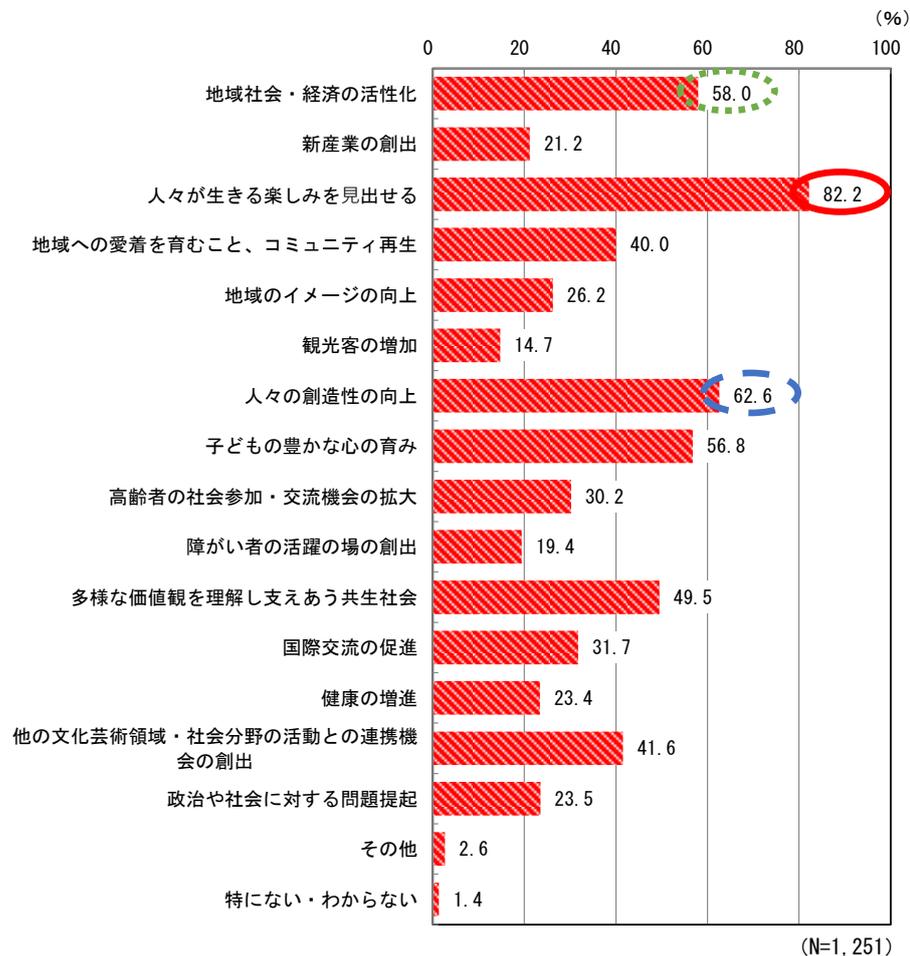


(N=1,246)

5-2 文化芸術が社会にもたらす効果

Q40. あなたは、文化芸術が社会にもたらす効果として、どのようなことを期待しますか。

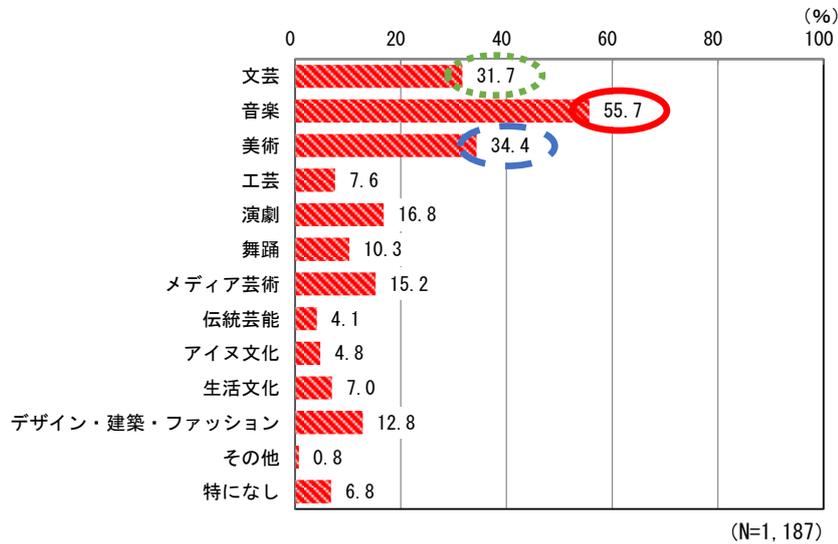
<MA>



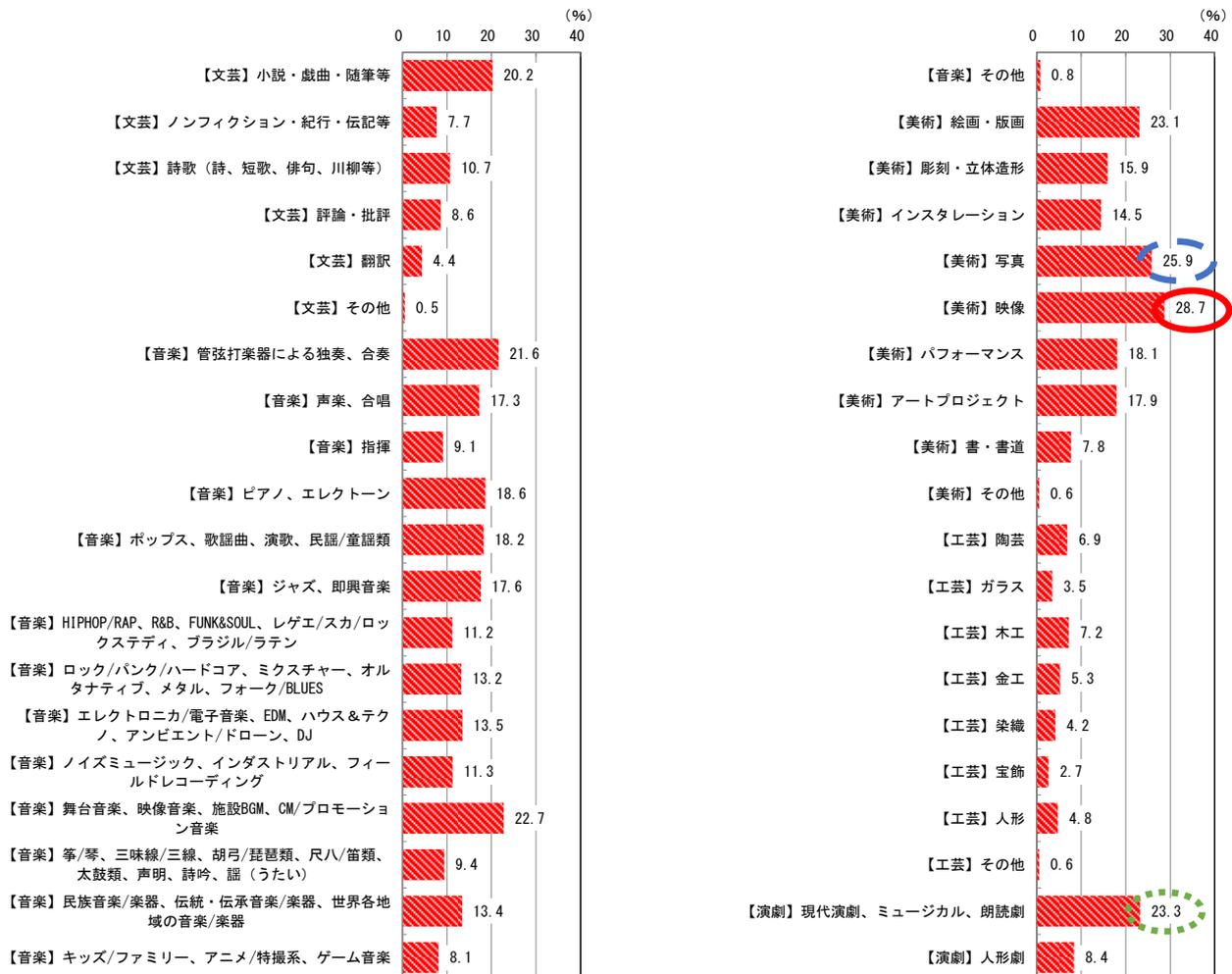
5-3 現在、接点・関わりのある「他の文化芸術分野」

Q41. あなたが行っている文化芸術活動に関して、現在、接点・関わりのある「他の文化芸術分野」は何ですか。<MA>

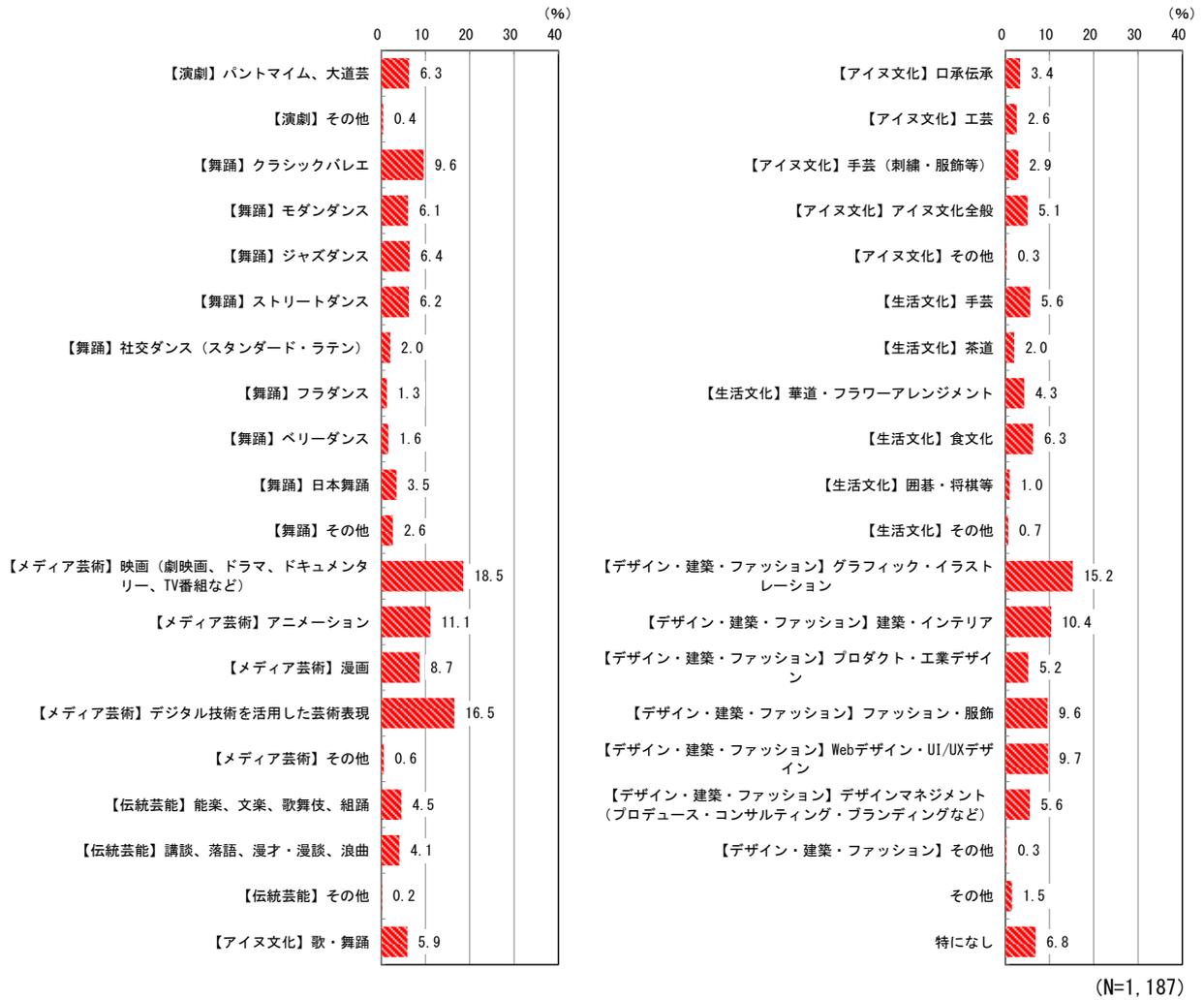
Q41. 現在、接点・関わりのある「他の分野芸術」 分野ごとの集計<MA>



Q41. 現在、接点・関わりのある「他の分野芸術」 各分野の内訳<MA>



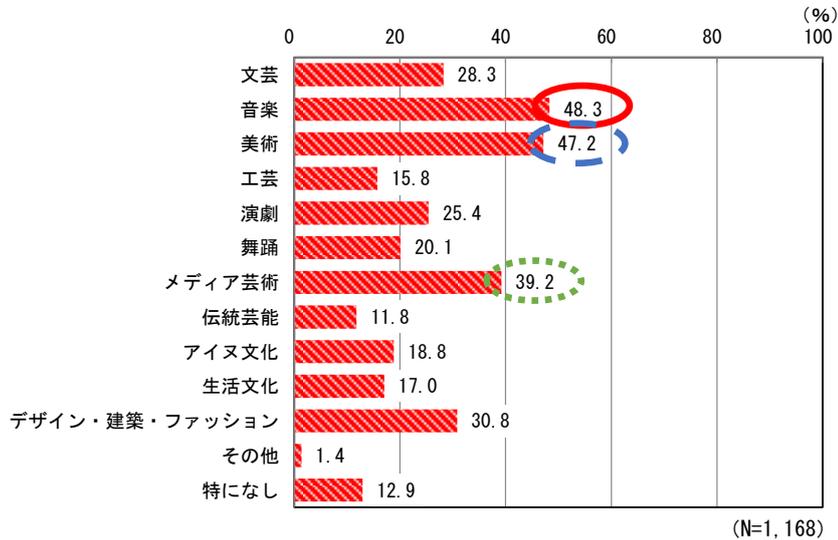
Q41. 現在、接点・関わりのある「他の分野芸術」 各分野の内訳<MA> ※前頁の続き



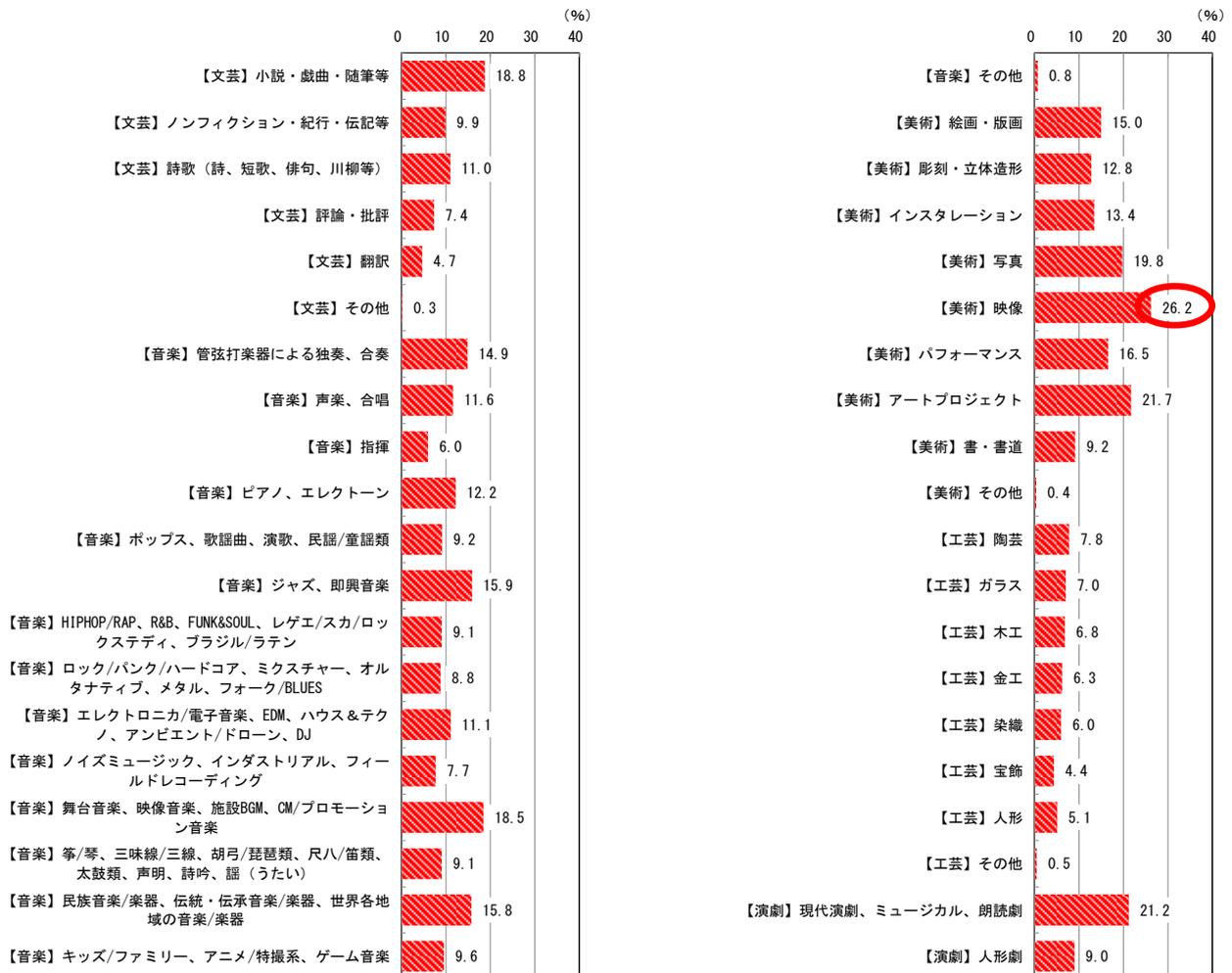
5-4 今後、接点・関わりを持ちたい「他の文化芸術分野」

Q42. あなたが行っている文化芸術活動に関して、今後、接点・関わりを持ちたいと思っている「他の文化芸術分野」は何ですか。 <MA>

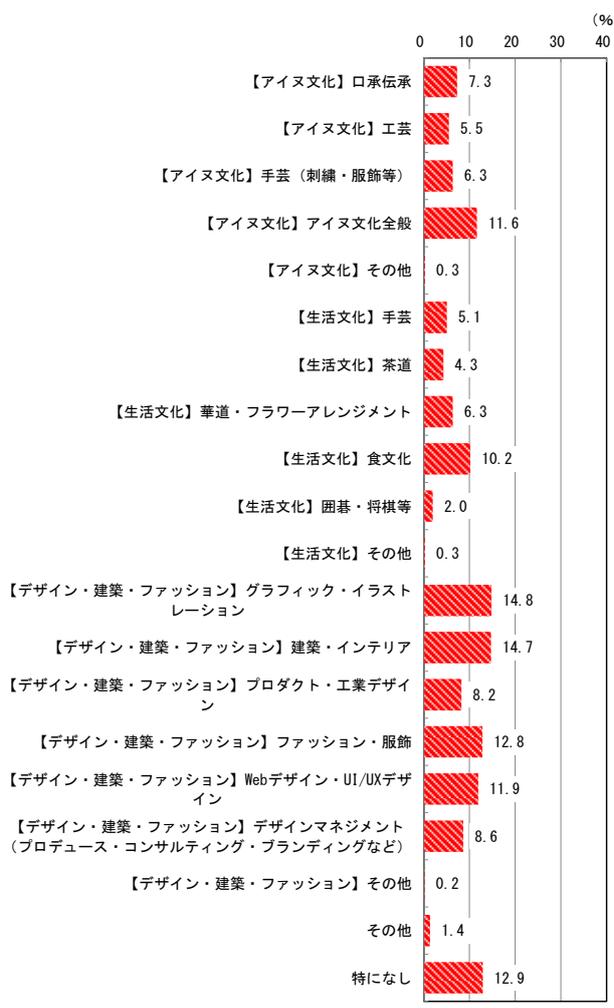
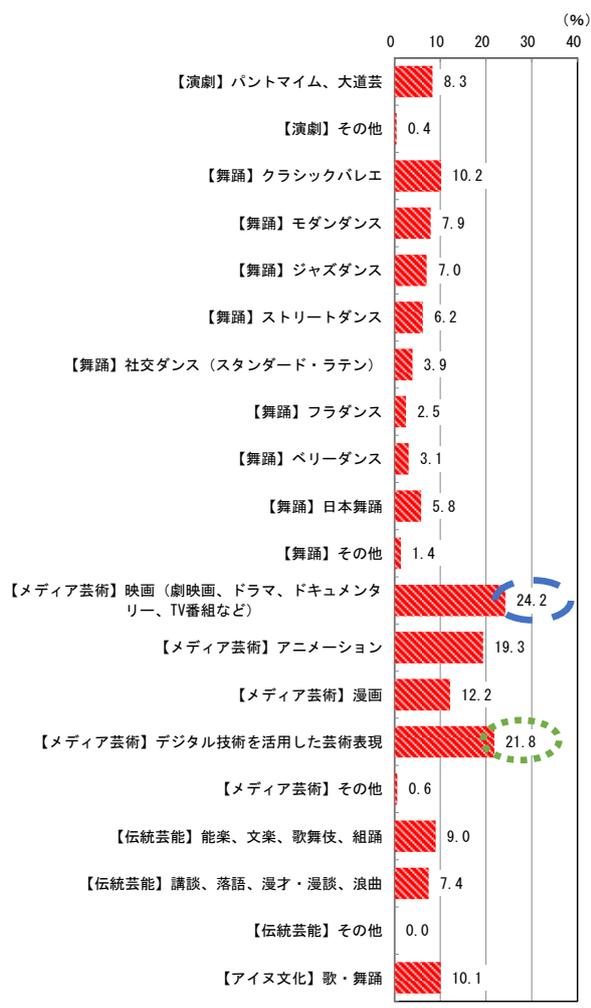
Q42. 今後、接点・関わりを持ちたい「他の文化芸術分野」 分野ごとの集計<MA>



Q42. 今後、接点・関わりを持ちたい「他の文化芸術分野」 各分野の内訳<MA>



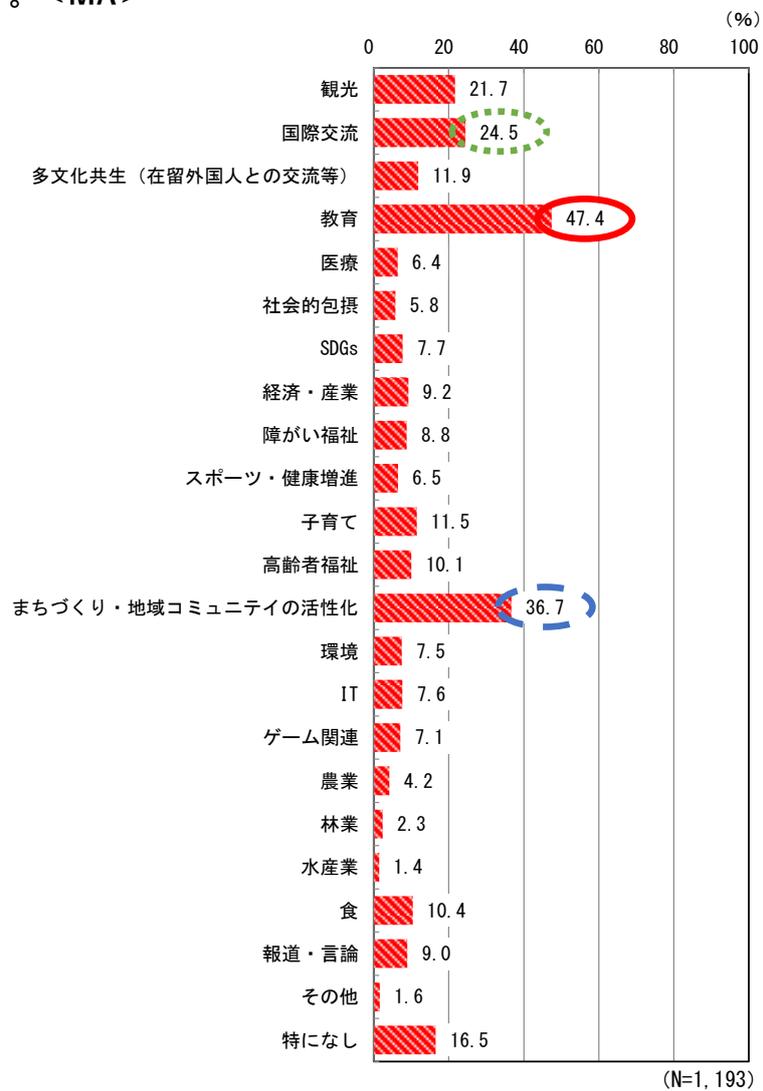
Q42. 今後、接点・関わりを持ちたい「他の文化芸術分野」 各分野の内訳<MA> ※前頁の続き



(N=1,168)

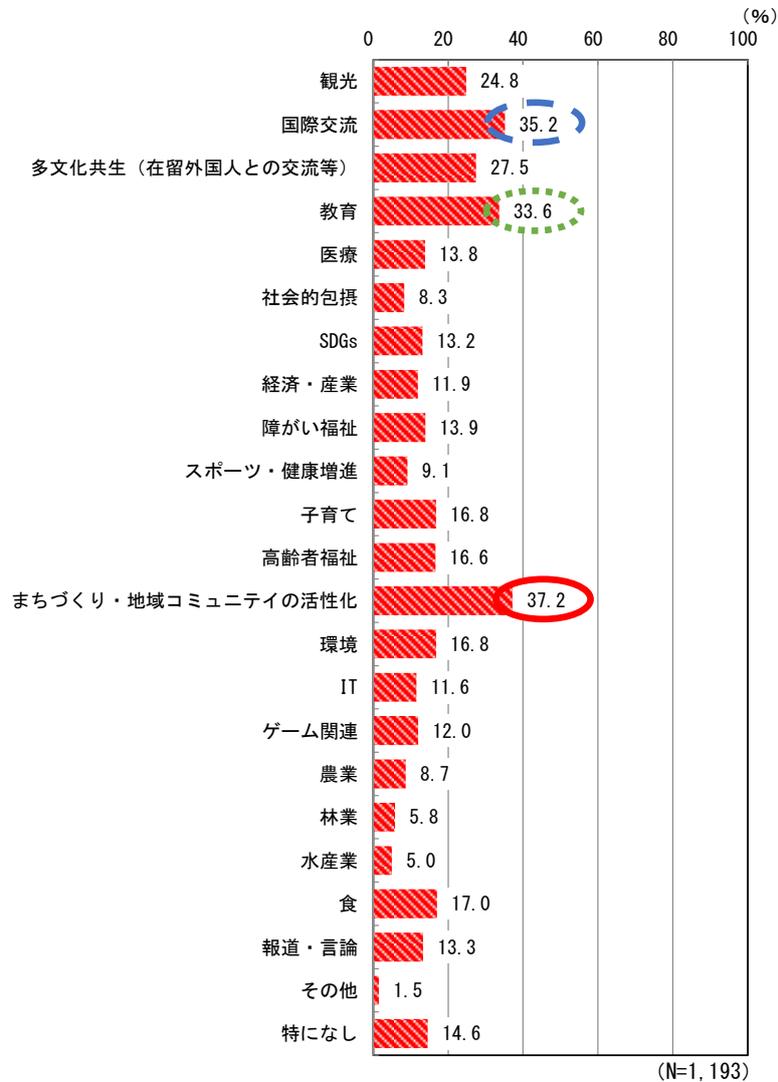
5-5 現在、接点・関わりのある「社会分野」

Q43. あなたが行っている文化芸術活動に関して、現在、接点・関わりのある「社会分野」は何ですか。〈MA〉

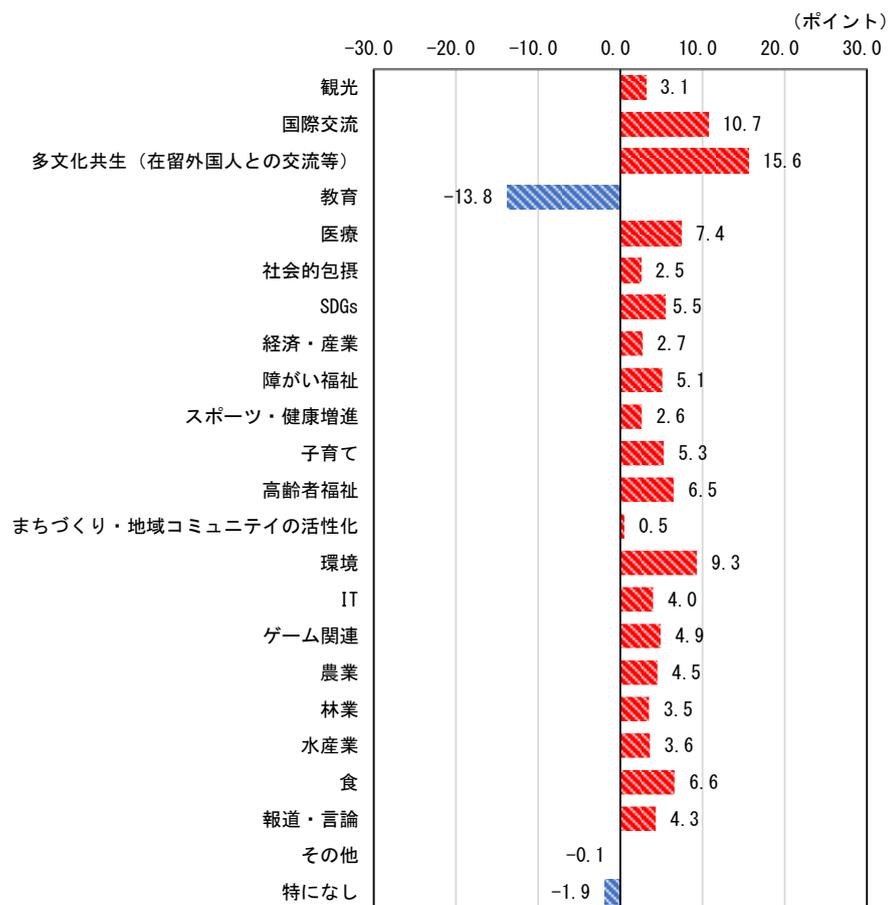


5-6 今後、接点・関わりを持ちたい「社会分野」

Q44. あなたが行っている文化芸術活動に関して、今後、接点・関わりを持ちたいと思っている「社会分野」は何ですか。〈MA〉



Q43. 現在、接点・関わりのある「社会分野」と
 Q44. 今後、接点・関わりを持ちたい「他の文化芸術分野」にかけての増減の状況



5-7 今後、接点・関わりを持ってやってみたいこと

Q45. 【Q42、Q44 で「今後、『他の文化芸術分野』『社会分野』と接点・関わりを持ちたい」と回答した方にお聞きします】今後、「他の文化芸術分野」「社会分野」と接点・関わりを持ってやってみたいことはどのようなことですか。 <FA>

Q45. 今後、接点・関わりを持ってやってみたいことの種類・分類<MA>

接点・関わりを持ってやってみたいことの種類・分野	該当数
コラボ・異分野での創作など	168
国・地域・多世代などの交流	114
福祉・教育	76
イベント実施・芸術に触れる機会の創出など	68
普及啓発・情報発信	40
問題提起・解決	36
ビジネス・経済・観光	29
技術・知識の向上	27
研究・調査・記録	13
社会貢献	12
発掘・育成・継承	11
支援	10
その他	10

(N=492)

分類ごとの意見の一例

【コラボ・異分野での創作など】

- 音楽と、映像作品やアニメーション等とのコラボレーション。相互のユーザー交流によりフォロワーを共有。直接講演以外でのまちづくり貢献。作品を通じた国際交流。
- いろんな分野がある中で、お互いに新しいコラボレーションができないか考えています。クラシックと狂言とのコラボなど伝統芸術どうしの新しい融合等。視野が広がりそれぞれのファン人口も広がっていくような気がします。
- 個々の活動だけではなく、色々なジャンルですでに活動されている方とコラボレーションし、新たな発表の場を増やしたい。
- 他のメディアや芸術分野とコラボしたり交流を持つことで演劇がもっと身近に地域に根付くといいなと思います。
- ダンスプロジェクトや音楽とのコラボレーションを実現したい。また、誰もが演劇に触れやすい環境を作り、芸術によって気軽に楽しめるようになってほしい。

【国・地域・多世代などの交流】

- 音楽を通じて異世代との交流をもっとはかっていきたい。他の芸術文化とコラボレーションした舞台にも興味がありますが、具体的にはまだ浮かびません。
- 海外から日本に来た方々に日本の伝統音楽に触れていただき国際交流をしたいと思います。
- 多様な文化芸術との交流を含め、社会との共存、町おこしの文化交流のプロデュース。

- より多様な世代、ジェンダー、アイデンティティにオープンなアートの形を提示したい。政治や自分たちの意見を議論することにオープンな環境を作りたい。
- 関係者とのブレインストーミングや公開ミーティングからの企画会議。

【福祉・教育】

- 子どもと美術鑑賞。ループルでは子供が寝そべって鑑賞したり学生が時間を気にせず模写していた。札幌も小さいときからアートに親しむ環境を整えてほしい。
- 教育機関との連携や、演劇のしくみを用いたコミュニケーションについて考えるワークショップ。
- 病院、福祉施設にアートを持ち込みたい。アートを通して子どもたちと交流。アートを核に地域の人の集えるコミュニティの創設。
- 普段接する機会の少ない高齢者施設や保育園、幼稚園に生の演奏を届けたい。

【イベント実施・芸術に触れる機会の創出など】

- 正直これというものは決まっていません。他の畑のことはよく分からないのが本音ですので、「○○で△△をやりたい」の手前の、機会が欲しいと思っています。COVID-19の影響で他分野イベントの機会も減ってしまい、以前よりも更に機会を生むのが大変になっていると感じています。
- 過疎地域の空き家を若者に解放し、新しい実験を行う場所にしていくプロジェクト。空き家対策、若者の雇用、地域の活性化など現在抱える社会問題を解決できるプランを考えたいです。ネオビレッジ構想：未来の村づくり。新しい価値観を支えるDX技術。5Gなどで田舎でも世界と繋がるハイテク村！夢を創造していきたい。
- ひとり親方によるハンドメイドやサブカルチャーを発信できる大きなイベントを主催したい。また、その仕事で生計が成り立つよう、販売できる場所を確保し、地域復興、観光を盛り上げたい。
- 観るだけでなくそれぞれが参加できる場面がある舞台。
- 地域での芸術フェスティバル的なイベント。
- 他ジャンルの表現者が一同に集まるイベントを開催したい。

【普及啓発・情報発信】

- まだ一般的に敷居の高いと思われているバレエも進化しており、解剖学的にも健康や美容に役立つツールでもあります。バレエを通じて、健康になるのはもちろん、子どもたちの精神の成長、芸術としても、様々なイベントで発表する機会があれば、公共の場でたくさんの方の目に触れ、周知、バレエ人口が増えればと思っています。
- 大道具を映像化、能舞台形式、芝居小屋形式復活、邦楽邦舞の国内外への発信 from 北海道、着物文化、古典の日舞の敷居が高くない啓蒙、心豊かになる個々の宝となるよう、改めて日本人だとプライドをもって意識できるよう。
- 近そうでありながら今まで接点を持ったことが無いので書きました。Webを使いながら多角的に発信ができるかな、と思っています。

【問題提起・解決】

- 私立高校・公立高校の演劇部か演劇に興味のある人の中から1人ずつ集め、私立チーム対公立チームで自分たちにとって重大だと感じる社会問題をテーマにした演劇を発表する。
- 社会に潜む疑問や問題点をアート作品に昇華し、人々の関心を向けること。
- 歴史的建造物の保存の際に、地域活用電源や小規模再生可能エネルギーを取り入れてみたい。

【ビジネス・経済・観光】

- 創造し発信することを日常生活に組み込み、ITメディアと連携して経済を循環させること。
- 観光業と結びつき、踊りや表現を通して北海道の食や自然に触れて貰うツアーをやってみたい。
- 北海道の一次産業と環境を芸術として関わり表現することで、観光や国際交流に活かしたい。

【技術・知識の向上】

- 他分野との関わりを持つことによって、自分の視野、価値観、可能性を広げ、その架け橋になりたい。
- 自身のデザイン性や技術の引き出し拡大、他国とのイラストを通しての文化交流。
- それぞれが取り組む文化芸術分野の交流、文化芸術交流を通じて地域や人の歴史を知ったり、人の交流や知識の視野が広がるような経験。

【研究・調査・記録】

- 北海道における古の文化から現在まで残されている資料の整理とデータ保存。それと自分自身の造形制作とアーカイブの記録整理。
- 北海道のアート全般についてのアーカイブ制作・研究。

【社会貢献】

- キャラクターデザイン、広告物デザインなどで社会を楽しく、様々な情報をわかりやすく伝えることに貢献してみたい。
- 他の人々と交流し、切磋琢磨して、より良いパフォーマンスを皆で作らば、もって穏やかなゆとりのある社会になるように少しでも協力したい。

【発掘・育成・継承】

- 年齢や収入、性別など状態や条件に関係なく、学びたい人が誰でも無料で学べる場づくり。
- 本当は音楽をやりたいと思っているけど、あと一歩踏み出せない人の掘り起こし。

【支援】

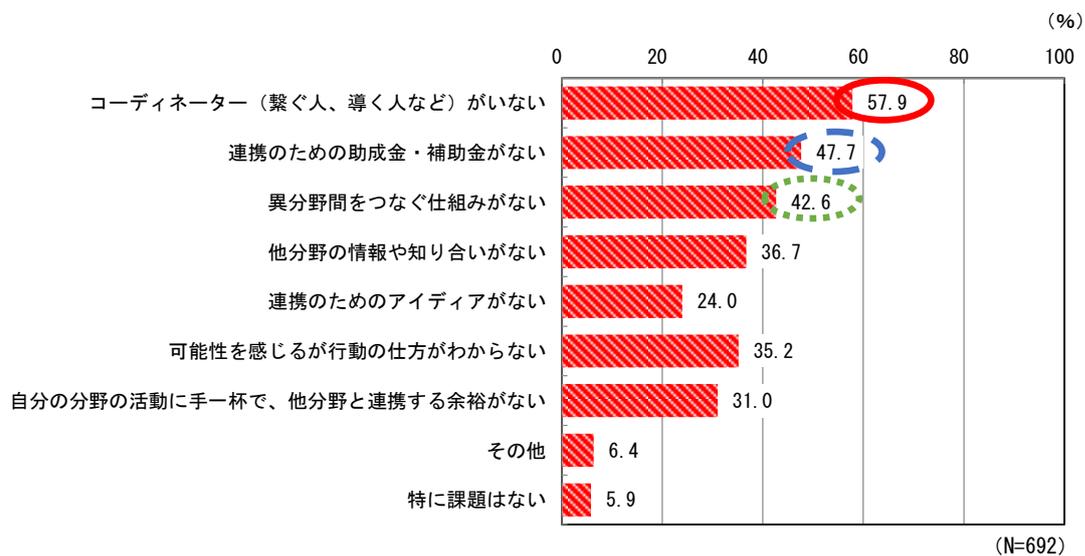
- 札幌くらぶコンサートの復活と運営資金について、行政・民間の助成金の活用のほかにクラウドファンディングでの資金調達を実施してみたい。
- 行政とは違った視点で、真の文化活動支援。昔で言うたにまちを地域に根付かせていきたい。

【その他】

- 2019年までと同様の活動様式。接点、関わり以前に仕事の形が戻らない限り、仕事としては非常に大変かと思います。
- 表現活動をしている以上、他の文化芸術分野、社会分野と接点を持たないということはありません。

5-8 連携を進める上での課題

Q46. あなたにとって、異なる文化芸術分野間の連携や、文化芸術と社会分野の連携を進めるために、どのような課題があると思いますか。 <MA>



5-9 意見・要望・課題等

Q47. 札幌市の文化芸術施策に求めること・期待すること、文化芸術施設の利用や、助成金・補助金に関する課題等があればお書きください。<FA>

Q47. 意見・要望・課題等の種類・分類<MA>

意見・要望・課題等の種類・分野	該当数
発表の場・機会の増加	156
広報・告知・情報発信などの場・機会の増加	141
申請方法の簡便化・申請対象の拡大など	131
日常的な活動経費の補助・減免など	120
交流・出会いの場・機会の増加	86
(用途によらない) 助成金・補助金等の給付	76
発表の資金の補助・減免など	58
プロデュース・ディレクション・マネジメントする人の拡充	54
文化芸術に関する広い学びの場・機会の増加	50
専門性・技術向上のための育成プログラムの実施	46
その他、文化芸術活動に関わる場・機会の増加	45
制作や練習の場所の増加	44
その他、文化芸術活動に必要な資金の補助・減免など	39
公共による幅広い支援の実施	37
収入を得るための場・機会の増加	35
その他、文化芸術活動に関わる人材の拡充・育成など	30
新型コロナウイルスに関する対策・支援など	30
文化芸術活動に関する施策の検討・実施	13
その他	36
特になし・無回答	644

(N=1,267)

分類ごとの意見の一例

【発表の場・機会などの創出・増加】

- 空いている施設や、スペースをもっと開放して欲しい。そこで、沢山の発表、交流の機会を増やして欲しい。又、管理等の人材もその道を、目指す若者を優先的に雇用して欲しい。宜しくお願い致します。
- 小さくて良いので、絵や写真のギャラリーを増やしてほしい。個人の表現者にとって、展示スペースの魅力が少ないので、機能的で美しいスペースを中心地にほしい。
- 市民に文化芸術活動を空気のような当たり前の存在として認識してもらうために、街角(チカホなど)でそういうものと遭遇する機会を多く創出していただきたい。街の魅力として市民・観光客にも認識されるようになればなお良い。
- 漫才等のお笑いをする場所が少ない。
- 札幌市庁舎の壁面などを使って例えば三か月交代などで市民の作品を紹介しそれを広報してほしい。

【広報・告知・情報発信などの場・機会の増加】

- 情報の広め方が遅い。あと他分野を包括した活動が少ないかもしれない。例えば台湾を参考にしてみても？と思う。台湾の青少年科学館にあたる施設では、スタッフを教職・理系・技術系だけではなく、芸大卒業者からも採用して、館内デザインや展示、イベントデザイン、オリジナルグッズ開発などしている。
- 一般団体による市内公共施設での公演の告知(ポスター等)をもっと気軽に手軽に広くできるような場を設けていただけるとありがたい。
- 助成金に関する情報がわからないので、活用できるのは継続して運営している、パイプや組織力がある団体だけなのかという印象。もし違うならそのような広報をしていただけると有り難い。
- 分かりやすく、連絡手段をもっと広くしてほしい。
- 実際は簡単に申請できる物も難しく感じて、結果申請しないと言う状況が多々あると思うので、噛み砕いたわかりやすい説明や説明会などがあるといいと思います。

【申請方法の簡便化・申請対象の拡大など】

- 札幌市民ホール、交流プラザなどの部屋を借りる場合、申し込みのたびに出向いて書類提出などが必要だが、初回に面談などで「団体の素性或活動内容」の確認が済めば、その後はネットからの申し込みのみで済むようにしてほしい。申し込み後、料金は指定口座への振込、という形がありがたい。
- 一定の審査は必要だと思うが、表現者が表現者として活動することの柔軟性があってくれるとよいなと思います。
- 補助、助成金の対象が若年層に限られていて、経験は浅いが年齢が上の私は対象外のものばかりです。本当に性別年齢国籍に関係無い助成制度を希望します。
- 手続きの煩雑さ、面倒くささに時間を割くなら、その分活動に時間をかけたい。今までの行政の補助に申し込んでいないのは主にそういう理由です。
- 補確定申告前提だと初めての活動に補助がない。

【日常的な活動経費の補助・減免など】

- 利用人数によって、施設の利用料金の減免があっても良いのではないかと考えます。若しくは札幌市民であれば施設利用の割引がある等の考慮があっても良いと思います。
- 施設利用料が高すぎる。気軽に借りられるような施設があれば個展などしてみたい。ハンドメイドクリエイターへの補助や助成金など出来れば嬉しい。
- 海外や札幌市外から来札するアーティストの滞在施設や滞在費の補助。また海外や札幌市外へ発表のために渡航する場合の資金補助。
- 練習の場として各区民センターの部屋は安価だが、さらに便利な札幌創世スクエアの練習室がもう少し安価であればぜひ使いたい。
- 若い作家が非常に多いので、市内で永続的な活動を続けるためにも公的な支援を積極的に行ってほしい。

【交流・出会いの場・機会の増加】

- 知っている人同士の交流が多い。知らない人を芸術活動に誘い込む事こそ裾野が広がる。入口のハードルを下げる。
- 札幌は、人口は多くいるものの、地域の文化に関するブランディングや市民の関心や理解、情報が足りない。それはメディアの力が弱く働いている人たちも繋がりを作ろうとする積極性や人脈が少ない。メディアが札幌文化の価値を伝える事がうまくなれば、間違いなく活性化すると思う。
- 札幌に限らず様々なジャンル、地域、世界、活動とつながる事で、札幌のポテンシャルが高まる事を願います。
- 各自が忙しくネットワーク形成が困難な時期なので、各分野をつなぐような仕組みやそれを専門に担当するコーディネーターの活躍が必須だと思います。

【(用途によらない) 助成金・補助金等の給付】

- 民間のアイデアをうまく活用し、きちんとした予算をつけていくこと。助成や補助という概念からもう一步進んだ予算の立て方や資金の使い方が良いと思う。
- 文化芸術を職業とする人間に直接的な資金援助。また、職業人を増やすことができるような抜本的施策が欲しい。
- 全ての芸術家に当てはまる条件にし、申請や報告を簡素にする(申請や報告にかかる時給や時間のロスが計算されていない)。2/3 負担ではなく全てを負担、前払い。
- 幅広く積極的に経済支援をお願いしたいです。

【発表の資金の補助・減免など】

- 同人誌の発行にお金がかかるので、年1回以上の発行は難しいので、助成金があると助かります。
- 現在、常に上演中止の可能性をはらんでおり、上演中止の場合の補助、または上演中止になっても支払いが行われる補助が必要と感じる。
- 感染リスクを回避する配信ライブにも支援金を。

【プロデュース・ディレクション・マネジメントする人の拡充】

- 連携や企画を提案するプロデューサーをもっと多く育成・輩出してほしい。動かす人が必要だと思います。
- 外部から能力のある人を招いてアドバイスを受けてたりディレクションをしてもらったりする必要があると思います。現在の市職員の能力だけでは、文化芸術をよりよくしていくことは厳しいと思わざるをえません。(がんばってくれているのはもちろん存じておりますが)
- 20代がさまざまなプロジェクトに挑戦できるように、マネジメントと資金援助を行い、その経験を経て経済的に自立した文化芸術活動を継続できるようにして欲しい。

【文化芸術に関する広い学びの場・機会の増加】

- 特に教育分野（小学校～高校の授業内）での活動に参加可能な企画、人材育成、資金。今後の部活動が学校から地域～カルチャーセンターへの移行に際しての人材育成が急務であると考えます。
- 文化芸術を次の世代に繋げていけるような環境、教える人、学ぶ場、が必要だと思えます。
- 小学生～高校生まででの芸術鑑賞の機会を増やして欲しい。

(3) 団体向け調査

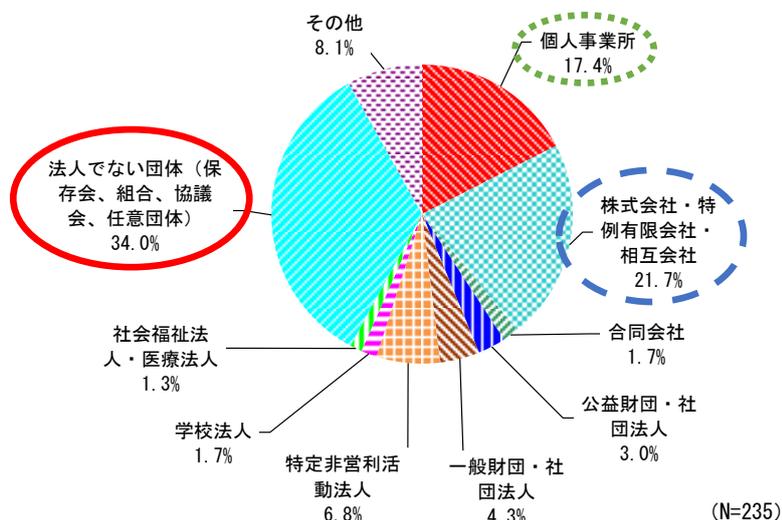
1. 基本情報

まず、団体の基本情報をお聞きします。

- 団体の形態〈Q1〉は、「法人でない団体(34.0%)」が最も多く、約3割であった。次いで「株式会社・特例有限会社・相互会社(21.7%)」、「個人事業所(17.4%)」の順となっている。
- 事務所の所在地〈Q2〉は「中央区」が回答者全体の約4割を占めている
- 団体を構成する種別〈Q3〉は、「正社員・正職員(31.8%)」、「個人会員(29.6%)」、「個人事業主(28.3%)」などが多く挙げられた。
- 団体を構成する人数は、10人未満の団体が48.7%と回答者全体の約半数を占めている。

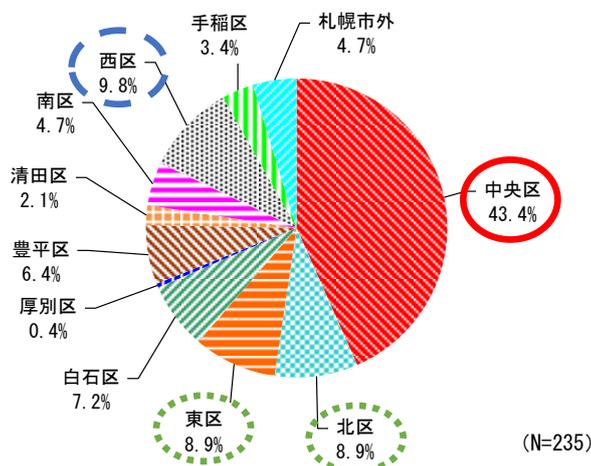
1-1 団体の形態

Q1. 貴団体の形態をお答えください。〈SA〉



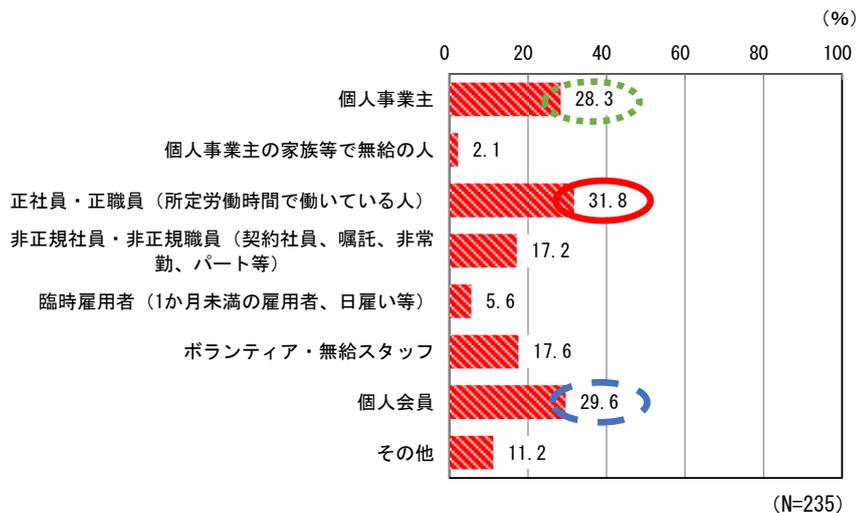
1-2 事務所の所在地

Q2. 貴団体の事務所がある区をお答えください。事務所がない場合は団体代表者のお住まい等がある区をお答えください。〈SA〉



1-3 団体構成員の種別・人数

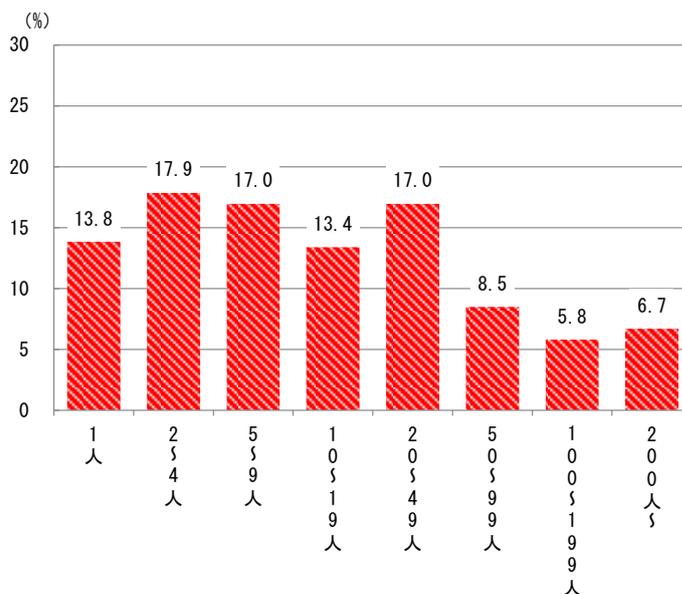
Q3. 貴団体を構成する方の種別をお答えください。 <MA>



Q4. 貴団体を構成する方の種別ごとの人数を教えてください。 <IN>

	個人事業主	個人事業主の家族等で無給の人	正社員・正職員 (所定労働時間で働いている人)	非正規社員・非正規職員 (契約社員、嘱託、非常勤、パート等)	臨時雇用者 (1か月未満の雇用者、日雇い等)	ボランティア・無給スタッフ	個人会員	その他	構成員総計
N	63	5	72	37	12	39	67	24	224
最大	70人	2人	200人	113人	10人	360人	1,200人	200人	1,358人
最小	1人	1人	1人	1人	1人	1人	1人	1人	1人
平均	4.5人	1.2人	19.4人	12.1人	3.3人	30.8人	102.3人	37.0人	49.6人
中間値	1人	1人	4人	3人	2人	10人	30人	16人	10人

Q4. 団体構成員数 人数別割合 <SA>



2. 文化芸術分野の活動状況・制作環境

文化芸術分野の活動状況や制作環境についてお聞きします

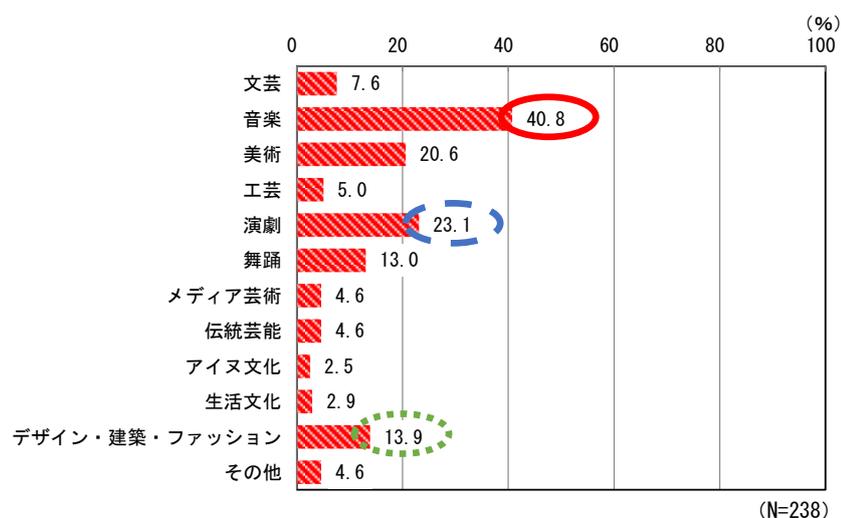
- 現在、最も力を入れて取り組んでいる文化芸術活動の分野〈Q8〉は、「音楽（32.6%）」、「演劇（19.2%）」、「美術（11.6%）」が多く、回答者全体の約6割であった。
- 文化芸術活動における主な役割〈Q9〉は、「創作発表(63.0%)」が最も多く、約6割であった。次いで「企画制作(28.9%)」、「施設運営(14.9%)」の順となっている。
- 活動期間〈Q10〉は、「30年以上(37.1%)」が最も多く、約4割を占めた。
- 文化芸術活動の制作・練習、企画構想を行っていた場所〈Q12・Q13〉は、2019年・2020年ともに「有料の賃貸施設（公立）」、「有料の賃貸施設（民間）」、「代表者や主要メンバーの自宅」が多く挙げられた。ただ「施設」等を利用する割合は、2019年に比べて2020年はいずれも減少している。
- 文化芸術活動の発表や作品の販売の実施場所〈Q15・Q16〉も、2019年に比べて2020年は「施設等を利用する」回答が軒並み減少するなか、「ウェブ・動画配信」は10.5ポイント増加している。一方で、「なし」という回答も8.8ポイント増加している。
- 文化芸術活動に関わった時間〈Q22〉は、平均は23.3時間／週(2019年)から15.1時間／週(2020年)に、中間値は15時間／週(2019年)から8時間／週(2020年)に減少している。

2-1 現在、力を入れて取り組んでいる文化芸術活動

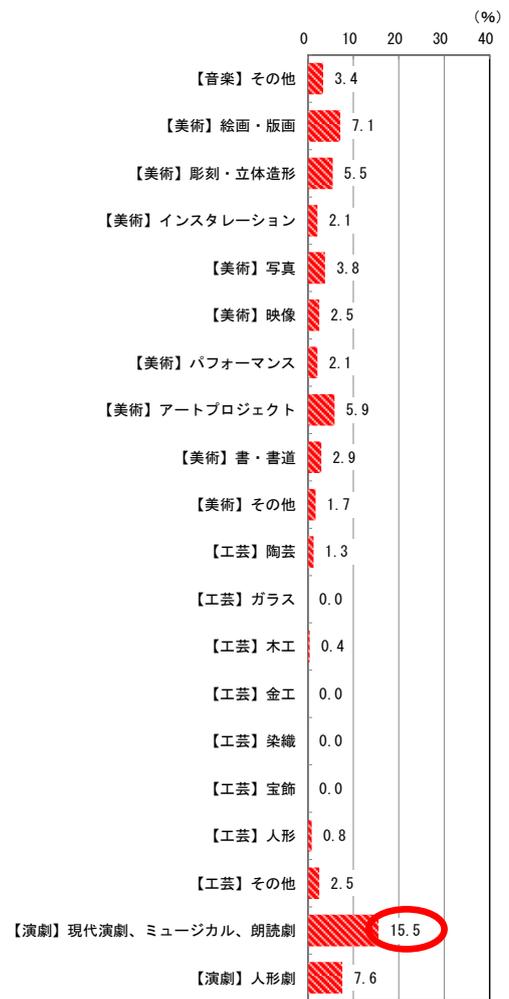
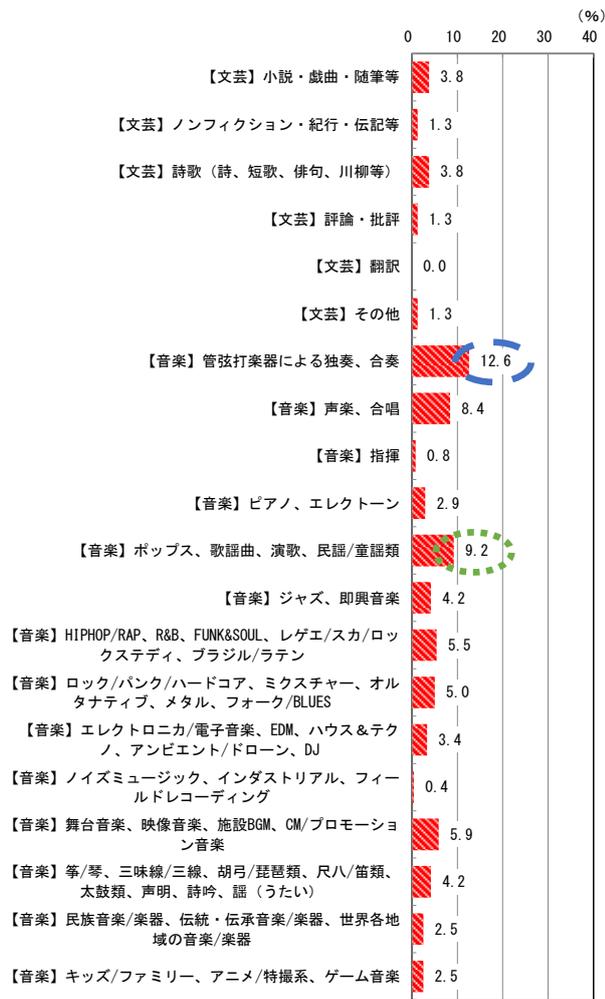
Q7. 現在、貴団体が力を入れて取り組んでいる文化芸術活動を3つまでお答えください
(※次問以降ではここでご回答いただいた「文化芸術活動」についてお答えください)。

<1~3A>

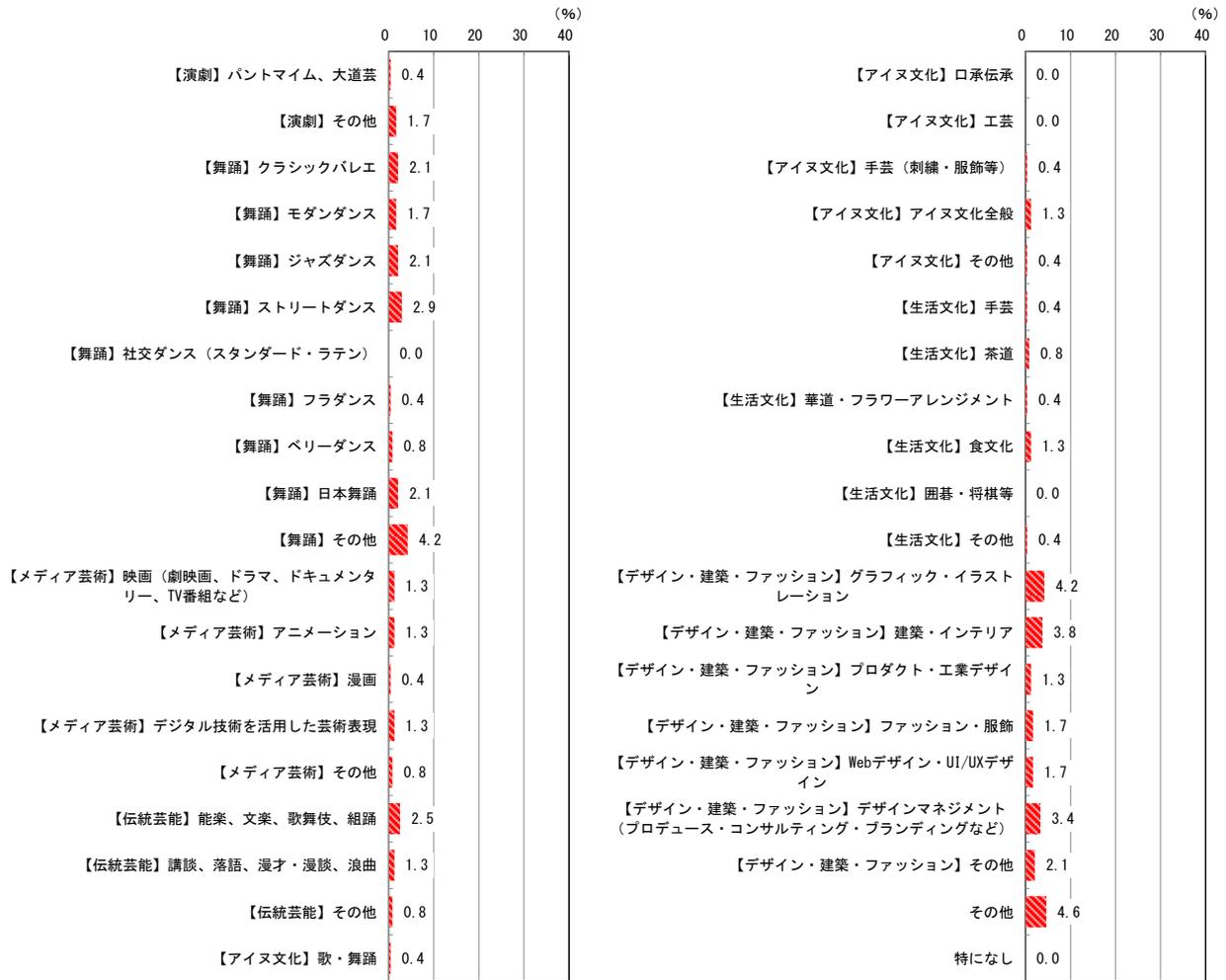
Q7. 現在取り組んでいる文化芸術活動 分野ごとの集計<MA>



Q7. 現在取り組んでいる文化芸術活動 各分野の内訳<MA>



Q7. 現在取り組んでいる文化芸術活動 各分野の内訳<MA> ※前頁の続き

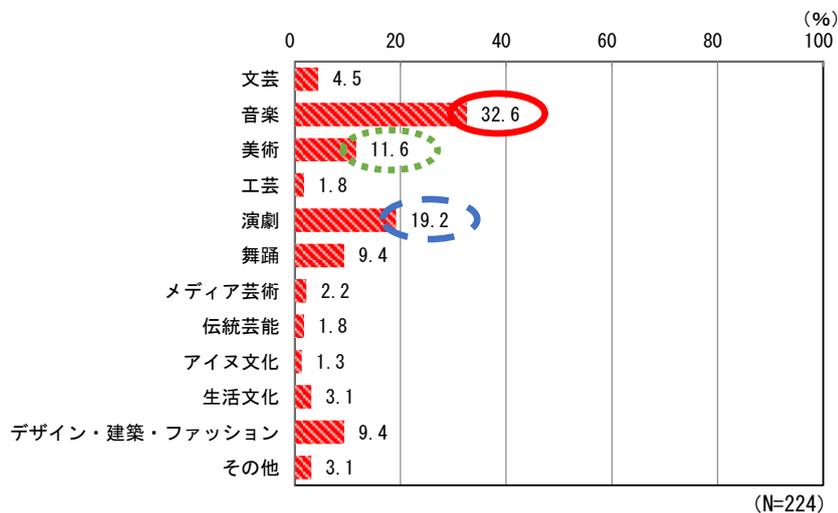


(N=238)

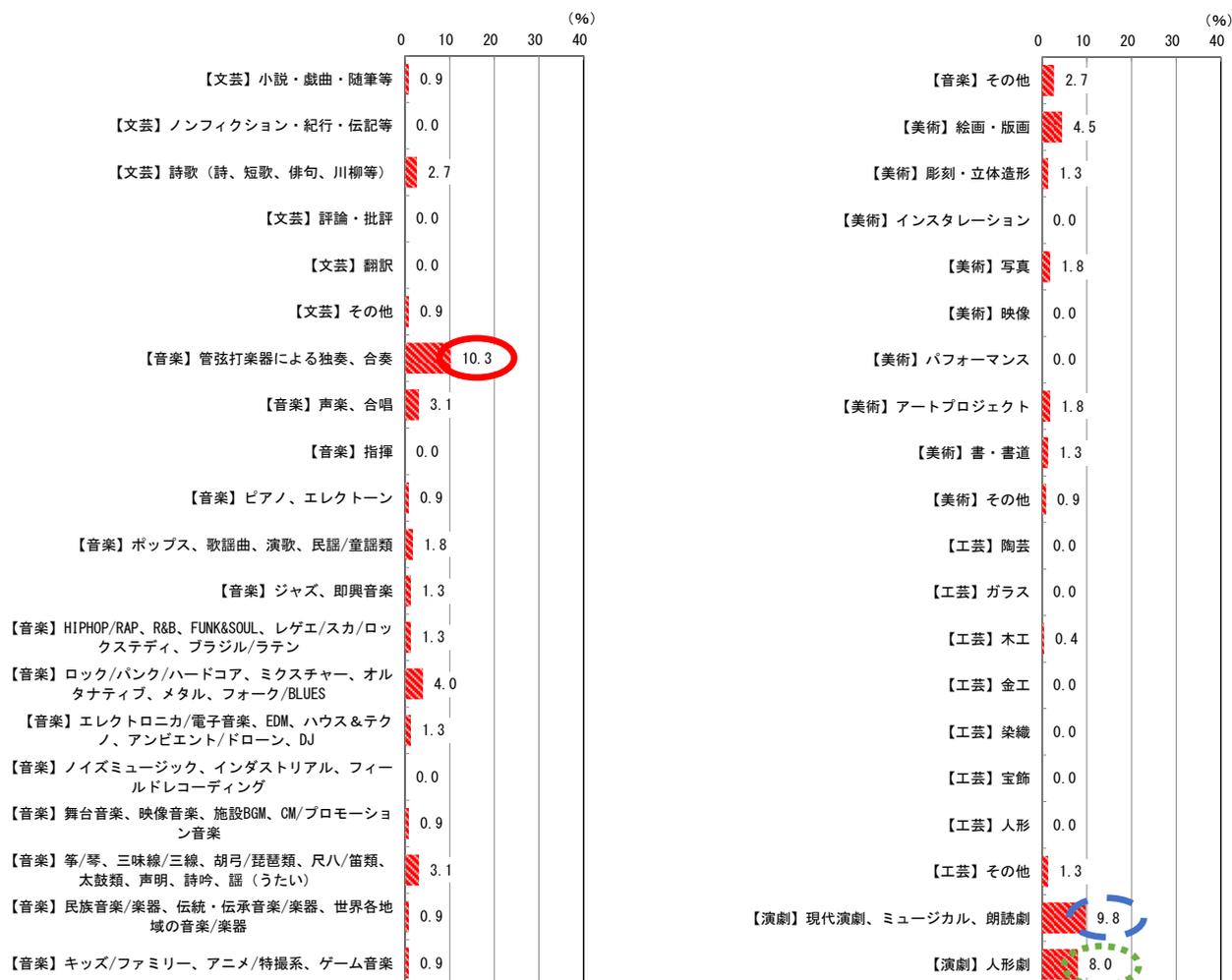
2-2 現在、最も力を入れて取り組んでいる文化芸術活動

Q8. 前問でお答えいただいた中で、現在、貴団体が最も力を入れて取り組んでいる文化芸術活動をお答えください。<SA>

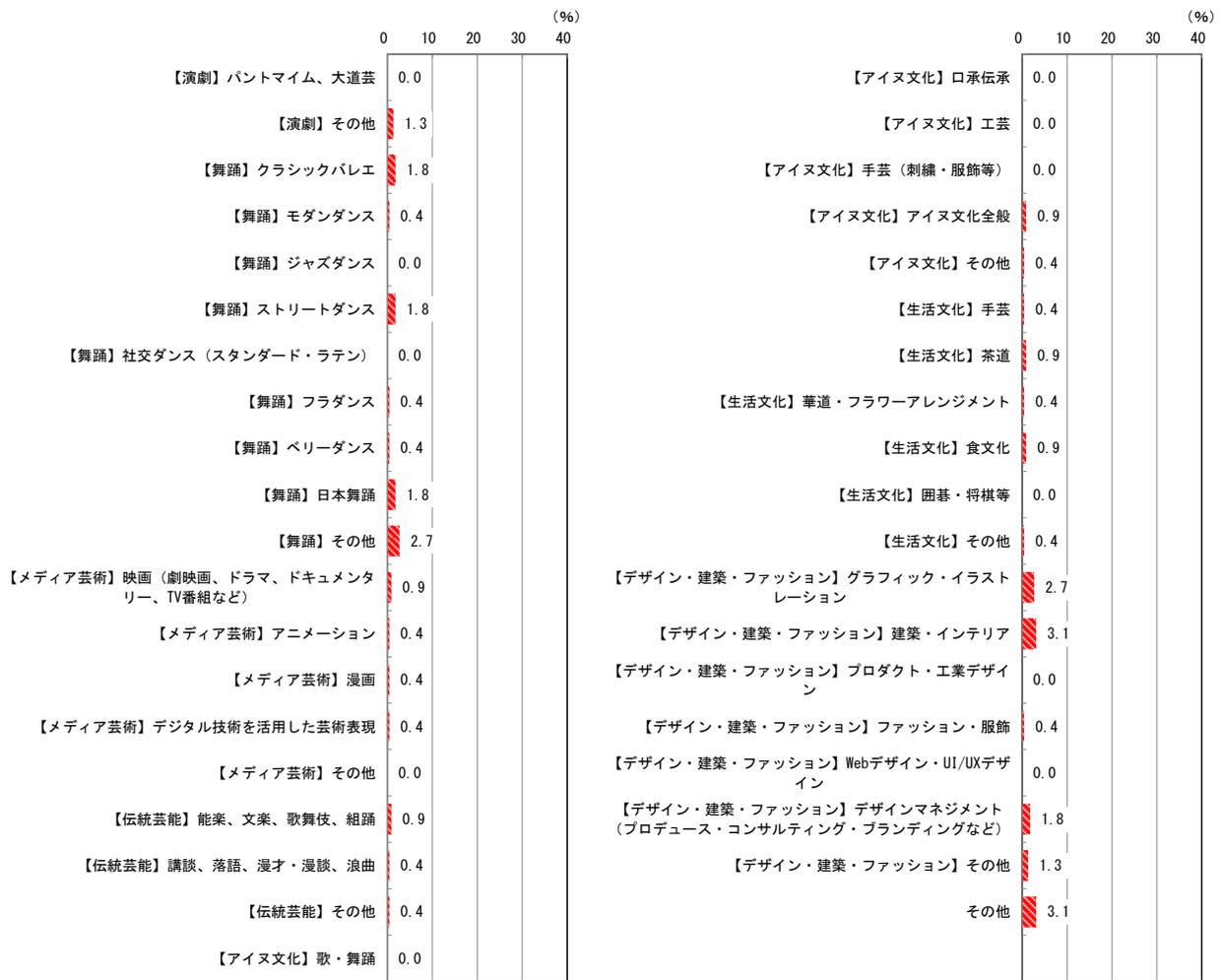
Q8. 最も力を入れて取り組んでいる文化芸術活動 分野ごとの集計<SA>



Q8. 最も力を入れて取り組んでいる文化芸術活動 各分野の内訳<SA>



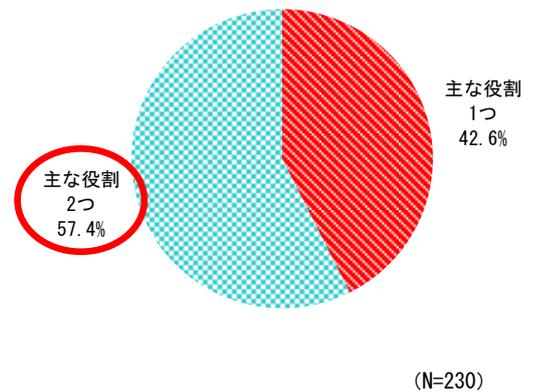
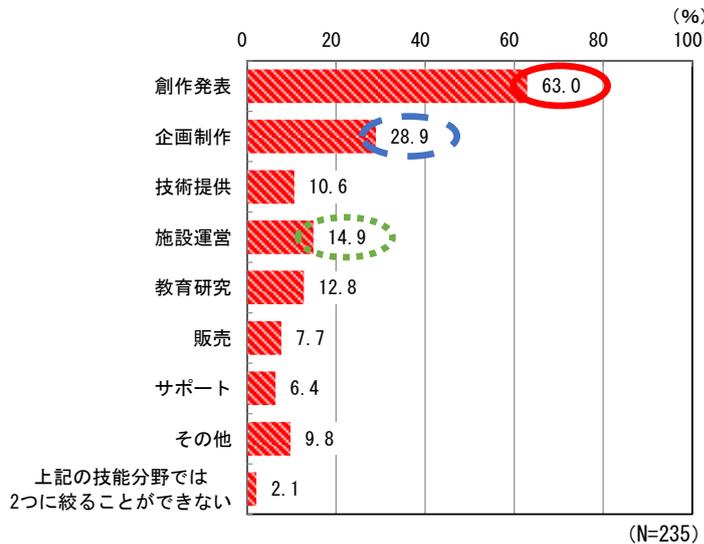
Q8. 最も力を入れて取り組んでいる文化芸術活動 各分野の内訳<SA> ※前頁の続き



(N=224)

2-3 文化芸術活動における主な役割

Q9. 貴団体の文化芸術活動における主な役割を、優先順位の高い順に最大 2 つまでお答えください。 <1~2A>



Q9. 主な役割の内訳（「主な役割」が2つあると回答した方のみ）

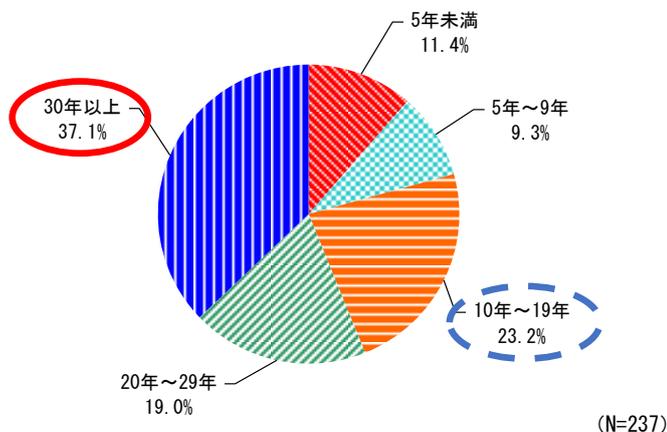
(%)

	創作発表	企画制作	技術提供	施設運営	教育研究	販売	サポート	その他
全体 (N=132)	64.4	48.5	14.4	20.5	22.0	12.9	8.3	9.1
創作発表 (N=85)	100.0	38.8	5.9	8.2	23.5	9.4	4.7	9.4
企画制作 (N=64)	51.6	100.0	10.9	21.9	4.7	4.7	4.7	1.6
技術提供 (N=19)	26.3	36.8	100.0	26.3	5.3	5.3	-	-
施設運営 (N=27)	25.9	51.9	18.5	100.0	-	-	-	3.7
教育研究 (N=29)	69.0	10.3	3.4	-	100.0	10.3	6.9	-
販売 (N=17)	47.1	17.6	5.9	-	17.6	100.0	5.9	5.9
サポート (N=11)	36.4	27.3	-	-	18.2	9.1	100.0	9.1
その他 (N=12)	66.7	8.3	-	8.3	-	8.3	8.3	100.0

創作発表：音楽や舞台芸術、映画等の出演、公演、上演、作品創作〔作曲、脚本、演出、振付〕、大道芸、写真家、舞踏家、美術やメディア芸術等の作品創作・発表、その他の創作発表
 企画制作：プロデューサー、ディレクター、キュレーター、マネージャー、プロモーター、コーディネーター、中間支援、その他の企画制作
 技術提供：照明技術、音響技術、舞台技術・舞台管理、道具・衣装製作、展示設営、撮影・編集・プログラミング、デザイン、調律、トレーナー、通訳・翻訳、その他の技術提供
 施設運営：ホール・劇場、美術館・博物館、映画館、貸スペース、ライブハウス・クラブ、スタジオ・アトリエ、その他の施設運営
 教育研究：教室等の指導者、専修学校・養成所指導者、大学・高等学校の専任教員、批評家・研究者、その他の教育研究
 販売：作品販売、楽器販売、ショップ、ギャラリー、古物商、プロモーション、マネージャー
 サポート：ボランティア、コレクター、愛好家等

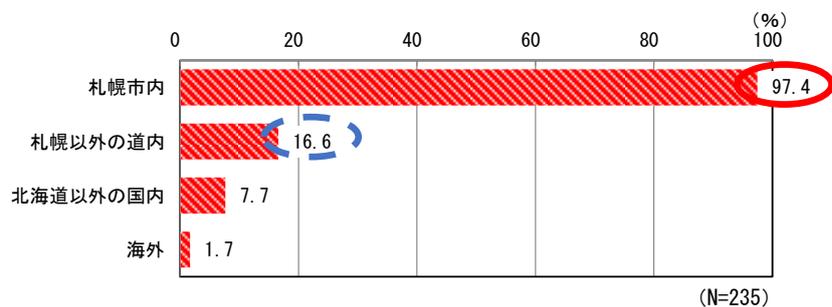
2-4 文化芸術活動の活動期間

Q10. 貴団体は、現在関わっている文化芸術活動についてどのくらいの期間活動してきましたか。〈SA〉



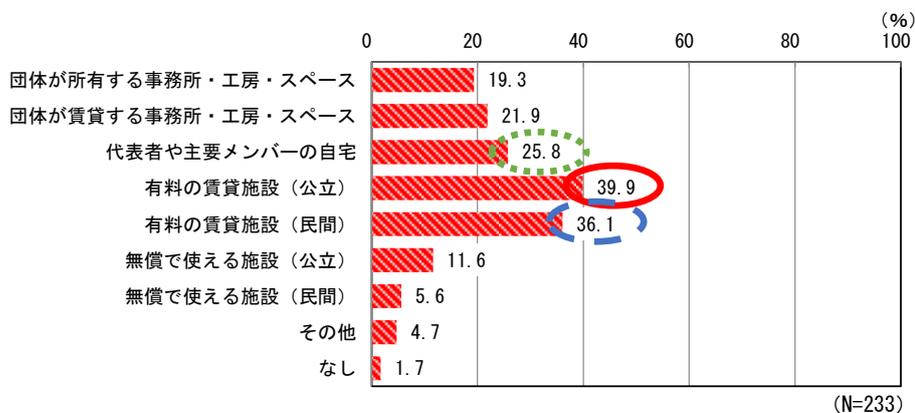
2-5 創作、企画制作、技術提供、施設運営、教育研究の拠点

Q11. 貴団体の創作、企画制作、技術提供、施設運営、教育研究の拠点（貸し稽古場、工房、スタジオ、練習室等）はどこにありますか。〈MA〉

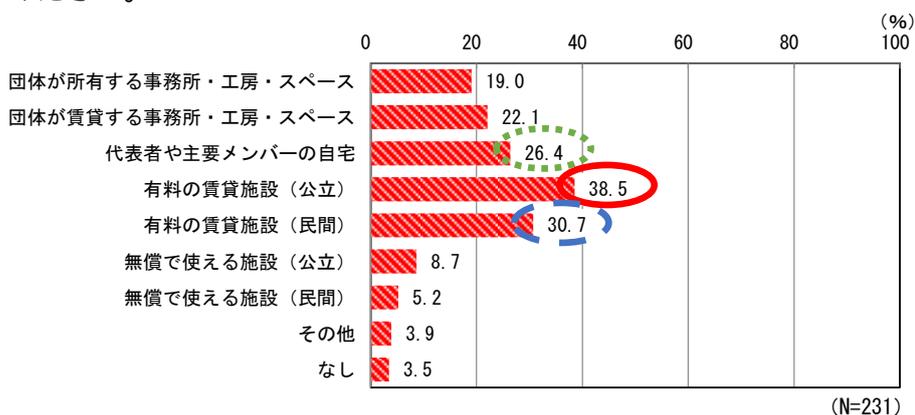


2-6 文化芸術活動の制作・練習、企画構想を行っていた場所

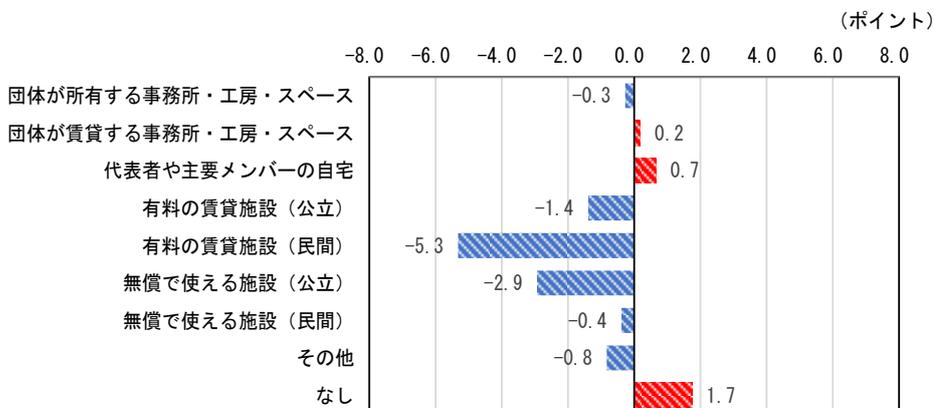
Q12. 2019年に貴団体が文化芸術活動の制作・練習、企画構想を行っていた場所をお答えください。〈MA〉



Q13. 2020年に貴団体が文化芸術活動の制作・練習、企画構想を行っていた場所をお答えください。〈MA〉

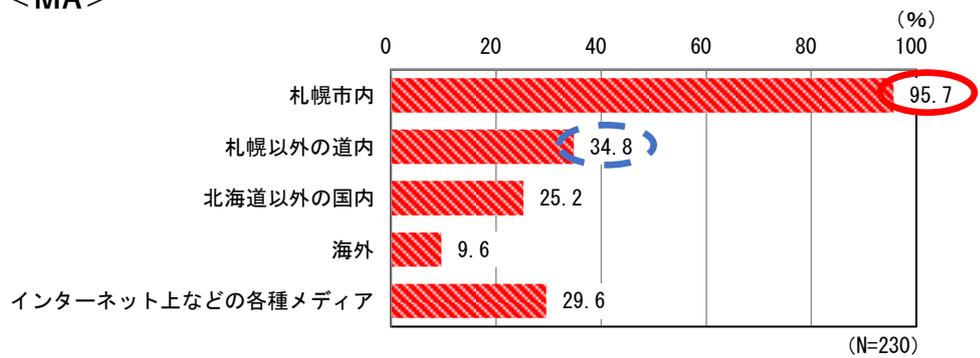


Q12. 文化芸術活動を行っていた場所（2019年）から
Q13. 文化芸術活動を行っていた場所（2020年）にかけての増減の状況



2-7 文化芸術活動の展開、作品の発表や販売を行っている場所

Q14. 貴団体が文化芸術活動の展開、作品の発表や販売を行っている場所はどこにありますか。〈MA〉

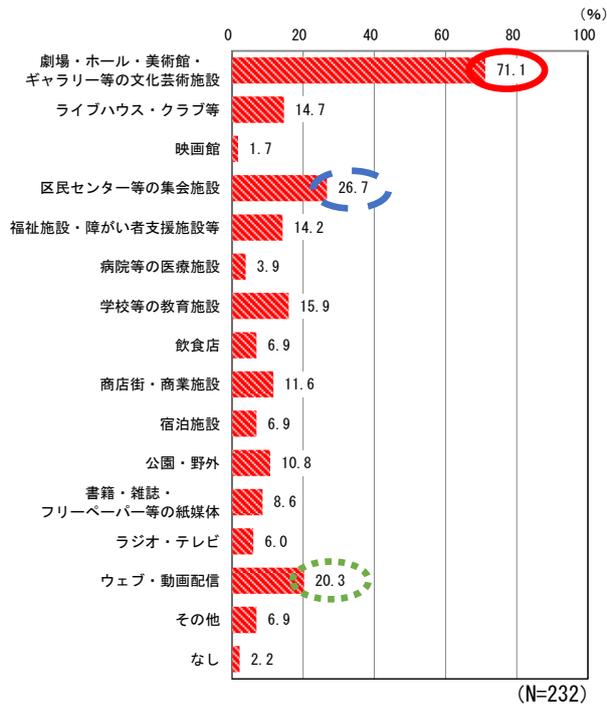


2-8 文化芸術活動の発表や作品の販売を行っていた施設・スペース

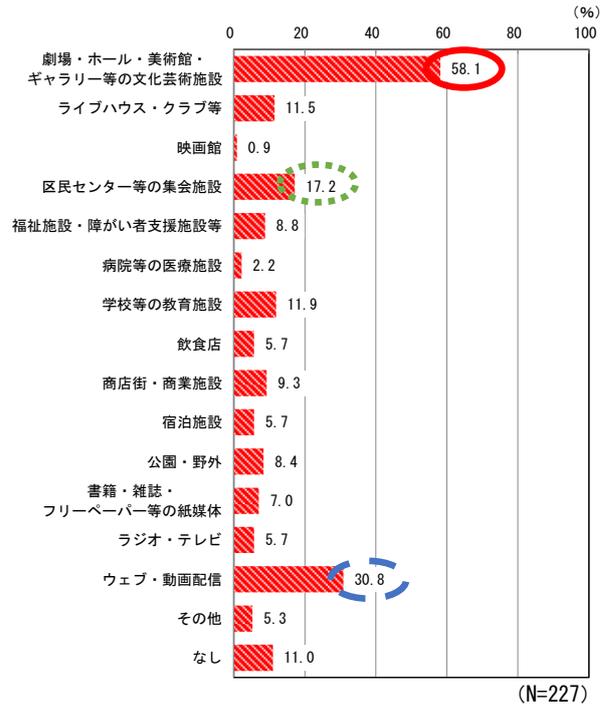
Q15. 2019年に貴団体が文化芸術活動の発表や作品の販売を行っていた施設・スペースをお答えください。〈MA〉

Q16. 2020年に貴団体が文化芸術活動の発表や作品の販売を行っていた施設・スペースをお答えください。〈MA〉

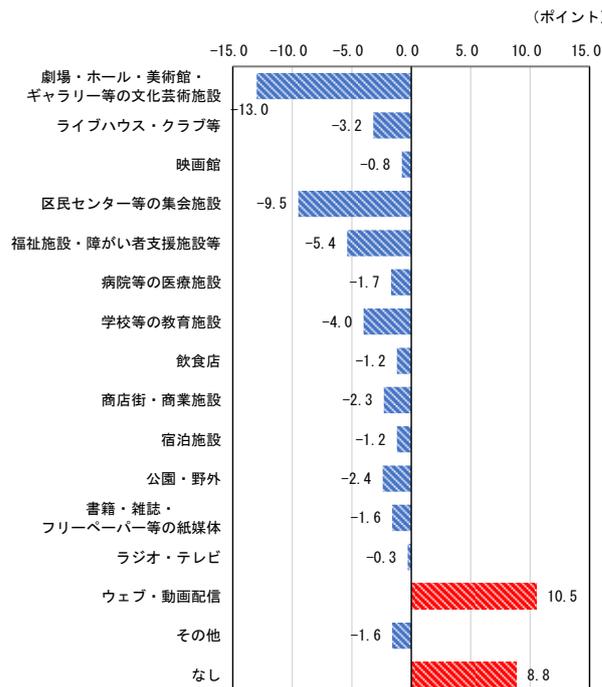
Q15. 発表や作品販売を行っていた施設・スペース（2019年）



Q16. 発表や作品販売を行っていた施設・スペース（2020年）



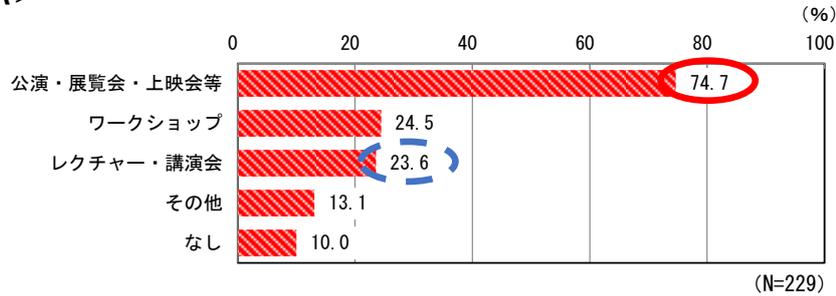
Q15. 発表や作品販売を行っていた施設・スペース（2019年）から
Q16. 発表や作品販売を行っていた施設・スペース（2020年）にかけての増減の状況



2-9 文化芸術活動の発表形態・回数

Q17. 2019年に貴団体が行った文化芸術活動の発表形態をお答えください。

<MA>

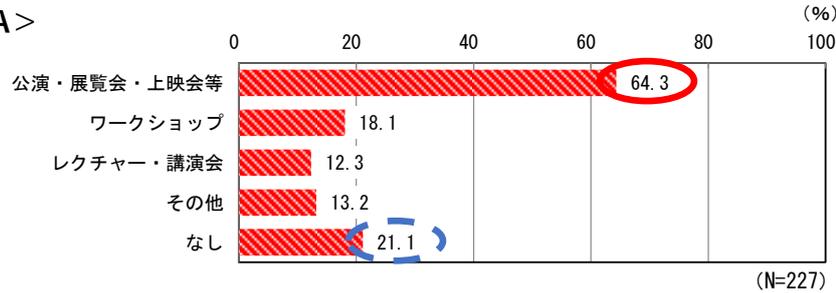


Q18. 2019年のそれぞれの発表等の回数をお答えください。 <IN>

	公演・展覧会・上映会等	ワークショップ	レクチャー・講演会	その他
N	169	55	53	28
最大	607回	103回	535回	365回
最小	1回	1回	1回	1回
平均	35回	14回	18回	58回
中間値	5回	5回	2回	12回

Q19. 2020年に貴団体が行った文化芸術活動の発表形態をお答えください。

<MA>



Q20. 2020年のそれぞれの発表等の回数をお答えください。 <IN>

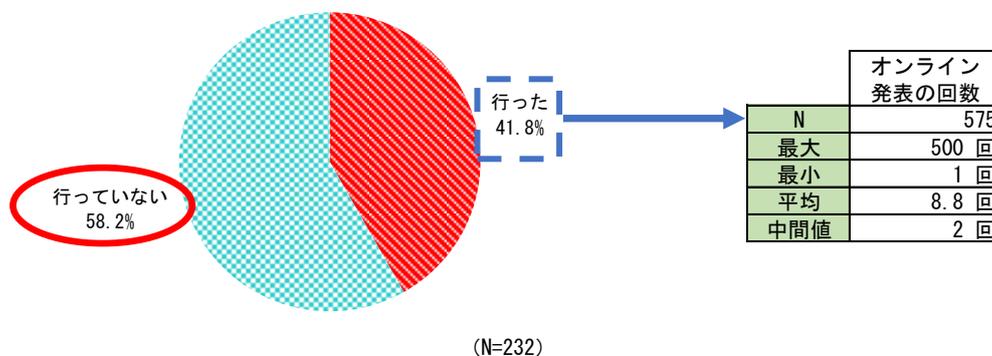
	公演・展覧会・上映会等	ワークショップ	レクチャー・講演会	その他
N	144	40	26	28
最大	397回	50回	198回	365回
最小	0回	1回	1回	1回
平均	20回	8回	13回	49回
中間値	3回	3回	2回	7回

Q19. 文化芸術活動の発表形態（2019年）から
Q20. 文化芸術活動の発表形態（2020年）にかけての増減



2-10 オンラインの発表の有無

Q21. 2020年に貴団体はオンラインでの発表を行いましたか。行った場合はその回数をお答えください。〈SA→IN〉



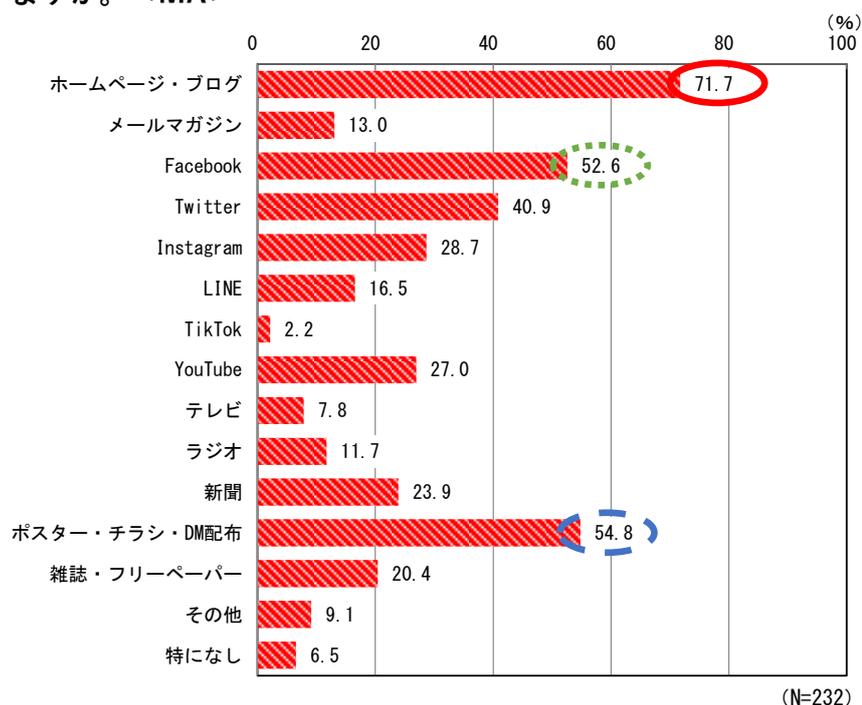
2-11 文化芸術活動に関わった時間

Q22. 1週間当たり、貴団体が文化芸術活動に関わった時間を、2019年と2020年についてお答えください。〈IN〉

	文化芸術活動に費やした時間 (2019年)	文化芸術活動に費やした時間 (2020年)
N	173	173
最大	168 時間/週	168 時間/週
最小	0 時間/週	0 時間/週
平均	23.3 時間/週	15.1 時間/週
中間値	15 時間/週	8 時間/週

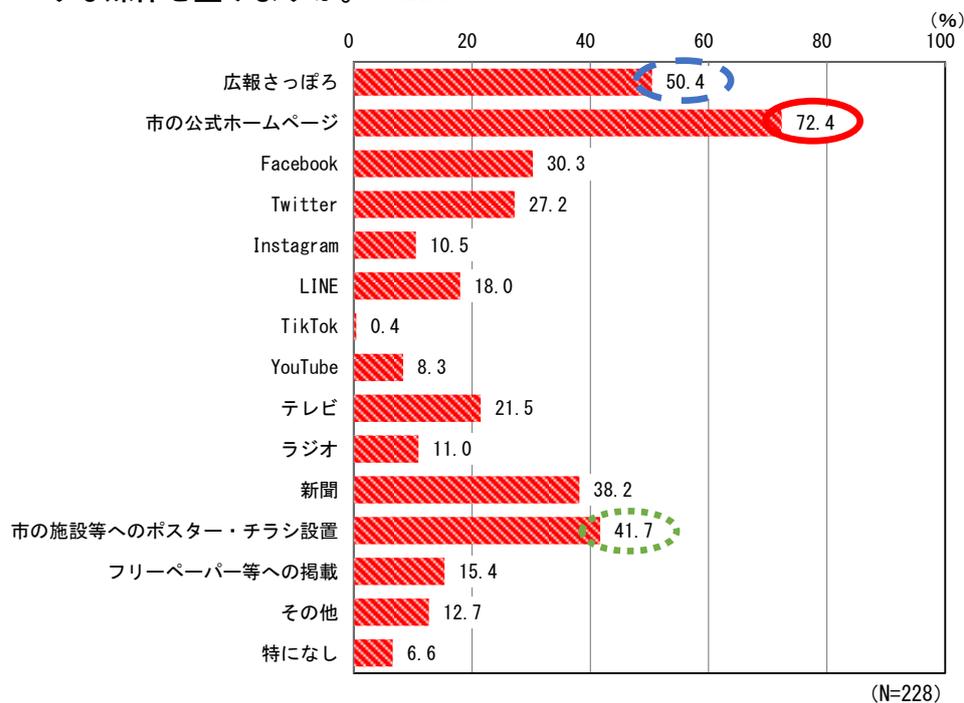
2-12 情報を発信する際に利用する媒体

Q23. 普段、どのような媒体で文化芸術活動の発表や、作品の販売等について情報発信していますか。〈MA〉



2-13 情報を受け取る際に利用する媒体

Q24. 貴団体が札幌市から助成金や補助事業等に関する情報発信を受け取る場合、どのような媒体を望みますか。〈MA〉



3. 文化芸術活動による収入等

文化芸術活動による収入等についてお聞きします。

- 文化芸術活動の収入・売上額〈Q25〉は、平均が1億432.6万円(2019年)から5,365.3万円(2020年)に、中間値が100万円(2019年)から30万円(2020年)に減少している。
- 文化芸術活動の収入・売上額と団体形態別とのクロス集計〈Q1×Q25〉をみると、個人事業所や法人でない団体において「0円超～500万円未満」の回答が多く挙げられた。特に2020年は、どちらも5割を超えている。現在、最も力を入れている分野とのクロス集計〈Q8×Q25〉でも、ほぼ全ての分野で「0円超～500万円未満」の割合が最も高く、収入・売上額の減少傾向が見てとれる。
- 一方で、2020年は収入・売上額〈Q25〉、支出〈Q26〉ともに「0円」の割合も高くなっており、新型コロナウイルス感染症対策による文化芸術活動の停止・制限等の影響が出たと推測される。
- 文化芸術活動の主な財源〈Q27〉は、「チケット収入や作品の売り上げ(56.1%)」、「構成員からの会費(36.4%)」、「代表者や主要メンバーの自己負担(33.8%)」が多く挙げられた。
- 文化芸術活動関連の助成金・補助金〈Q28・Q30〉は、2019年は19.0%、2020年は36.8%の団体が申請した。一方で、助成金・補助金を申請しなかった団体は、その理由〈Q33〉として「当団体の活動に適した助成金・補助金がなかった(43.3%)」、「情報を知らなかった(37.8%)」などを多く挙げている。

3-1 文化芸術活動による収入・売上の状況

Q25. 貴団体の2019年と2020年における文化芸術活動による収入・売上の額をお答えください。ない場合は0(ゼロ)を記入してください。〈IN〉

	文化芸術活動 の収入・売上 額(2019年)	文化芸術活動 の収入・売上 額(2020年)
N	175	173
最大	600,000万円	352,429万円
最小	0万円	0万円
平均	10,432.6万円	5,365.3万円
中間値	100万円	30万円

Q1. 団体の形態と Q25. 文化芸術活動による
収入・売上の状況（2019年）のクロス集計

(%)

	0 円	50 0円 0超 万 円 未 満	15 0 0 0 万 円 未 満	11 . 0 0 0 万 円 未 満	21 . 0 0 0 万 円 未 満	22 . 0 0 0 万 円 未 満	32 . 0 0 0 万 円 未 満	33 . 0 0 0 万 円 未 満	43 . 0 0 0 万 円 未 満	44 . 0 0 0 万 円 未 満	55 . 0 0 0 万 円 未 満	5 . 0 0 0 万 円 以 上
全体(N=174)	23.6	46.0	9.2	4.6	2.3	1.7	-	1.7	0.6	0.6	-	9.8
個人事業所(N=32)	18.8	43.8	21.9	12.5	-	3.1	-	-	-	-	-	-
株式会社・特例有限会社・相互会社(N=36)	19.4	19.4	11.1	8.3	2.8	2.8	-	2.8	2.8	-	-	30.6
合名会社・合資会社(N=0)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
合同会社(N=3)	33.3	-	-	-	-	-	-	66.7	-	-	-	-
公益財団・社団法人(N=5)	20.0	40.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	40.0
一般財団・社団法人(N=8)	25.0	37.5	-	-	25.0	-	-	-	-	12.5	-	-
特定非営利活動法人(N=13)	-	69.2	7.7	-	7.7	-	-	-	-	-	-	15.4
学校法人(N=3)	33.3	66.7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宗教法人(N=0)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
社会福祉法人・医療法人(N=2)	50.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	50.0
法人でない団体（保存会、組合、協議会、任意団体）(N=59)	23.7	64.4	6.8	1.7	-	1.7	-	-	-	-	-	1.7
その他(N=13)	61.5	38.5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

Q1. 団体の形態と Q25. 文化芸術活動による
収入・売上の状況（2020年）のクロス集計

(%)

	0 円	50 0円 0超 万 円 未 満	15 0 0 0 万 円 未 満	11 . 0 0 0 万 円 未 満	21 . 0 0 0 万 円 未 満	22 . 0 0 0 万 円 未 満	32 . 0 0 0 万 円 未 満	33 . 0 0 0 万 円 未 満	43 . 0 0 0 万 円 未 満	44 . 0 0 0 万 円 未 満	55 . 0 0 0 万 円 未 満	5 . 0 0 0 万 円 以 上
全体(N=172)	34.9	46.5	7.0	2.3	1.7	0.6	1.2	0.6	1.2	0.6	-	3.5
個人事業所(N=32)	21.9	65.6	9.4	-	-	3.1	-	-	-	-	-	-
株式会社・特例有限会社・相互会社(N=36)	25.0	33.3	8.3	8.3	8.3	-	5.6	2.8	2.8	-	-	5.6
合名会社・合資会社(N=0)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
合同会社(N=3)	33.3	33.3	-	33.3	-	-	-	-	-	-	-	-
公益財団・社団法人(N=5)	40.0	20.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	40.0
一般財団・社団法人(N=8)	37.5	37.5	12.5	-	-	-	-	-	-	12.5	-	-
特定非営利活動法人(N=12)	33.3	33.3	16.7	-	-	-	-	-	8.3	-	-	8.3
学校法人(N=3)	66.7	33.3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宗教法人(N=0)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
社会福祉法人・医療法人(N=2)	50.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	50.0
法人でない団体（保存会、組合、協議会、任意団体）(N=59)	40.7	54.2	5.1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
その他(N=12)	58.3	41.7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

Q8. と Q25. 文化芸術活動による
収入・売上の状況（2019年）のクロス集計

(%)

	0 円	50 0円 0超 万円 未 満	15 .0 00 0万 円 未 満	11 . . 50 00 0万 円 未 満	21 . . 05 00 0万 円 未 満	22 . . 50 00 0万 円 未 満	32 . . 05 00 0万 円 未 満	33 . . 50 00 0万 円 未 満	43 . . 05 00 0万 円 未 満	44 . . 50 00 0万 円 未 満	55 . . 00 00 0万 円 未 満	5 . . 00 00 0万 円 以 上
全体 (N=167)	24.0	46.7	9.6	3.6	2.4	1.8	-	1.8	0.6	0.6	-	9.0
文芸 (N=7)	14.3	71.4	14.3	-	-	-	-	-	-	-	-	-
音楽 (N=58)	19.0	36.2	8.6	5.2	5.2	3.4	-	1.7	1.7	-	-	19.0
美術 (N=21)	28.6	33.3	19.0	4.8	-	4.8	-	-	-	4.8	-	4.8
工芸 (N=1)	-	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
演劇 (N=31)	25.8	64.5	3.2	3.2	3.2	-	-	-	-	-	-	-
舞踊 (N=13)	30.8	46.2	15.4	-	-	-	-	7.7	-	-	-	-
メディア芸術 (N=3)	-	66.7	33.3	-	-	-	-	-	-	-	-	-
伝統芸能 (N=4)	-	75.0	25.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-
アイヌ文化 (N=3)	66.7	-	-	33.3	-	-	-	-	-	-	-	-
生活文化 (N=5)	20.0	40.0	20.0	-	-	-	-	-	-	-	-	20.0
デザイン・建築・ファッション (N=15)	40.0	53.3	-	-	-	-	-	6.7	-	-	-	-
その他 (N=6)	16.7	50.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	33.3

Q8. と Q25. 文化芸術活動による
収入・売上の状況（2020年）のクロス集計

(%)

	0 円	50 0円 0超 万円 未 満	15 .0 00 0万 円 未 満	11 . . 50 00 0万 円 未 満	21 . . 05 00 0万 円 未 満	22 . . 50 00 0万 円 未 満	32 . . 05 00 0万 円 未 満	33 . . 50 00 0万 円 未 満	43 . . 05 00 0万 円 未 満	44 . . 50 00 0万 円 未 満	55 . . 00 00 0万 円 未 満	5 . . 00 00 0万 円 以 上
全体 (N=165)	35.2	47.3	6.7	2.4	1.2	0.6	1.2	0.6	0.6	0.6	-	3.6
文芸 (N=7)	28.6	57.1	14.3	-	-	-	-	-	-	-	-	-
音楽 (N=58)	34.5	37.9	8.6	5.2	3.4	-	1.7	1.7	1.7	-	-	5.2
美術 (N=21)	33.3	47.6	9.5	-	-	-	-	-	-	4.8	-	4.8
工芸 (N=1)	-	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
演劇 (N=30)	26.7	63.3	10.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-
舞踊 (N=13)	38.5	61.5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
メディア芸術 (N=3)	33.3	66.7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
伝統芸能 (N=3)	-	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
アイヌ文化 (N=3)	66.7	33.3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
生活文化 (N=5)	40.0	40.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	20.0
デザイン・建築・ファッション (N=15)	66.7	26.7	-	6.7	-	-	-	-	-	-	-	-
その他 (N=6)	16.7	33.3	-	-	-	16.7	16.7	-	-	-	-	16.7

3-2 文化芸術活動による支出の状況

Q26. 貴団体が2019年と2020年に文化芸術活動のために支出した金額（経費）をお答えください。ない場合は0（ゼロ）を記入してください。〈IN〉

	文化芸術活動 の支出額 (2019年)	文化芸術活動 の支出額 (2020年)
N	170	165
最大	800,000 万円	327,222 万円
最小	0 万円	0 万円
平均	10,368.0 万円	5,666.6 万円
中間値	150 万円	80 万円

Q1. 団体の形態と Q26. 文化芸術活動による支出の状況（2019年）のクロス集計

(%)

	0 円	5 0 0 円 超 万 円 未 満	1 5 0 0 0 円 未 満	1 1 5 0 0 円 未 満	2 1 0 0 0 円 未 満	2 2 5 0 0 円 未 満	3 2 0 0 0 円 未 満	3 3 5 0 0 円 未 満	4 3 0 0 0 円 未 満	4 4 5 0 0 円 未 満	5 5 0 0 0 円 未 満	5 0 0 0 0 円 以 上
全体 (N=170)	9.4	62.9	11.2	1.8	2.9	2.9	1.2	0.6	-	1.2	-	5.9
個人事業所 (N=29)	13.8	62.1	17.2	3.4	3.4	-	-	-	-	-	-	-
株式会社・特例有限会社・相互会社 (N=34)	14.7	38.2	17.6	2.9	-	5.9	5.9	2.9	-	2.9	-	8.8
合名会社・合資会社 (N=0)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
合同会社 (N=4)	-	50.0	-	-	25.0	25.0	-	-	-	-	-	-
公益財団・社団法人 (N=6)	-	50.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	50.0
一般財団・社団法人 (N=8)	25.0	37.5	-	-	25.0	-	-	-	-	12.5	-	-
特定非営利活動法人 (N=13)	-	76.9	7.7	-	7.7	-	-	-	-	-	-	7.7
学校法人 (N=3)	-	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宗教法人 (N=0)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
社会福祉法人・医療法人 (N=2)	-	50.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	50.0
法人でない団体（保存会、組合、協議会、任意団体） (N=59)	5.1	74.6	11.9	1.7	-	3.4	-	-	-	-	-	3.4
その他 (N=12)	16.7	83.3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

Q8. 最も力を入れて取り組んでいる文化芸術活動（分野別）と
 Q26. 文化芸術活動による支出の状況（2019年）のクロス集計

(%)

	0 円	50 0円 0超 万円 未 満	15 .0 00 0万 円 未 満	11 . . 50 0万 円 未 満	21 . . 05 0万 円 未 満	22 . . 50 0万 円 未 満	32 . . 05 0万 円 未 満	33 . . 50 0万 円 未 満	43 . . 05 0万 円 未 満	44 . . 50 0万 円 未 満	55 . . 00 0万 円 未 満	5 . . 00 0万 円 以 上
全体(N=162)	9.9	64.8	10.5	1.2	3.1	2.5	1.2	-	-	1.2	-	5.6
文芸(N=7)	14.3	71.4	14.3	-	-	-	-	-	-	-	-	-
音楽(N=55)	3.6	56.4	14.5	3.6	3.6	3.6	3.6	-	-	1.8	-	9.1
美術(N=18)	-	72.2	11.1	-	5.6	5.6	-	-	-	5.6	-	-
工芸(N=3)	-	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
演劇(N=30)	10.0	73.3	10.0	-	3.3	-	-	-	-	-	-	3.3
舞踊(N=13)	23.1	61.5	7.7	-	-	7.7	-	-	-	-	-	-
メディア芸術(N=4)	-	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
伝統芸能(N=4)	-	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
アイヌ文化(N=3)	33.3	33.3	33.3	-	-	-	-	-	-	-	-	-
生活文化(N=5)	-	60.0	20.0	-	-	-	-	-	-	-	-	20.0
デザイン・建築・ファッション(N=14)	35.7	57.1	-	-	7.1	-	-	-	-	-	-	-
その他(N=6)	16.7	50.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	33.3

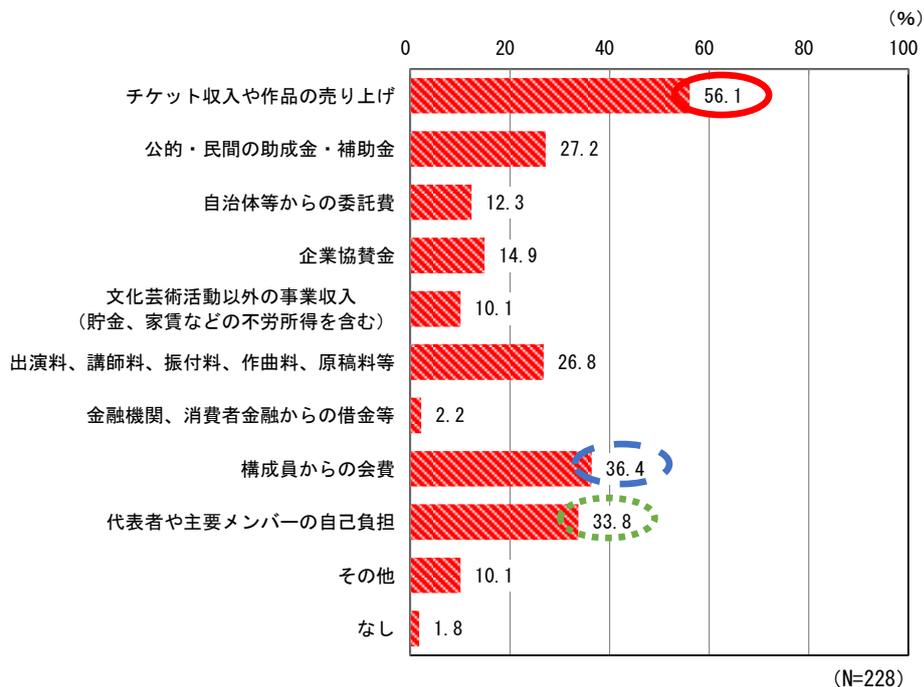
Q8. 最も力を入れて取り組んでいる文化芸術活動（分野別）と
 Q26. 文化芸術活動による支出の状況（2019年）のクロス集計

(%)

	0 円	50 0円 0超 万円 未 満	15 .0 00 0万 円 未 満	11 . . 50 0万 円 未 満	21 . . 05 0万 円 未 満	22 . . 50 0万 円 未 満	32 . . 05 0万 円 未 満	33 . . 50 0万 円 未 満	43 . . 05 0万 円 未 満	44 . . 50 0万 円 未 満	55 . . 00 0万 円 未 満	5 . . 00 0万 円 以 上
全体(N=158)	17.7	65.8	8.2	1.3	0.6	0.6	-	1.3	-	0.6	-	3.8
文芸(N=7)	28.6	57.1	14.3	-	-	-	-	-	-	-	-	-
音楽(N=55)	18.2	56.4	12.7	1.8	-	1.8	-	-	-	-	-	9.1
美術(N=18)	-	83.3	5.6	-	5.6	-	-	-	-	5.6	-	-
工芸(N=3)	-	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
演劇(N=28)	14.3	75.0	7.1	-	-	-	-	3.6	-	-	-	-
舞踊(N=12)	25.0	66.7	8.3	-	-	-	-	-	-	-	-	-
メディア芸術(N=4)	25.0	75.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
伝統芸能(N=3)	-	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
アイヌ文化(N=3)	33.3	66.7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
生活文化(N=5)	20.0	60.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	20.0
デザイン・建築・ファッション(N=14)	35.7	57.1	7.1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
その他(N=6)	16.7	50.0	-	16.7	-	-	-	16.7	-	-	-	-

3-3 文化芸術活動の主な財源

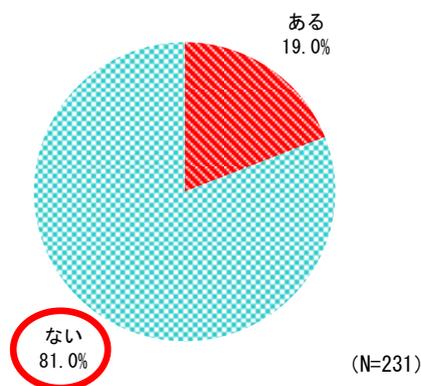
Q27. 貴団体が文化芸術活動を行う際の主な財源をお答えください。 <MA>



3-4 助成金・補助金の申請状況 (2019年)

Q28. 2019年度に、団体として申請した文化芸術活動関連の助成金・補助金がありますか。

<SA>



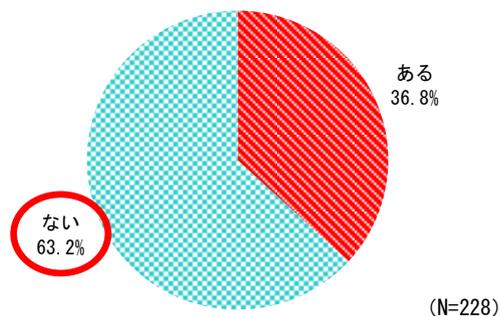
Q29. 【Q28で「1. ある」回答者のみお答えください】2019年度に申請した助成金・補助金のうち、採択されたのは何件ですか。 <IN>

	申請件数	採択件数
N	44	44
最大	19件	18件
最小	1件	0件
平均	2.8件	2.3件
中間値	1件	1件

3-5 助成金・補助金の申請状況（2020年）

Q30. 2020年度に、団体として申請した文化芸術活動関連の助成金・補助金はありますか。

<SA>

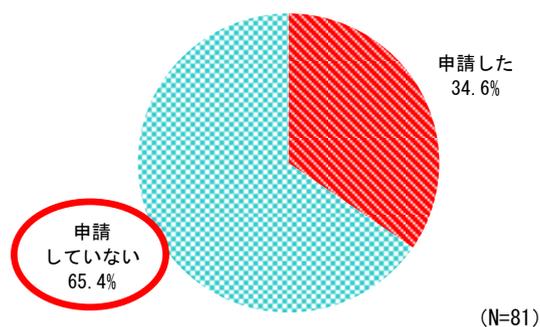


Q31. 【Q30で「1. ある」回答者のみお答えください】2020年度に申請した助成金・補助金のうち、採択されたのは何件ですか。 <IN>

	申請件数	採択件数
N	84	83
最大	15件	13件
最小	1件	0件
平均	2.8件	2.3件
中間値	2件	1件

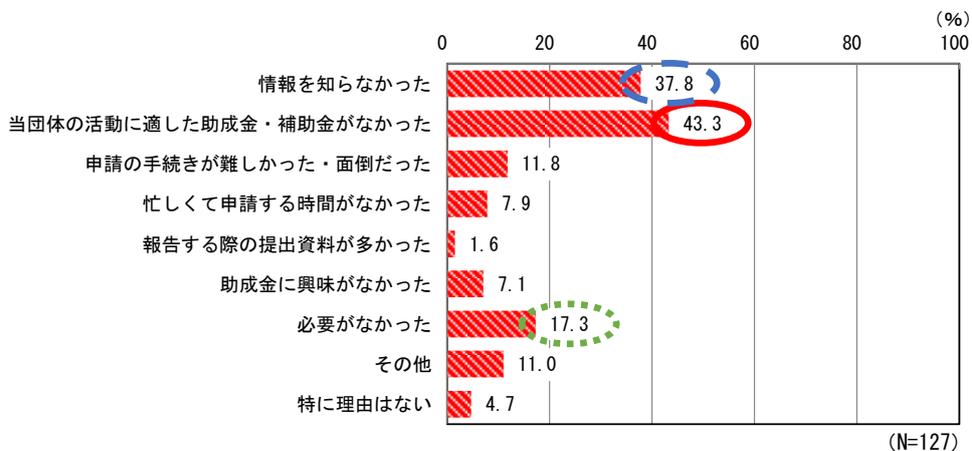
3-6 「文化芸術活動の継続支援事業」Bの申請状況

Q32. 【Q30で「1. ある」回答者のみお答えください】文化庁による「文化芸術活動の継続支援事業」B（小規模団体向け〔上限150万円〕）の申請の有無についてお答えください。 <SA>



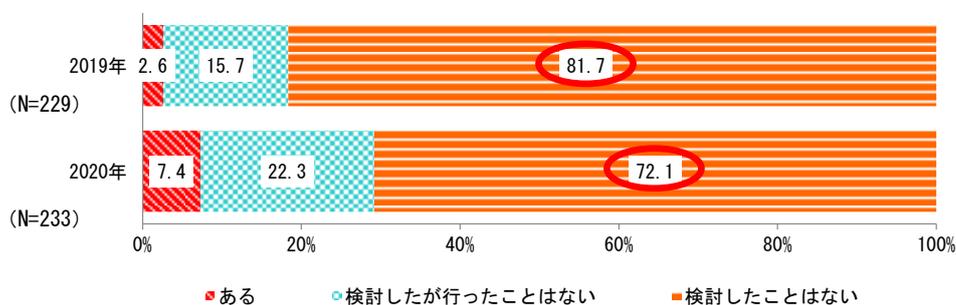
3-7 助成金・補助金を申請しなかった理由

Q33. 【Q28で「2. ない」、かつ、Q30で「2. ない」回答者のみお答えください】助成金・補助金を申請しなかった理由はなんですか。＜MA＞



3-8 クラウドファンディングへの取組状況

Q34. 貴団体は、文化芸術活動の資金調達のため、クラウドファンディングに取り組んだことはありますか。＜SA・マトリクス＞



4. 文化芸術活動に関する課題

文化芸術活動に関する課題についてお聞きします。

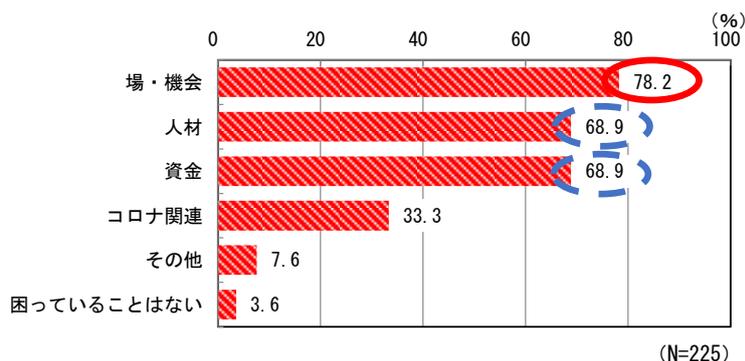
○文化芸術活動をするにあたって不足している・課題だと感じていること〈Q35〉では、【場・機会】に関する課題(78.2%)が多く挙げられた。一方で、具体的な課題としては「【資金】日常的な活動経費(43.6%)」、「【場・機会】発表の場・機会(43.1%)」、「【資金】発表の資金(41.3%)」が多く挙げられた。

○現在、最も力を入れている分野とのクロス集計〈Q8×Q35〉をみると、「演劇」分野において「【資金】日常的な活動経費(57.5%)」、「【資金】発表の資金(50.0%)」が特に多く挙げられており、全体の割合より10ポイント以上高かった。

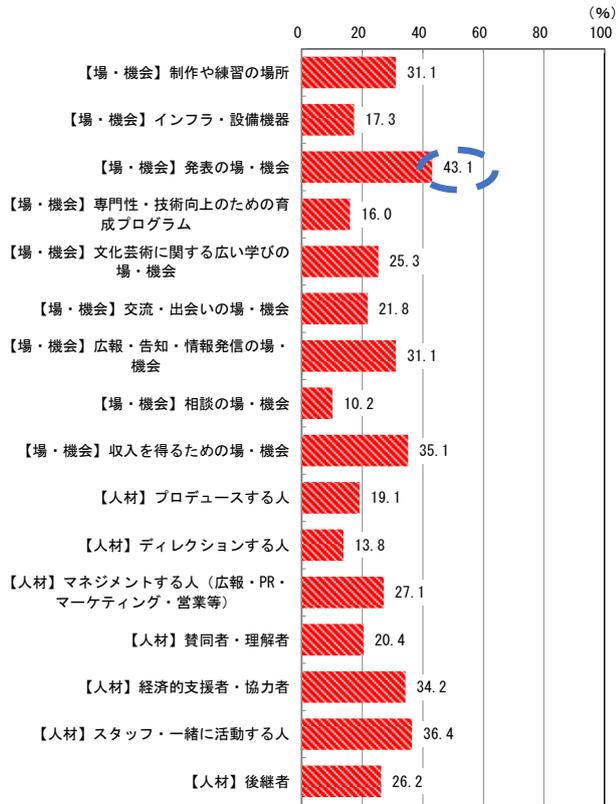
4-1 不足している・課題だと感じていること

Q35. 貴団体が文化芸術活動を行うに当たって、不足している・課題だと感じていること
をお答えください。〈MA〉

Q35. 不足している・課題だと感じていること 分野ごとの集計〈MA〉



Q35. 不足している・課題だと感じていること 各分野の内訳<MA>



(N=225)

Q8. 最も力を入れて取り組んでいる文化芸術活動（分野別）と

Q35. 不足している・課題だと感じていることのクロス集計

(%)

	所 〔場・機会〕 制作や練習の場	機 器 〔場・機会〕 インフラ・設備	〔場・機会〕 発表の場・機会	上 の た め の 育 成 プ ロ グ ラ ム 〔場・機会〕 専門性・技術向	る の た め の 育 成 プ ロ グ ラ ム 〔場・機会〕 文化芸術に關する の 学 び の 場 ・ 機 会	場 ・ 機 会 〔場・機会〕 交流・出合いの 場	報 道 の 場 ・ 機 会 〔場・機会〕 広報・告知・情 報 の 場 ・ 機 会	〔場・機会〕 相談の場・機会	の 場 ・ 機 会 〔場・機会〕 収入を得るため の 場 ・ 機 会	〔人材〕 プロデュースする人	人 〔人材〕 ディレクションする 人	〔人材〕 マネジメントする人 〔広報・PR・マーケ ティ ン グ・ 営 業 等〕	〔人材〕 賛同者・理解者	者 〔人材〕 経済的支援者・協力 者	動 する 人 〔人材〕 スタッフ・一緒に活 動 する 人	〔人材〕 後継者
全体 (N=211)	30.8	17.5	43.1	16.1	26.1	22.3	31.8	10.4	34.1	18.5	12.8	27.0	19.4	33.6	36.5	26.1
文芸 (N=10)	-	-	30.0	-	40.0	20.0	30.0	-	-	10.0	-	10.0	-	30.0	30.0	60.0
音楽 (N=69)	36.2	23.2	40.6	10.1	17.4	17.4	24.6	7.2	21.7	17.4	10.1	30.4	10.1	29.0	33.3	24.6
美術 (N=25)	44.0	16.0	52.0	20.0	48.0	24.0	48.0	8.0	52.0	20.0	24.0	36.0	32.0	44.0	48.0	28.0
工芸 (N=4)	25.0	25.0	50.0	-	75.0	75.0	50.0	50.0	50.0	-	-	-	-	-	25.0	-
演劇 (N=40)	42.5	12.5	40.0	25.0	27.5	17.5	37.5	12.5	35.0	22.5	15.0	35.0	22.5	35.0	40.0	32.5
舞踊 (N=20)	25.0	10.0	60.0	15.0	25.0	15.0	15.0	15.0	40.0	20.0	-	10.0	20.0	30.0	40.0	20.0
メディア芸術 (N=4)	50.0	50.0	75.0	50.0	75.0	75.0	100.0	-	100.0	25.0	25.0	25.0	50.0	75.0	75.0	25.0
伝統芸能 (N=4)	-	25.0	75.0	-	-	25.0	50.0	-	25.0	-	-	-	25.0	50.0	-	50.0
アイヌ文化 (N=3)	-	33.3	-	33.3	-	33.3	-	-	-	-	-	33.3	33.3	33.3	33.3	-
生活文化 (N=7)	-	14.3	28.6	14.3	14.3	42.9	28.6	14.3	57.1	-	14.3	28.6	14.3	42.9	14.3	28.6
デザイン・建築・ファッション (N=19)	15.8	10.5	42.1	21.1	10.5	26.3	31.6	21.1	42.1	26.3	21.1	21.1	36.8	31.6	42.1	15.8
その他 (N=6)	16.7	33.3	16.7	16.7	33.3	16.7	16.7	-	50.0	33.3	33.3	33.3	16.7	33.3	16.7	-

	究 者 〔人材〕 批評家・評論家・研 究 者	〔人材〕 記録・編集の専門 家	い て 相 談 で き る 専 門 家 〔人材〕 法律・法的問題に つ き 関 連 する 専 門 家	〔資金〕 制作や練習の資金	〔資金〕 発表の資金	〔資金〕 PRや広報の資金	所 の 使 用 料 ・ 賃 料 ・ 人 件 費 ・ 旅 費 ・ 管 理 費 等 〔資金〕 日常的な活動経費 〔資金〕 材料費、人件費、旅 費、 管 理 費 等	作 方 法 の 検 討 ・ 準 備 の 経 費 〔資金〕 リサーチ・公演や制 作 の 経 費	修 ・ 交 流 含 む 〕 の 経 費 〔資金〕 スキルアップ（研 究 ・ 交 流 含 む ） の 経 費	資 金 〔資金〕 設備・機材等の投資	作 成 費 〔資金〕 記録・アーカイブの 経 費	ラ イ ン 提 示 〔資金〕 コロナ関連）感染 予 防 に 関 する 知 識 ・ ノ ウ ハ ウ ・ ガ イ ド	め の 設 備 ・ 開 連 ） 感 染 予 防 の た め の 設 備 ・ 開 連 〔資金〕 コロナ関連）感 染 予 防 の た め の 設 備 ・ 開 連	の 感 染 症 対 策 専 門 家 〔資金〕 コロナ関連）文 化 芸術 開 連	そ の 他	困 つ て い る こ と は な い
全体 (N=211)	8.1	9.5	8.5	31.3	39.8	31.8	42.7	16.1	15.2	20.9	13.7	14.2	21.3	18.0	8.1	3.8
文芸 (N=10)	-	20.0	-	10.0	40.0	40.0	60.0	-	-	-	-	10.0	20.0	10.0	-	10.0
音楽 (N=69)	1.4	7.2	5.8	26.1	30.4	20.3	30.4	5.8	4.3	20.3	5.8	23.2	26.1	24.6	4.3	1.4
美術 (N=25)	8.0	4.0	8.0	44.0	52.0	48.0	56.0	20.0	28.0	24.0	20.0	20.0	24.0	20.0	12.0	-
工芸 (N=4)	-	-	-	50.0	50.0	25.0	25.0	25.0	25.0	25.0	25.0	-	-	-	-	-
演劇 (N=40)	17.5	15.0	15.0	40.0	50.0	40.0	57.5	27.5	17.5	25.0	20.0	10.0	20.0	12.5	17.5	5.0
舞踊 (N=20)	10.0	-	10.0	35.0	45.0	30.0	40.0	25.0	30.0	20.0	10.0	5.0	15.0	25.0	5.0	15.0
メディア芸術 (N=4)	50.0	50.0	25.0	75.0	75.0	100.0	75.0	50.0	25.0	75.0	25.0	-	-	-	25.0	-
伝統芸能 (N=4)	-	25.0	-	-	75.0	75.0	25.0	-	-	25.0	25.0	-	50.0	-	-	-
アイヌ文化 (N=3)	-	-	-	33.3	-	-	33.3	-	-	33.3	33.3	-	33.3	-	-	-
生活文化 (N=7)	-	-	-	14.3	-	28.6	28.6	-	14.3	-	-	-	28.6	28.6	-	14.3
デザイン・建築・ファッション (N=19)	10.5	5.3	10.5	26.3	42.1	15.8	36.8	15.8	21.1	15.8	26.3	10.5	10.5	10.5	5.3	-
その他 (N=6)	16.7	33.3	16.7	16.7	16.7	33.3	50.0	50.0	33.3	16.7	16.7	16.7	16.7	16.7	16.7	-

5. 文化芸術活動に対する意識等

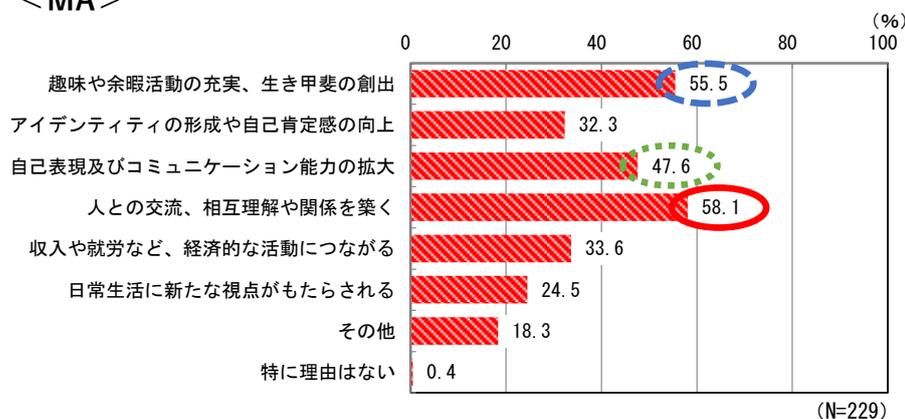
文化芸術活動に対する意識等についてお聞きします。

- 文化芸術活動を行っている理由〈Q36〉としては、「人との交流、相互理解や関係を築く(58.1%)」、「趣味や余暇活動の充実、生き甲斐の創出(55.5%)」、「自己表現及びコミュニケーション能力の拡大(47.6%)」が多く挙げられた。
- 文化芸術が社会にもたらす効果〈Q37〉は、「人々が生きる楽しみを見出せる(80.3%)」の回答が特に多く、8割以上の方が挙げた。他にも、「地域社会・経済の活性化(65.0%)」、「人々の創造性の向上(61.5%)」、「子どもの豊かな心の育み(58.5%)」など多く挙げられた。
- 今後、接点・関わりを持ちたい「他の文化芸術分野」〈Q39〉は、「音楽(49.4%)」、「美術(45.8%)」、「メディア芸術(38.6%)」が多く、特に「【美術】映像(24.1%)」、「【メディア芸術】デジタル技術を活用した芸術表現(22.5%)」、「【メディア芸術】映画(20.4%)」など、映像やデジタル技術を活用した芸術が多く挙げられた。
- 現在、接点・関わりのある「社会分野」〈Q40〉と今後、接点・関わりを持ちたい「社会分野」〈Q41〉にかけての増減の状況を見ると、「多文化共生(13.5%)」、「国際交流(9.6%)」などの分野で、今後、接点・関わりを持ちたいとの希望が多く挙げられた。
- 今後、接点・関わりを持ってやってみたいこと〈Q42〉では、「コラボ・異分野での創作など(32件)」、「福祉・教育(30件)」、「国・地域・多世代などの交流(23件)」などが特に多く挙げられた
- 連携を進める上での課題〈Q43〉としては、「連携のための助成金・補助金がない(51.9%)」、「コーディネーター(繋ぐ人、導く人など)がない(50.5%)」の割合が特に高く、5割を超えている。
- 意見・要望・課題等〈Q44〉では、「申請方法の簡便化・申請対象の拡大など」、「(用途によらない)助成金・補助金等の給付」、「日常的な活動経費の補助・減免など」、助成金・補助金に関することや文化芸術活動に掛かる費用負担の軽減の要望などが多く挙げられた。

5-1 文化芸術活動を続けている・行っている理由

Q36. 貴団体が文化芸術活動を続けている・行っている理由はなんですか。

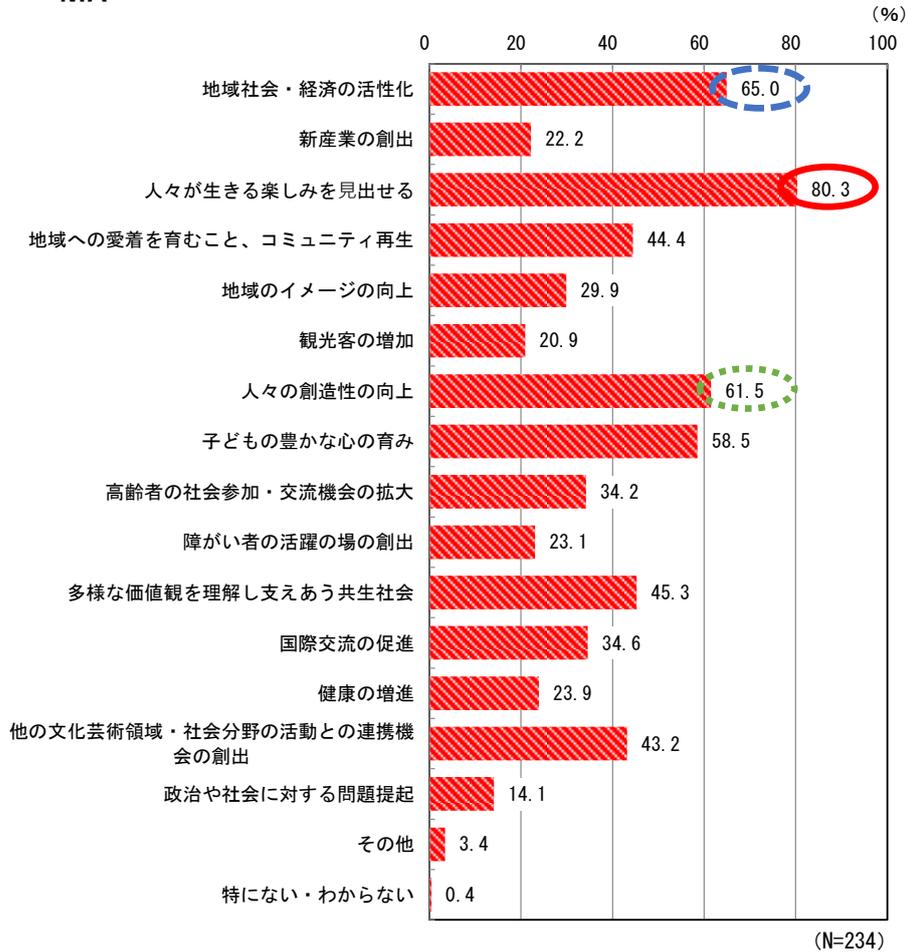
<MA>



5-2 文化芸術が社会にもたらす効果

Q37. 文化芸術が社会にもたらす効果として、どのようなことを期待しますか。

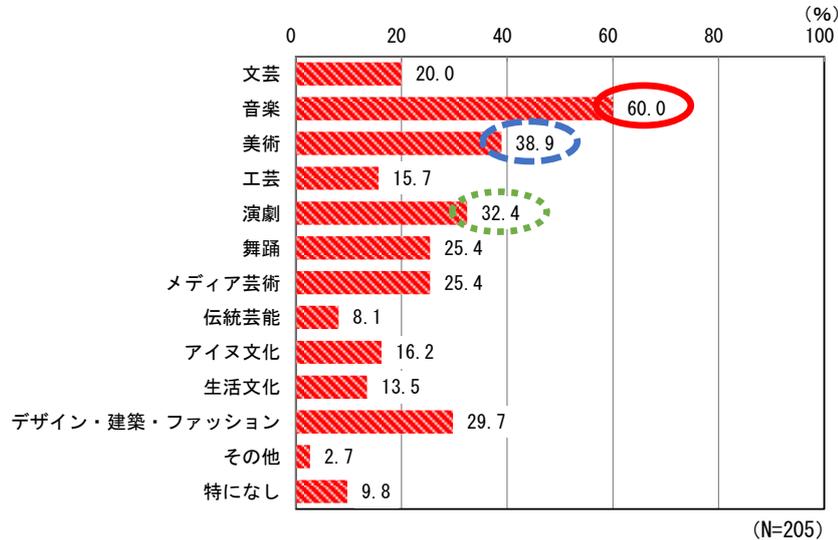
< MA >



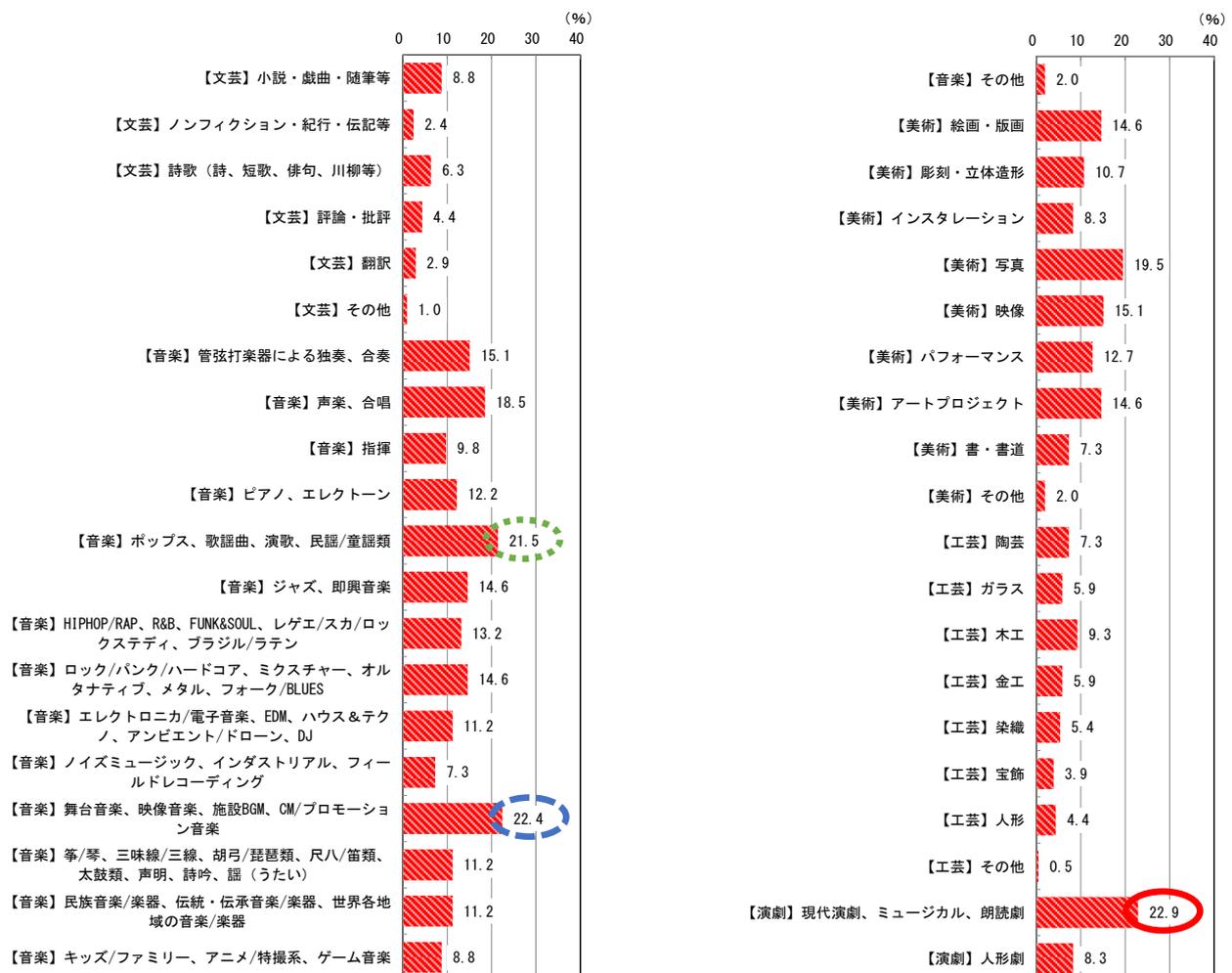
5-3 現在、接点・関わりのある「他の文化芸術分野」

Q38. 貴団体が行っている文化芸術活動に関して、現在、接点・関わりのある「他の文化芸術分野」は何ですか。<MA>

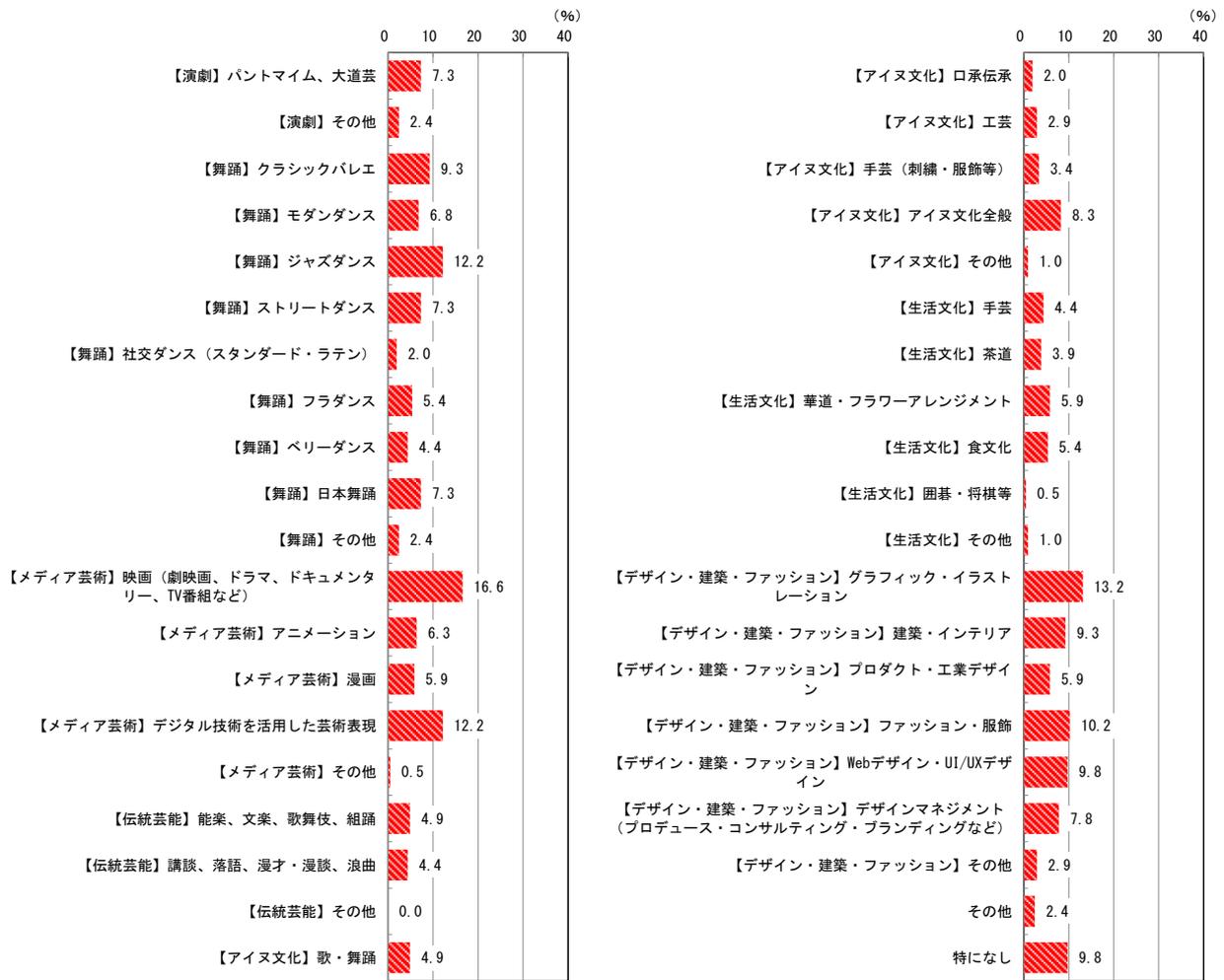
Q38. 現在、接点・関わりのある「他の文化芸術分野」 分野ごとの集計<MA>



Q38. 現在、接点・関わりのある「他の文化芸術分野」 各分野の内訳<MA>



Q38. 現在、接点・関わりのある「他の文化芸術分野」 各分野の内訳<MA> ※前頁の続き

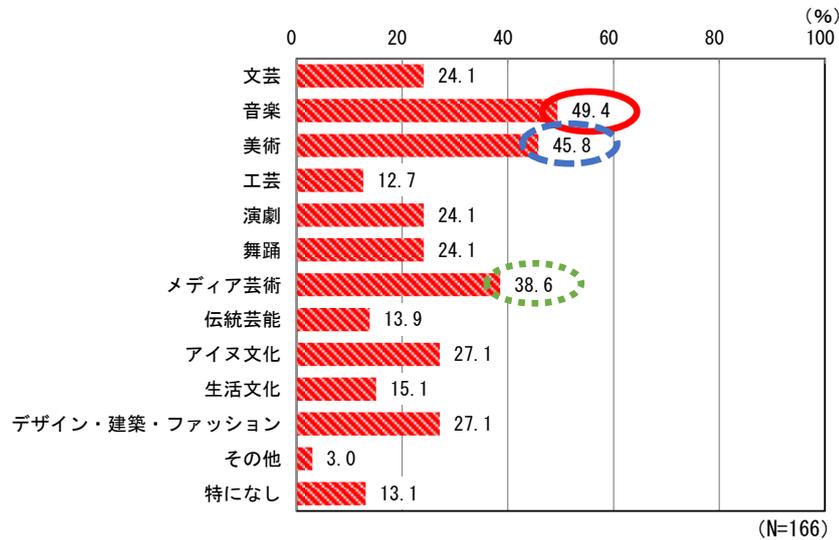


(N=205)

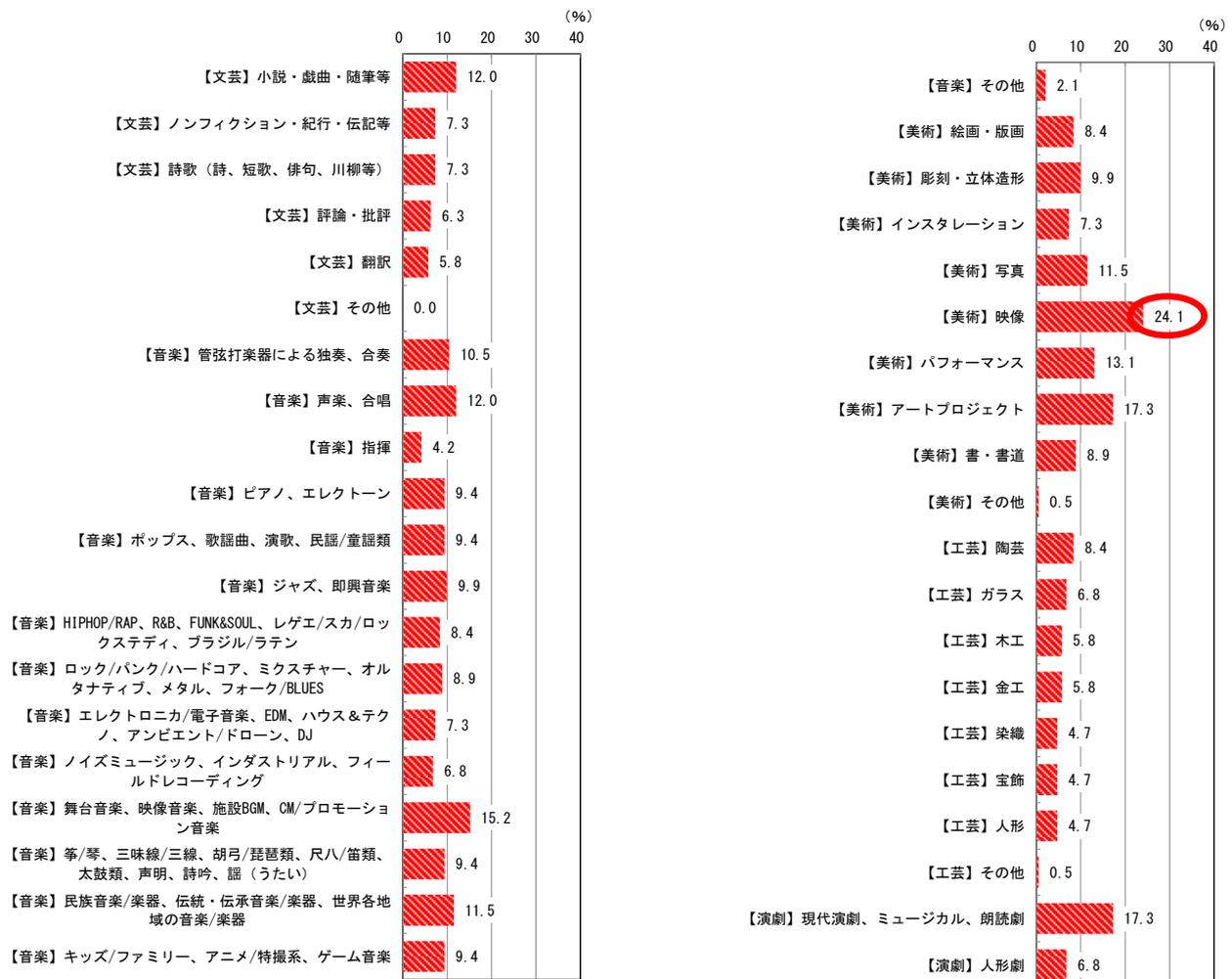
5-4 今後、接点・関わりを持ちたい「他の文化芸術分野」

Q39. 貴団体が行っている文化芸術活動に関して、今後、接点・関わりを持ちたいと思っている「他の文化芸術分野」は何ですか。〈MA〉

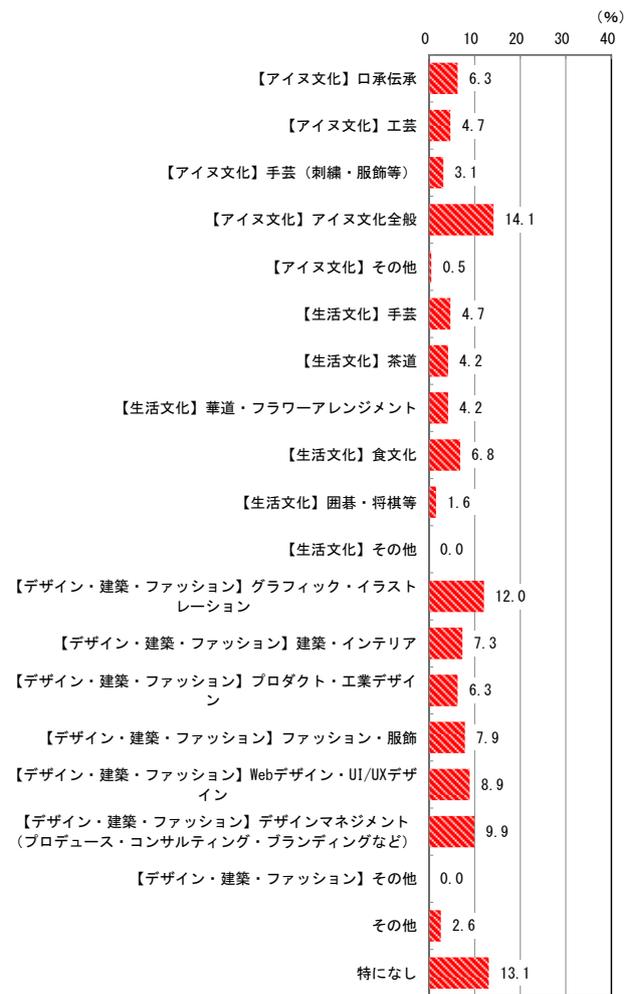
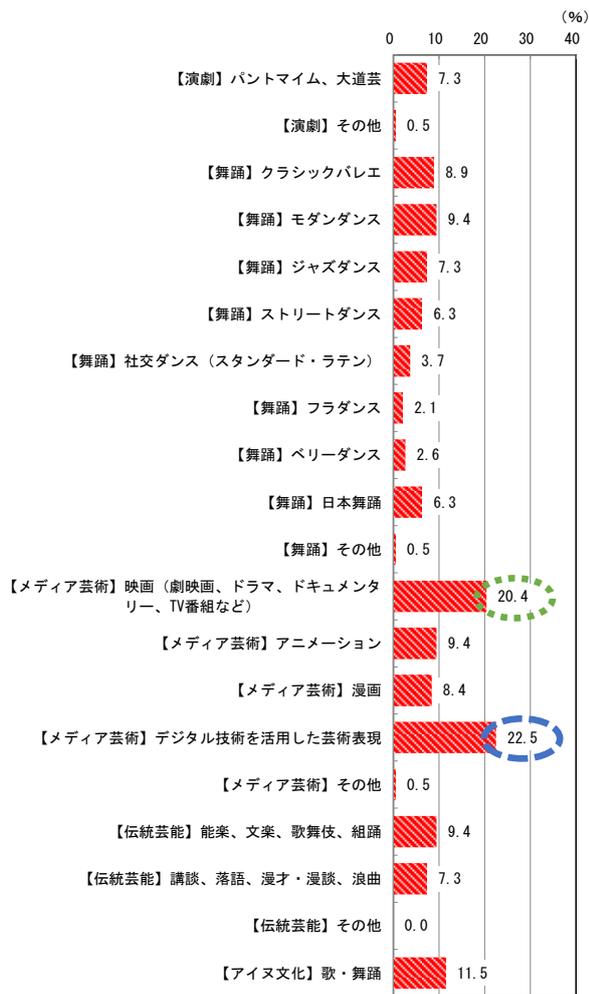
Q39. 今後、接点・関わりを持ちたい「他の文化芸術分野」 分野ごとの集計〈MA〉



Q39. 今後、接点・関わりを持ちたい「他の文化芸術分野」 各分野の内訳〈MA〉



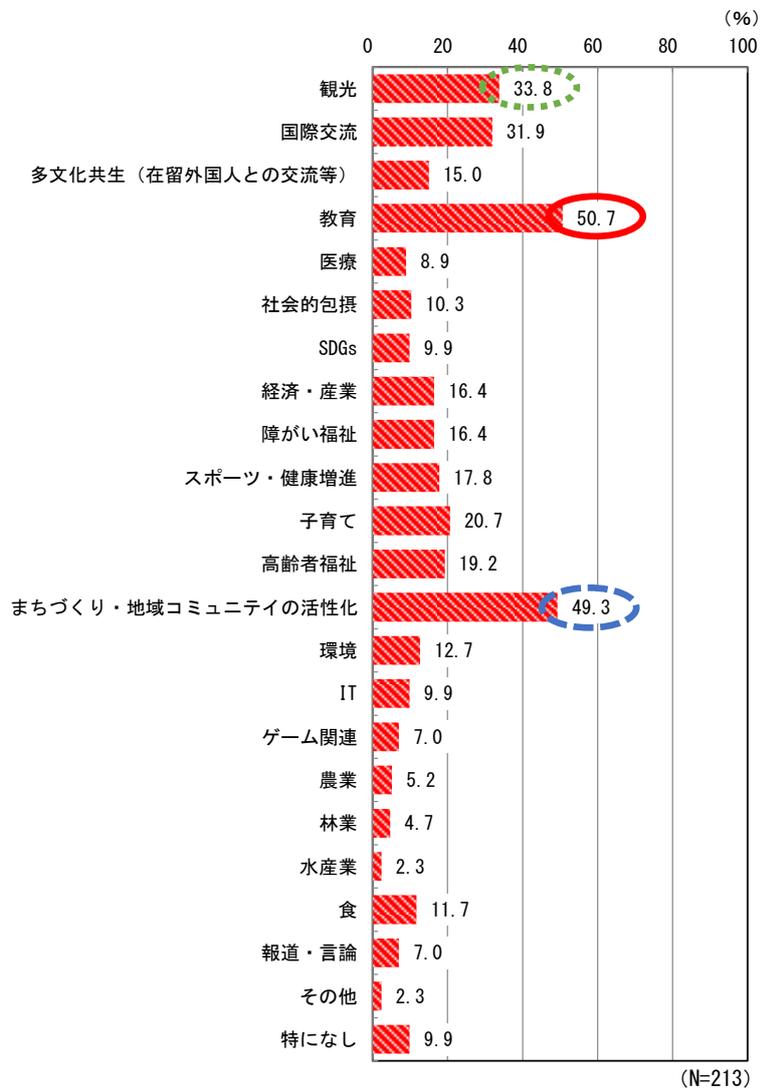
Q39. 今後、接点・関わりを持ちたい「他の文化芸術分野」 各分野の内訳<MA> ※前頁の内訳



(N=166)

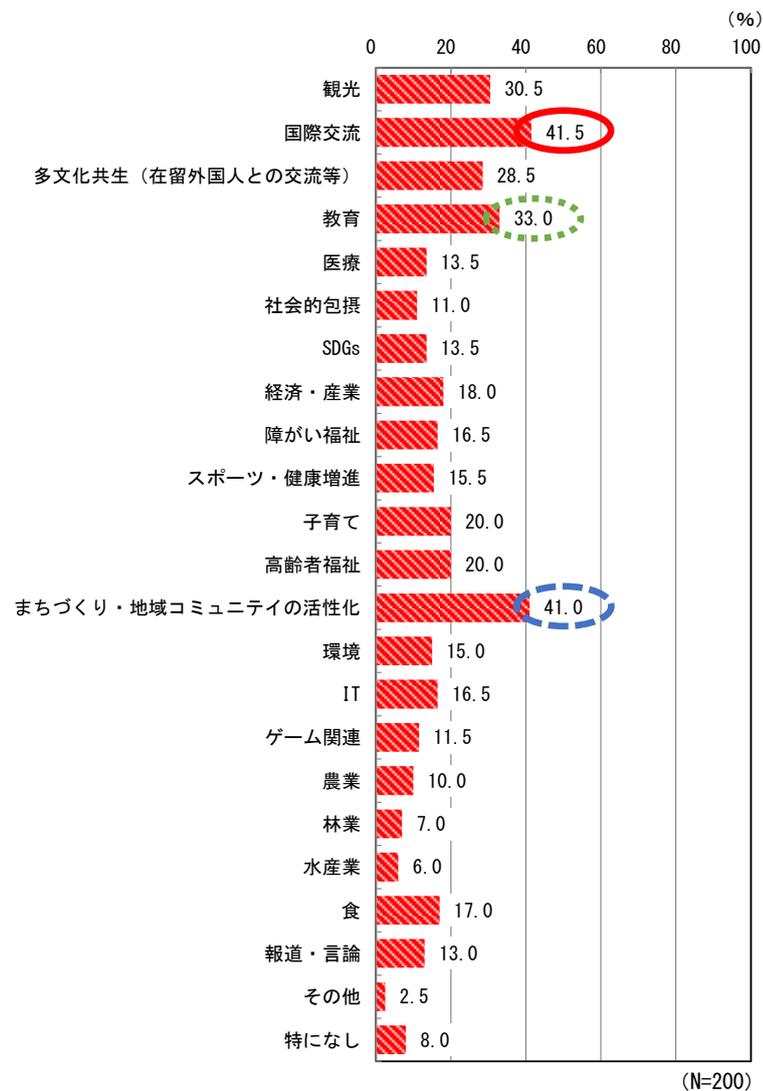
5-5 現在、接点・関わりのある「社会分野」

Q40. 貴団体が行っている文化芸術活動に関して、現在、接点・関わりのある「社会分野」は何ですか。〈MA〉

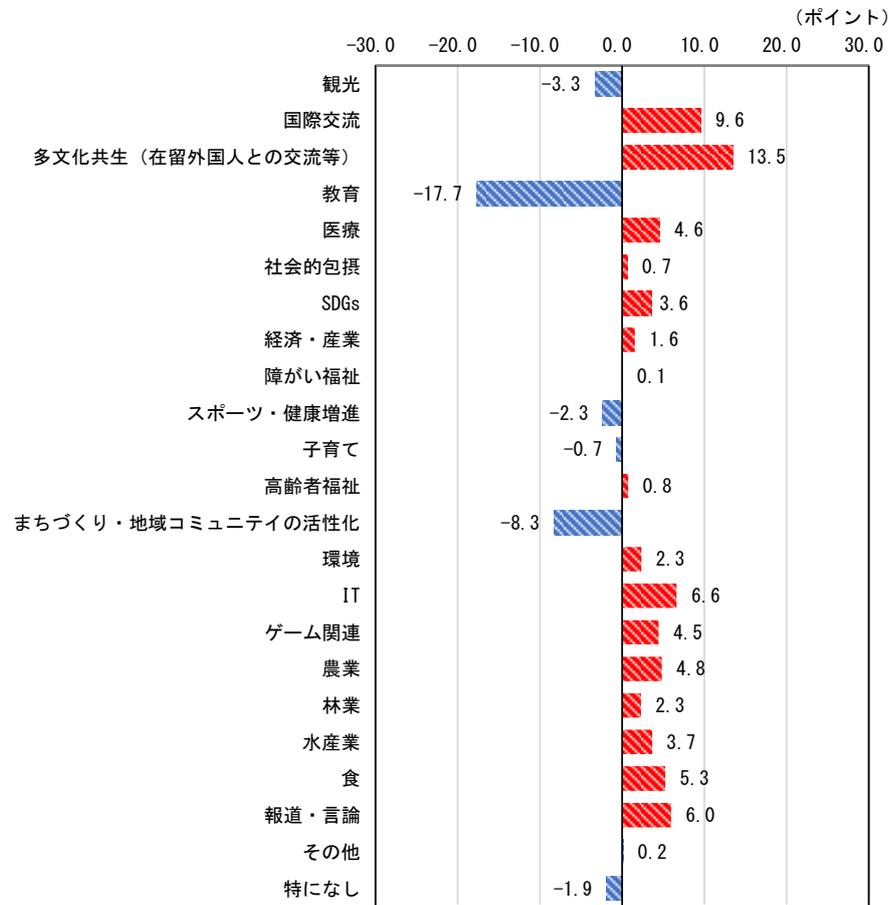


5-6 今後、接点・関わりを持ちたい「社会分野」

Q41. 貴団体が行っている文化芸術活動に関して、今後、接点・関わりを持ちたいと思っている「社会分野」は何ですか。＜MA＞



Q40. 現在、接点・関わりのある「社会分野」と
 Q41. 今後、接点・関わりを持ちたい「他の文化芸術分野」の増減の状況



5-7 今後、接点・関わりを持ってやってみたいこと

Q42. 【Q39、Q41 で「今後、『他の文化芸術分野』『社会分野』と接点・関わりを持ちたい」と回答した団体・事業者にお聞きします】今後、「他の文化芸術分野」「社会分野」と接点・関わりを持ってやってみたいことはどのようなことですか。〈FA〉

Q42. 今後、接点・関わりをもってやってみたいことの種類・分類〈MA〉

接点・関わりを持ってやってみたいことの種類・分野	該当数
コラボ・異分野での創作など	32
福祉・教育	30
国・地域・多世代などの交流	23
イベント実施・芸術に触れる機会の創出など	14
普及啓発・情報発信	13
ビジネス・経済・観光	8
問題提起・解決	6
その他	3

(N=199)

分類ごとの意見の一例

【コラボ・異分野での創作など】

- バレエ音楽をクラシックバレエとオーケストラのコラボで舞台を作れたらと思います。社会分野では、とかく敬遠されがちな弦楽器の演奏を通しての音楽教育に、そして高齢者施設での演奏活動に取り組んでいきたいと考えています。
- 他の芸術分野・・・協力した舞台芸術の表現、社会分野・・・我々の行っている表現方法を広めて、豊かな社会の実現に貢献したい。
- 書道とのコラボで表現の輪を広げる。筆文字のタイトル、看板、舞台背景などを多用する。

【福祉・教育】

- 近隣のあらゆる学校と連携し、知的障がいへの理解を求めた啓発活動。
- 障がいのある方々によるアートやものづくりの価値の向上と社会起用の増進ないし恒常化。
- 精神科病院やメンタルクリニックなどの医療の分野の人たちとつながりを持ちたい。

【国・地域・多世代などの交流】

- 文化芸術分野での交流（アーティスト・イン・レジデンスでの制作や著名な作家との制作コラボなど。海外含）。また、子ども対象の創作広場（WEBでも可）を作り、それぞれ自由にアートで遊べる環境をつくること。実際に作品を展示または持ち帰り、情操教育になると良いと思います。
- 企業等と連携したプロジェクト・創発のためのワークショップ。学生たちが一流の作品・クリエイターと直に接する場。
- この情勢の中で海外のダンサーやアーティストがどのように活動してるか、情報交換したい。

【イベント実施・芸術に触れる機会の創出など】

- 演劇フェスの開催と地域の世代間交流。
- チカホなどの日常的に人が出向くような場所で、歌謡曲を鳴らして踊り、歩きゆく人々に突然の驚きとワクワクを与えたい。

【普及啓発・情報発信】

- ダンスはプロ・アマ、人種、性別関係なく繋がることのできる唯一のものだと世界に広めるためメディアとの繋がりが必要になります。
- 写真で他の文化芸術分野の知見を拡大し、それにより写真の価値もより理解を得られたい。

【ビジネス・経済・観光】

- 来札する方に対して観光地・食だけでなく、芸術分野を旅行の一部の目的として来札する方を増やしたい。
- ダンスがコミュニケーション能力を高め、脳に沢山の刺激を与え人間に役立つという事をもっと多くの場面に役立てて欲しい。ダンスで動かすことのできる人口を使って経済発展へと繋げてくれるイベントなどを行ってくれる企業などと接点を持ちたいです。

【問題提起・解決】

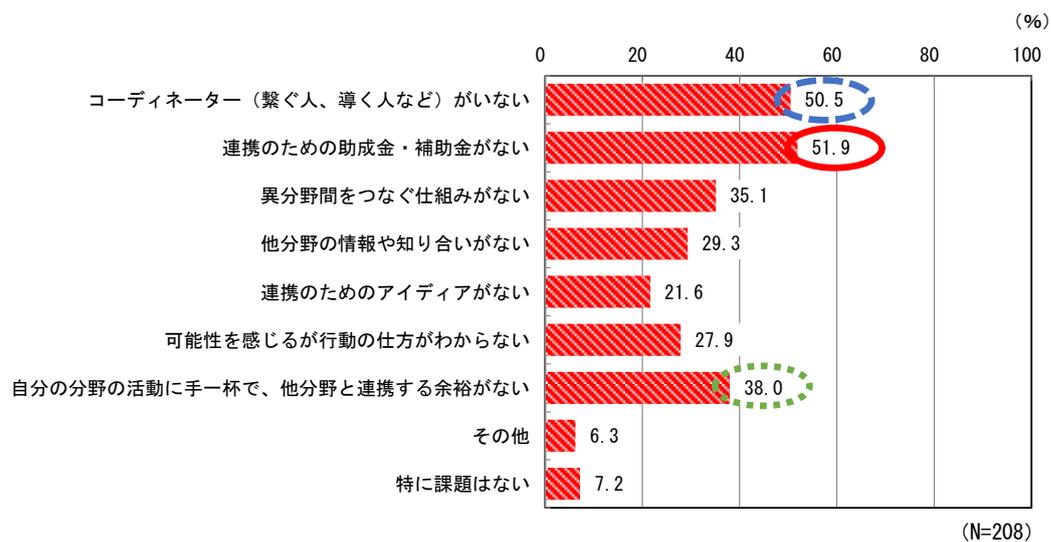
- 社会的マイノリティに対する差別や偏見の解消に繋がる取り組み。
- SDGs に根ざした北海道発信の体験型環境教育プログラムを構築したい。

【その他】

- コロナの中で国際関係等がどうなるか見極め、判断したい。現時点でなにかやりたいという先の展望は持ってない。
- 色々なことが出来そうですが具体的には思い浮かびません。発想、コーディネート出来る人材がいなければなかなか難しいと思います。

5-8 連携を進める上での課題

Q43. 貴団体にとって、異なる文化芸術分野間の連携や、文化芸術と社会分野の連携を推進していくために、どのような課題があると思いますか。〈MA〉



5-9 意見・要望・課題等

Q44. 札幌市の文化芸術施策に求めること・期待すること、文化芸術施設の利用や、助成金・補助金に関する課題等があればお書きください。<FA>

Q44. 意見・要望・課題等の種類・分類<MA>

種類・分野	該当数
申請方法の簡便化・申請対象の拡大など	23
(用途によらない) 助成金・補助金等の給付	21
日常的な活動経費の補助・減免など	20
発表の場・機会の増加	17
発表の資金の補助・減免など	14
公共による幅広い支援の実施	14
広報・告知・情報発信などの場・機会の増加	12
その他、文化芸術活動に必要な資金の補助・減免など	12
文化芸術に関する広い学びの場・機会の増加	10
その他、文化芸術活動に関わる場・機会の増加	9
専門性・技術向上のための育成プログラムの実施	8
交流・出会いの場・機会の増加	8
制作や練習の場所の増加	7
その他、文化芸術に関わる人材の拡充・育成など	6
新型コロナウイルスに関する対策・支援など	5
その他	7
特になし・無回答	106

(N=238)

分類ごとの意見の一例

【申請方法の簡便化・申請対象の拡大など】

- 個人や施設に対しての支援策は散見されるが、今後は事業者への支援を検討いただきたい。事業規模の大小があるので、その点を十分考慮いただき、煩雑にならない内容であることを希望する。
- 幅広い分野に対する助成金をのぞみます。申請書類がもう少し理解しやすくなるように期待しています。
- 申請方法を簡潔明瞭にしてほしい（難しい）。

【(用途によらない) 助成金・補助金等の給付】

- 助成金、補助金の額を大きくして欲しい。また、審査が厳しすぎる。対象経費の 1/2 など、条件を無くして欲しい。必要などころに必要なだけ資金提供する仕組みが必要。
- 経済的効果という観点に立たない先行投資型の助成金・補助金。まず人に助成金や補助金を与えること。人が育たなければ何も生まれない。
- 助成金・補助金のさらなる拡充をお願いします。

【日常的な活動経費の補助・減免など】

- 法人格をもたずに複数の団体に活動しているものに対しても助成金や・補助金等の支援をしてほしい。作品を実際に作る場合への支援だけでなく、芸術に触れることへの支援、札幌市以外に出かける場合の経費への支援をしてほしい。
- コロナ禍で仕事の減った芸術家や劇場、ホール、ライブハウス、そこで働く人々やフリーランスの裏方業務の方への補償や支援をお願いしたい。
- 少なくとも公的な施設の利用は無料にすべきである。

【発表の場・機会の増加】

- 市民・観光客ともにアクセスが良い場所に、規模・設備も整ったシンボリックで場所・建物としても魅力があるような施設が欲しい。(イメージは金沢 21 世紀美術館)札幌市民交流プラザ誕生で改善した部分もあるが、「展示」に関しては不足を感じる。
- 障がい者アートの展示会や作品展を行うブースを提供して欲しい。

【発表の資金の補助・減免など】

- 今は集客が見込めず、助成金が採択されたら発表会を実施できるという状況なので、実施までの期間が長い助成金の方が準備や練習がきちんとできるので良いと思う。
- 演奏会を実施する際の助成金、補助金があれば助かります。

【公共による幅広い支援の実施】

- 人形劇も文化芸術です。行政の文化担当にしっかりサポートいただけたら一元的な市の文化振興に繋がると思っています。
- 障がい者の文化活動の支援を広く大きく行ってほしい。

【広報・告知・情報発信などの場・機会の増加】

- 地域に密着した活動がしやすい発信を希望します。
- 施設利用、助成金補助金については、その可否に関わらず企画等の告知を受ける事が出来る登録制のメールマガジンみたいな物があれば助かります。

【その他、文化芸術活動に必要な資金の補助・減免など】

- もともと人形劇活動をしてきたアマチュア劇団です。劇場で練習・発表を続けて来ました。その他では市町村の保育園、教育委員会等での公演を通じ、子どもたちと関わって来ましたが、コロナでほとんど中止になり、アトリエの家賃の支払い等々、経費は代表の負担となっています。援助はありましたが…今後の活動が心配です。
- 繋ぐ人（コーディネーター）と連携のための資金の仕組み作りがあれば、と思います。

【文化芸術に関する広い学びの場・機会の増加】

- 小学校・中学校・高等学校の授業時間の中に、美術・音楽・図画工作・家庭科等の「感性を養う」を組み込んで欲しい。芸術に取り組む時間が無さすぎる。過去 40 年間の国語・算数（数学）・社会・理科等の学習時間数推移を見て欲しい。40 年前と比べ、芸術系学習時間は 30%以上減少しているはずだ。
- 細々とでも、どうか文化芸術に子どもたちが触れる時間をなくさないでほしいです。自然の中で遊べる環境と術を学べる場を無くさないでください。

Ⅲ. 資料編

(1) 個人向け調査 調査票 (Web 用)

札幌市文化芸術活動実態調査 (個人の方向け)

- ・この調査票は個人の方向けです。団体・事業者向けの調査票は[こちら](#)です(※団体・事業者向け調査は代表者またはそれに代わる方にてご回答願います)。
- ・ご回答は1人1回にてお願いします。
- ・札幌市では、文化芸術に広く関わるみなさまの具体的な現状把握や率直なご意見を集め、今後の施策の検討・実現へ反映させていくことが何より大切と考えております。ぜひご回答・ご協力いただければ幸いです。**※ご回答したくない設問は、無回答のまま進めることができます。(Q4のみ回答必須)**
- ・調査は無記名式で、調査結果は統計的に処理するため、個人が特定される形で公開されることはございません。

まず、あなたの基本情報をお聞きします。

Q1. あなたの性別をお答えください。 <SA>

1. 男性
2. 女性
3. その他

Q2. お住まいの区をお答えください。 <SA>

1. 中央区
2. 北区
3. 東区
4. 白石区
5. 厚別区
6. 豊平区
7. 清田区
8. 南区
9. 西区
10. 手稲区
11. 札幌市外 ()

Q3. 年齢をお答えください。<SA>

1. 10代
2. 20代
3. 30代
4. 40代
5. 50代
6. 60代
7. 70代
8. 80代以上

文化芸術分野の活動状況や制作環境についてお聞きします。

Q4. 現在、あなたが力を入れて取り組んでいる文化芸術活動を3つまでお答えください（※次問以降ではここでご回答いただいた「文化芸術活動」についてお答えください）。<1~3A>

1. 【文芸】小説・戯曲・随筆等
2. 【文芸】ノンフィクション・紀行・伝記等
3. 【文芸】詩歌（詩、短歌、俳句、川柳等）
4. 【文芸】評論・批評
5. 【文芸】翻訳
6. 【文芸】その他（ ）
7. 【音楽】管弦打楽器による独奏、合奏
8. 【音楽】声楽、合唱
9. 【音楽】指揮
10. 【音楽】ピアノ、エレクトーン
11. 【音楽】ポップス、歌謡曲、演歌、民謡/童謡類
12. 【音楽】ジャズ、即興音楽
13. 【音楽】HIPHOP/RAP、R&B、FUNK&SOUL、レゲエ/スカ/ロックステディ、ブラジル/ラテン
14. 【音楽】ロック/パンク/ハードコア、ミクスチャー、オルタナティブ、メタル、フォーク/BLUES
15. 【音楽】エレクトロニカ/電子音楽、EDM、ハウス&テクノ、アンビエント/ドローン、DJ
16. 【音楽】ノイズミュージック、インダストリアル、フィールドレコーディング

17. 【音楽】 舞台音楽、映像音楽、施設 BGM、CM/プロモーション音楽
18. 【音楽】 箏/琴、三味線/三線、胡弓/琵琶類、尺八/笛類、太鼓類、声明、詩吟、謡（うたい）
19. 【音楽】 民族音楽/楽器、伝統・伝承音楽/楽器、世界各地域の音楽/楽器
20. 【音楽】 キッズ/ファミリー、アニメ/特撮系、ゲーム音楽
21. 【音楽】 その他（ ）
22. 【美術】 絵画・版画
23. 【美術】 彫刻・立体造形
24. 【美術】 インスタレーション
25. 【美術】 写真
26. 【美術】 映像
27. 【美術】 パフォーマンス
28. 【美術】 アートプロジェクト
29. 【美術】 書・書道
30. 【美術】 その他（ ）
31. 【工芸】 陶芸
32. 【工芸】 ガラス
33. 【工芸】 木工
34. 【工芸】 金工
35. 【工芸】 染織
36. 【工芸】 宝飾
37. 【工芸】 人形
38. 【工芸】 その他（ ）
39. 【演劇】 現代演劇、ミュージカル、朗読劇
40. 【演劇】 人形劇
41. 【演劇】 パントマイム、大道芸
42. 【演劇】 その他（ ）
43. 【舞踊】 クラシックバレエ
44. 【舞踊】 モダンダンス
45. 【舞踊】 ジャズダンス
46. 【舞踊】 ストリートダンス
47. 【舞踊】 社交ダンス（スタンダード・ラテン）
48. 【舞踊】 フラダンス
49. 【舞踊】 ベリーダンス

50. 【舞踊】 日本舞踊
51. 【舞踊】 その他 ()
52. 【メディア芸術】 映画 (劇映画、ドラマ、ドキュメンタリー、TV 番組など)
53. 【メディア芸術】 アニメーション
54. 【メディア芸術】 漫画
55. 【メディア芸術】 デジタル技術を活用した芸術表現
56. 【メディア芸術】 その他 ()
57. 【伝統芸能】 能楽、文楽、歌舞伎、組踊
58. 【伝統芸能】 講談、落語、漫才・漫談、浪曲
59. 【伝統芸能】 その他 ()
60. 【アイヌ文化】 歌・舞踊
61. 【アイヌ文化】 口承伝承
62. 【アイヌ文化】 工芸
63. 【アイヌ文化】 手芸 (刺繍・服飾等)
64. 【アイヌ文化】 アイヌ文化全般
65. 【アイヌ文化】 その他 ()
66. 【生活文化】 手芸
67. 【生活文化】 茶道
68. 【生活文化】 華道・フラワーアレンジメント
69. 【生活文化】 食文化
70. 【生活文化】 囲碁・将棋等
71. 【生活文化】 その他 ()
72. 【デザイン・建築・ファッション】 グラフィック・イラストレーション
73. 【デザイン・建築・ファッション】 建築・インテリア
74. 【デザイン・建築・ファッション】 プロダクト・工業デザイン
75. 【デザイン・建築・ファッション】 ファッション・服飾
76. 【デザイン・建築・ファッション】 Web デザイン・UI/UX デザイン
77. 【デザイン・建築・ファッション】 デザインマネジメント (プロデュース・コンサルティング・ブランディングなど)
78. 【デザイン・建築・ファッション】 その他 ()
79. その他 ()
80. 特になし

Q5. 前問でお答えいただいた中で、現在、あなたが最も力を入れて取り組んでいる文化芸術活動をお答えください。〈SA〉

※Q4で回答した選択肢を提示。

Q6. あなたが関わっている文化芸術活動における主な役割を、優先順位の高い順に最大2つまでお答えください。〈1~2A〉

1. 創作発表（音楽や舞台芸術、映画等の出演、公演、上演、作品創作〔作曲、脚本、演出、振付〕、大道芸、写真家、舞踏家、美術やメディア芸術等の作品創作・発表、その他の創作発表）
2. 企画制作（プロデューサー、ディレクター、キュレーター、マネージャー、プロモーター、コーディネーター、中間支援、その他の企画制作）
3. 技術提供（照明技術、音響技術、舞台技術・舞台管理、道具・衣装製作、展示設営、撮影・編集・プログラミング、デザイン、調律、トレーナー、通訳・翻訳、その他の技術提供）
4. 施設運営（ホール・劇場、美術館・博物館、映画館、貸スペース、ライブハウス・クラブ、スタジオ・アトリエ、その他の施設運営）
5. 教育研究（教室等の指導者、専修学校・養成所指導者、大学・高等学校の専任教員、批評家・研究者、その他の教育研究）
6. 販売（作品販売、楽器販売、ショップ、ギャラリー、古物商、プロモーション、マネージャー）
7. サポート（ボランティア、コレクター、愛好家等）
8. その他（ ）
9. 上記の技能分野では2つに絞ることができない

Q7. あなたは、現在関わっている文化芸術活動についてどのくらいの期間活動してきましたか。〈SA〉

1. 5年未満
2. 5年～9年
3. 10年～19年
4. 20年～29年
5. 30年以上

Q8. あなたの創作、企画制作、技術提供、施設運営、教育研究の拠点（貸し稽古場、工房、スタジオ、練習室等）はどこにありますか。〈MA〉

1. 札幌市内
2. 札幌以外の道内
3. 北海道以外の国内
4. 海外

Q9. 2019年にあなたが創作、企画制作、技術提供、施設運営、教育研究を行っていた場所をお答えください。〈MA〉

1. 自宅
2. 自宅以外で所有する場所
3. 有料の賃貸施設（公立）
4. 有料の賃貸施設（民間）
5. 無償で使える施設（公立）
6. 無償で使える施設（民間）
7. その他（ ）
8. なし

Q10. 2020年にあなたが創作、企画制作、技術提供、施設運営、教育研究を行っていた場所をお答えください。〈MA〉

※選択肢はQ9と同様。
※紙調査票ではQ9とQ10は統合。

Q11. あなたが文化芸術活動の展開、作品の発表や販売を行っている場所はどこにありますか。〈MA〉

1. 札幌市内
2. 札幌以外の道内
3. 北海道以外の国内
4. 海外
5. インターネット上などの各種メディア

Q12. **2019年**にあなたが文化芸術活動の発表や作品の販売を行っていた施設・スペースをお答えください。＜MA＞

1. 劇場・ホール・美術館・ギャラリー等の文化芸術施設
2. ライブハウス・クラブ等
3. 映画館
4. 区民センター等の集会施設
5. 福祉施設・障がい者支援施設等
6. 病院等の医療施設
7. 学校等の教育施設
8. 飲食店
9. 商店街・商業施設
10. 宿泊施設
11. 公園・野外
12. 書籍・雑誌・フリーペーパー等の紙媒体
13. ラジオ・テレビ
14. ウェブ・動画配信
15. その他（ ）
16. なし

Q13. **2020年**にあなたが文化芸術活動の発表や作品の販売を行っていた施設・スペースをお答えください。＜MA＞

※選択肢は Q12 と同様。
※紙調査票では Q12、13 は統合。

Q14. **2019年**にあなたが行った文化芸術活動の発表形態をお答えください。＜MA＞

1. 公演・展覧会・上映会等
2. ワークショップ
3. レクチャー・講演会
4. その他（ ）
5. なし

Q15. 【Q14 回答により表示する選択肢を変更】2019年のそれぞれの発表等の回数をお答えください。<IN>

1. 公演・展覧会・上映会等（ ）回
2. ワークショップ（ ）回
3. レクチャー・講演会（ ）回
4. その他（ ）回

Q16. 2020年にあなたが行った文化芸術活動の発表形態をお答えください。<MA>
※選択肢は Q14 と同様。

Q17. 【Q16 回答により表示する選択肢を変更】2020年のそれぞれの発表等の回数をお答えください。<IN>

※紙調査票では Q14～Q17 は統合。

Q18. 2020年にあなたはオンラインでの発表を行いましたか。行った場合はその回数をお答えください。<SA→IN>

1. 行った（ ）回
2. 行っていない

Q19. 1週間当たり、あなたが文化芸術活動に費やした時間を、2019年と2020年についてお答えください。<IN>

- (1) 2019年 [約（ ）時間/週]
- (2) 2020年 [約（ ）時間/週]

Q20. 普段、どのような媒体で文化芸術活動の発表や、作品の販売等について情報発信していますか。<MA>

1. ホームページ・ブログ
2. メールマガジン
3. Facebook
4. Twitter
5. Instagram
6. LINE
7. TikTok
8. YouTube
9. テレビ

10. ラジオ
11. 新聞
12. ポスター・チラシ・DM 配布
13. 雑誌・フリーペーパー
14. その他（ ）
15. 特になし

Q21. あなたが札幌市から助成金や補助事業等に関する情報発信を受け取る場合、どのような媒体を望みますか。〈MA〉

1. 広報さっぽろ
2. 市の公式ホームページ
3. Facebook
4. Twitter
5. Instagram
6. LINE
7. TikTok
8. YouTube
9. テレビ
10. ラジオ
11. 新聞
12. 市の施設等へのポスター・チラシ設置
13. フリーペーパー等への掲載
14. その他（ ）
15. 特になし

Q22. あなたは文化芸術団体（法人、趣味のサークル、グループ等）に所属・参加していますか。また、所属・参加している場合、差し支えなければ、あなたが所属している文化芸術団体名をお答えください（団体名を回答したくない場合はテキストボックスには「回答しない」などのご記入下さい）。〈SA・FA〉

1. 所属・参加している→団体名（ ）
2. 所属・参加している団体はない

文化芸術活動による収入等についてお聞きします。

Q23. あなたの文化芸術活動への関わり方と文化芸術活動による収入の状況について最も近いものをお答えください。<SA>

1. 文化芸術活動を生業としており、生活の収入源のほとんどすべてである（専業）
2. 文化芸術活動を生業としており、生活の収入源の一部である（兼業）
3. 文化芸術活動を生業としたいが、生活の収入源にはなっていない（文化芸術活動ではほぼ無収入）
4. 文化芸術活動を生業とせず、生活の収入源としていない
5. その他（ ）

Q24. 【Q23 で1、2回答者のみお答えください】文化芸術活動の主な雇用形態をお答えください。<SA>

1. 個人事業主・フリーランス
2. 正社員・正職員
3. 非正規の常用雇用者（契約社員、嘱託、非常勤、パート、長期アルバイトなど）
4. 臨時雇用者（短期アルバイト、日雇など）
5. その他（ ）

Q25. 【Q23 で2、3、4、5回答者のみお答えください】文化芸術活動以外のお仕事の主な雇用形態をお答えください。<SA>

1. 個人事業主・フリーランス
2. 正社員・正職員
3. 非正規の常用雇用者（契約社員、嘱託、非常勤、パート、長期アルバイトなど）
4. 臨時雇用者（短期アルバイト、日雇など）
5. 学生
6. 無職
7. その他（ ）

Q26. 2019年のあなた個人の年間所得をお答えください（※給与所得者は給与・賞与の額〔収入〕、事業主は所得額〔必要経費を差し引いた額〕、年金受給者は年金額をお答えください。上記の複数の所得がある場合や、株・不動産等による財産所得がある場合はこれらを合算した額をお答えください）。<SA>

1. 100万円未満
2. 100～200万円未満
3. 200～300万円未満
4. 300～400万円未満
5. 400～500万円未満
6. 500～600万円未満
7. 600～700万円未満
8. 700～800万円未満
9. 800～900万円未満
10. 900～1,000万円未満
11. 1,000～1,500万円未満
12. 1,500万円以上

Q27. 2020年のあなた個人の年間所得をお答えください。<SA>

1. 100万円未満
2. 100～200万円未満
3. 200～300万円未満
4. 300～400万円未満
5. 400～500万円未満
6. 500～600万円未満
7. 600～700万円未満
8. 700～800万円未満
9. 800～900万円未満
10. 900～1,000万円未満
11. 1,000～1,500万円未満
12. 1,500万円以上

※紙調査票では Q26 と Q27 は統合。

Q28. 【Q23 で 2 回答者のみお答えください】 あなた個人の 2019 年と 2020 年の年間所得のうち、文化芸術活動による所得の額をお答えください。ない場合は 0（ゼロ）を記入してください。＜IN＞

- (1) 2019 年 [約 () 万円/年]
- (2) 2020 年 [約 () 万円/年]

Q29. あなたが 2019 年と 2020 年に文化芸術活動のために支出した金額をお答えください。ない場合は 0（ゼロ）を記入してください。＜IN＞

- (1) 2019 年 [約 () 万円/年]
- (2) 2020 年 [約 () 万円/年]

Q30. あなたが文化芸術活動を行う際の主な財源をお答えください。＜MA＞

1. チケット収入や作品の売り上げ
2. 公的・民間の助成金・補助金
3. 自治体等からの委託費
4. 企業協賛金
5. 所属会社・団体の予算
6. 出演料、講師料、振付料、作曲料、原稿料等
7. 貯金、株や家賃などの不労所得等、文化芸術活動以外の収入（給与等）等
8. 金融機関、消費者金融からの借金等
9. 配偶者、家族からの支援
10. その他 ()
11. なし

Q31. 2019 年度に個人として申請した文化芸術活動関連の助成金・補助金がありますか。＜SA＞

1. ある→申請件数 () 件
2. ない

Q32. 【Q31 で 1 回答者のみお答えください】 2019 年度に 申請した助成金・補助金のうち、採択されたのは何件ですか。＜IN＞
() 件

※紙調査票では Q31、Q32 は統合。

Q33. 2020 年度に個人として申請した文化芸術活動関連の助成金・補助金はありませんか。<MA>

1. ある（文化庁による「文化芸術活動の継続支援事業」
→申請件数（ ）件
2. ある（文化庁による「文化芸術活動の継続支援事業」以外）
→申請件数（ ）件
3. ない

Q34. 【Q33 で1回答者のみお答えください】申請した「文化芸術活動の継続支援事業」の種別（補助の形態）をお答えください。<MA>

1. A-①（標準的な取組を行うフリーランス等向け〔上限20万円〕）
2. A-②（より積極的な取組を行うフリーランス等向け〔上限150万円〕）
3. B（小規模団体向け〔上限150万円〕）
4. どれかわからない

Q35. 【Q33 で2回答者のみお答えください】2020 年度に申請した「文化芸術活動の継続支援事業」以外の助成金・補助金のうち、採択されたのは何件ですか。<IN>

（ ）件

※紙調査票では Q33、Q34、Q35 は統合。

Q36. 【Q31 で2、かつ、Q33 で3回答者のみお答えください】助成金・補助金を申請しなかった理由は何ですか。<MA>

1. 情報を知らなかった
2. 自分の活動に適した助成金・補助金がなかった
3. 申請の手続きが難しかった・面倒だった
4. 忙しくて申請する時間がなかった
5. 報告する際の提出資料が多かった
6. 助成金に興味なかった
7. 必要がなかった
8. その他（ ）
9. 特に理由はない

Q37. 文化芸術活動の資金調達のため、クラウドファンディングに取り組んだことはありますか。<SA・マトリクス>

(1) 2019年

1. ある
2. 検討したが行ったことはない
3. 検討したことはない

(2) 2020年

1. ある
2. 検討したが行ったことはない
3. 検討したことはない

文化芸術活動に関する課題についてお聞きます。

Q38. あなたが文化芸術活動をするにあたって不足している・課題だと感じていることをお答えください。<MA>

1. 【場・機会】制作や練習の場所
2. 【場・機会】インフラ・設備機器
3. 【場・機会】発表の場・機会
4. 【場・機会】専門性・技術向上のための育成プログラム
5. 【場・機会】文化芸術に関する広い学びの場・機会
6. 【場・機会】交流・出会いの場・機会
7. 【場・機会】広報・告知・情報発信の場・機会
8. 【場・機会】相談の場・機会
9. 【場・機会】収入を得るための場・機会
10. 【人材】プロデュースする人
11. 【人材】ディレクションする人
12. 【人材】マネジメントする人（広報・PR・マーケティング・営業等）
13. 【人材】賛同者・理解者
14. 【人材】経済的支援者・協力者
15. 【人材】スタッフ・一緒に活動する人
16. 【人材】後継者
17. 【人材】批評家・評論家・研究者
18. 【人材】記録・編集の専門家
19. 【人材】法律・法的問題について相談できる専門家
20. 【資金】制作や練習の資金

8. 子どもの豊かな心の育み
9. 高齢者の社会参加・交流機会の拡大
10. 障がい者の活躍の場の創出
11. 多様な価値観を理解し支えあう共生社会
12. 国際交流の促進
13. 健康の増進
14. 他の文化芸術領域・社会分野の活動との連携機会の創出
15. 政治や社会に対する問題提起
16. その他（ ）
17. 特になし・わからない

Q41. あなたが行っている文化芸術活動に関して、現在、接点・関わりのある「他の文化芸術分野」は何ですか。〈MA〉

※Q4と同じ選択肢。

80. 特になし

Q42. あなたが行っている文化芸術活動に関して、今後、接点・関わりを持ちたいと思っている「他の文化芸術分野」は何ですか。〈MA〉

※Q4と同じ選択肢。

80. 特になし

※紙調査票では Q41、Q42 は統合。

Q43. あなたが行っている文化芸術活動に関して、現在、接点・関わりのある「社会分野」は何ですか。〈MA〉

1. 観光
2. 国際交流
3. 多文化共生（在留外国人との交流等）
4. 教育
5. 医療
6. 社会的包摂
7. SDGs
8. 経済・産業
9. 障がい福祉
10. スポーツ・健康増進
11. 子育て
12. 高齢者福祉
13. まちづくり・地域コミュニティの活性化

Q47. 札幌市の文化芸術施策に求めること・期待すること、文化芸術施設の利用や、助成金・補助金に関する課題等があればお書きください。<FA>

()

これでアンケート調査は終了です。ご協力、ありがとうございました。

(2) 団体向け調査 調査票 (Web 用)

札幌市文化芸術活動実態調査 (団体・事業者向け)

- ・この調査票は団体・事業者向けです。団体・事業者の代表者またはそれに代わる方にてご回答願います。個人の方向けの調査票は[こちら](#)です。
- ・ご回答は1団体1回にてお願いします。
- ・札幌市では、文化芸術に広く関わるみなさまの具体的な現状把握や率直なご意見を集め、今後の施策の検討・実現へ反映させていくことが何より大切と考えております。ぜひご回答・ご協力いただければ幸いです。**※ご回答したくない設問は、無回答のまま進めることができます。(Q7のみ回答必須)**
- ・調査は無記名式で、調査結果は統計的に処理するため、団体・事業者、個人が特定される形で公開されることはございません。

まず、団体の基本情報をお聞きします。

Q1. 貴団体の形態をお答えください。 <SA>

1. 個人事業所
2. 株式会社・特例有限会社・相互会社
3. 合名会社・合資会社
4. 合同会社
5. 公益財団・社団法人
6. 一般財団・社団法人
7. 特定非営利活動法人
8. 学校法人
9. 宗教法人
10. 社会福祉法人・医療法人
11. 法人でない団体 (保存会、組合、協議会、任意団体)
12. その他 ()

Q2. 貴団体の事務所がある区をお答えください。事務所がない場合は団体代表者のお住まい等がある区をお答えください。 <SA>

1. 中央区
2. 北区
3. 東区
4. 白石区
5. 厚別区

6. 豊平区
7. 清田区
8. 南区
9. 西区
10. 手稲区
11. 札幌市外 ()

Q3. 貴団体を構成する方の種別をお答えください。<MA>

1. 個人事業主
2. 個人事業主の家族等で無給の人（※家族でも賃金・給与を受けている人は下記いずれかとしてください）
3. 正社員・正職員（所定労働時間で働いている人）
4. 非正規社員・非正規職員（契約社員、嘱託、非常勤、パート等）
5. 臨時雇用者（1か月未満の雇用者、日雇い等）
6. ボランティア・無給スタッフ
7. 個人会員
8. その他 ()

Q4. 【Q3回答により表示する選択肢を変更】貴団体を構成する方の種別ごとの人数を教えてください。<IN>

1. 個人事業主 () 人
2. 個人事業主の家族等で無給の人 () 人
3. 正社員・正職員（所定労働時間で働いている人）() 人
4. 非正規社員・非正規職員（契約社員、嘱託、非常勤、パート等）() 人
5. 臨時雇用者（1か月未満の雇用者、日雇い等）() 人
6. ボランティア・無給スタッフ () 人
7. 個人会員 () 人
8. その他 () 人

Q5. 差し支えなければ、貴団体の名称を教えてください（※札幌市内にどのような文化芸術団体があるか調べさせていただくためにお聞きしています。貴団体が特定される形でご回答内容を公開したり、ご回答内容によって貴団体が不利益を被ることは一切ございません）。<FA>

()

Q6. 差し支えなければ、貴団体への連絡先メールアドレスをお教えてください。本調査報告書の公開のお知らせ、その他札幌市市民文化局文化部からのご案内を差し上げるためにお聞きしています（※メールアドレスを他の用途に使用したり、他の札幌市部局に提供したりすることは一切ございません）。<FA>
()

文化芸術分野の活動状況や制作環境についてお聞きします。

Q7. 現在、貴団体が力を入れて取り組んでいる文化芸術活動を3つまでお答えください（※次問以降ではここでご回答いただいた「文化芸術活動」についてお答えください）。<1~3A>

1. 【文芸】小説・戯曲・随筆等
2. 【文芸】ノンフィクション・紀行・伝記等
3. 【文芸】詩歌（詩、短歌、俳句、川柳等）
4. 【文芸】評論・批評
5. 【文芸】翻訳
6. 【文芸】その他（)
7. 【音楽】管弦打楽器による独奏、合奏
8. 【音楽】声楽、合唱
9. 【音楽】指揮
10. 【音楽】ピアノ、エレクトーン
11. 【音楽】ポップス、歌謡曲、演歌、民謡/童謡類
12. 【音楽】ジャズ、即興音楽
13. 【音楽】HIPHOP/RAP、R&B、FUNK&SOUL、レゲエ/スカ/ロックステディ、ブラジル/ラテン
14. 【音楽】ロック/パンク/ハードコア、ミクスチャー、オルタナティブ、メタル、フォーク/BLUES
15. 【音楽】エレクトロニカ/電子音楽、EDM、ハウス&テクノ、アンビエント/ドローン、DJ
16. 【音楽】ノイズミュージック、インダストリアル、フィールドレコーディング
17. 【音楽】舞台音楽、映像音楽、施設BGM、CM/プロモーション音楽
18. 【音楽】箏/琴、三味線/三線、胡弓/琵琶類、尺八/笛類、太鼓類、声明、詩吟、謡（うたい）
19. 【音楽】民族音楽/楽器、伝統・伝承音楽/楽器、世界各地域の音楽/楽器

20. 【音楽】 キッズ/ファミリー、アニメ/特撮系、ゲーム音楽
21. 【音楽】 その他 ()
22. 【美術】 絵画・版画
23. 【美術】 彫刻・立体造形
24. 【美術】 インスタレーション
25. 【美術】 写真
26. 【美術】 映像
27. 【美術】 パフォーマンス
28. 【美術】 アートプロジェクト
29. 【美術】 書・書道
30. 【美術】 その他 ()
31. 【工芸】 陶芸
32. 【工芸】 ガラス
33. 【工芸】 木工
34. 【工芸】 金工
35. 【工芸】 染織
36. 【工芸】 宝飾
37. 【工芸】 人形
38. 【工芸】 その他 ()
39. 【演劇】 現代演劇、ミュージカル、朗読劇
40. 【演劇】 人形劇
41. 【演劇】 パントマイム、大道芸
42. 【演劇】 その他 ()
43. 【舞踊】 クラシックバレエ
44. 【舞踊】 モダンダンス
45. 【舞踊】 ジャズダンス
46. 【舞踊】 ストリートダンス
47. 【舞踊】 社交ダンス (スタンダード・ラテン)
48. 【舞踊】 フラダンス
49. 【舞踊】 ベリーダンス
50. 【舞踊】 日本舞踊
51. 【舞踊】 その他 ()
52. 【メディア芸術】 映画 (劇映画、ドラマ、ドキュメンタリー、TV 番組など)
53. 【メディア芸術】 アニメーション

54. 【メディア芸術】 漫画
55. 【メディア芸術】 デジタル技術を活用した芸術表現
56. 【メディア芸術】 その他 ()
57. 【伝統芸能】 能楽、文楽、歌舞伎、組踊
58. 【伝統芸能】 講談、落語、漫才・漫談、浪曲
59. 【伝統芸能】 その他 ()
60. 【アイヌ文化】 歌・舞踊
61. 【アイヌ文化】 口承伝承
62. 【アイヌ文化】 工芸
63. 【アイヌ文化】 手芸(刺繍・服飾等)
64. 【アイヌ文化】 アイヌ文化全般
65. 【アイヌ文化】 その他 ()
66. 【生活文化】 手芸
67. 【生活文化】 茶道
68. 【生活文化】 華道・フラワーアレンジメント
69. 【生活文化】 食文化
70. 【生活文化】 囲碁・将棋等
71. 【生活文化】 その他 ()
72. 【デザイン・建築・ファッション】 グラフィック・イラストレーション
73. 【デザイン・建築・ファッション】 建築・インテリア
74. 【デザイン・建築・ファッション】 プロダクト・工業デザイン
75. 【デザイン・建築・ファッション】 ファッション・服飾
76. 【デザイン・建築・ファッション】 Web デザイン・UI/UX デザイン
77. 【デザイン・建築・ファッション】 デザインマネジメント(プロデュース・コンサルティング・ブランディングなど)
78. 【デザイン・建築・ファッション】 その他 ()
79. その他 ()
80. 特になし

Q8. 前問でお答えいただいた中で、現在、貴団体が最も力を入れて取り組んでいる文化芸術活動をお答えください。<SA>

※Q7で回答した選択肢を提示。

Q9. 貴団体の文化芸術活動における主な役割を、優先順位の高い順に最大2つまでお答えください。<1~2A>

1. 創作発表（音楽や舞台芸術、映画等の出演、公演、上演、作品創作〔作曲、脚本、演出、振付〕、大道芸、写真家、舞踏家、美術やメディア芸術等の作品創作・発表、その他の創作発表）
2. 企画制作（プロデューサー、ディレクター、キュレーター、マネージャー、プロモーター、コーディネーター、中間支援、その他の企画制作）
3. 技術提供（照明技術、音響技術、舞台技術・舞台管理、道具・衣装製作、展示設営、撮影・編集・プログラミング、デザイン、調律、トレーナー、通訳・翻訳、その他の技術提供）
4. 施設運営（ホール・劇場、美術館・博物館、映画館、貸スペース、ライブハウス・クラブ、スタジオ・アトリエ、その他の施設運営）
5. 教育研究（教室等の指導者、専修学校・養成所指導者、大学・高等学校の専任教員、批評家・研究者、その他の教育研究）
6. 販売（作品販売、楽器販売、ショップ、ギャラリー、古物商、プロモーション、マネージャー）
7. サポート（ボランティア、コレクター、愛好家等）
8. その他（ ）
9. 上記の技能分野では2つに絞ることができない

Q10. 貴団体は、現在関わっている文化芸術活動についてどのくらいの期間活動してきましたか。<SA>

1. 5年未満
2. 5年～9年
3. 10年～19年
4. 20年～29年
5. 30年以上

Q11. 貴団体の創作、企画制作、技術提供、施設運営、教育研究の拠点（貸し稽古場、工房、スタジオ、練習室等）はどこにありますか。<MA>

1. 札幌市内
2. 札幌以外の道内
3. 北海道以外の国内
4. 海外

Q12. 2019年に貴団体が文化芸術活動の制作・練習、企画構想を行っていた場所をお答えください。〈MA〉

1. 団体が所有する事務所・工房・スペース
2. 団体が賃貸する事務所・工房・スペース
3. 代表者や主要メンバーの自宅
4. 有料の賃貸施設（公立）
5. 有料の賃貸施設（民間）
6. 無償で使える施設（公立）
7. 無償で使える施設（民間）
8. その他（ ）
9. なし

Q13. 2020年に貴団体が文化芸術活動の制作・練習、企画構想を行っていた場所をお答えください。〈MA〉

※選択肢は Q12 と同様。

※紙調査票では Q12 と Q13 は統合。

Q14. 貴団体が文化芸術活動の展開、作品の発表や販売を行っている場所はどこにありますか。〈MA〉

1. 札幌市内
2. 札幌以外の道内
3. 北海道以外の国内
4. 海外
5. インターネット上などの各種メディア

Q15. 2019年に貴団体が文化芸術活動の発表や作品の販売を行っていた施設・スペースをお答えください。〈MA〉

1. 劇場・ホール・美術館・ギャラリー等の文化芸術施設
2. ライブハウス・クラブ等
3. 映画館
4. 区民センター等の集会施設
5. 福祉施設・障がい者支援施設等
6. 病院等の医療施設
7. 学校等の教育施設
8. 飲食店

9. 商店街・商業施設
10. 宿泊施設
11. 公園・野外
12. 書籍・雑誌・フリーペーパー等の紙媒体
13. ラジオ・テレビ
14. ウェブ・動画配信
15. その他（ ）
16. なし

Q16. **2020年**に貴団体が文化芸術活動の発表や作品の販売を行っていた施設・スペースをお答えください。<MA>

※選択肢は Q15 と同様。

※紙調査票では Q15、Q16 は統合。

Q17. **2019年**に貴団体が行った文化芸術活動の発表形態をお答えください。<MA>

1. 公演・展覧会・上映会等
2. ワークショップ
3. レクチャー・講演会
4. その他（ ）
5. なし

Q18. 【Q17回答により表示する選択肢を変更】 **2019年**のそれぞれの発表等の回数をお答えください。<IN>

1. 公演・展覧会・上映会等（ ）回
2. ワークショップ（ ）回
3. レクチャー・講演会（ ）回
4. その他（ ）回

Q19. **2020年**に貴団体が行った文化芸術活動の発表形態をお答えください。<MA>

※選択肢は Q17 と同様。

Q20. 【Q19回答により表示する選択肢を変更】2020年のそれぞれの発表等の回数をお答えください。<IN>

※紙調査票では Q17～Q20 は統合。

Q21. 2020年に貴団体はオンラインでの発表を行いましたか。行った場合はその回数をお答えください。<SA→IN>

1. 行った（ ）回
2. 行っていない

Q22. 1週間当たり、貴団体が文化芸術活動に関わった時間を、2019年と2020年についてお答えください。<IN>

- (1) 2019年 [約（ ）時間/週]
- (2) 2020年 [約（ ）時間/週]

Q23. 普段、どのような媒体で文化芸術活動の発表や、作品の販売等について情報発信していますか。<MA>

1. ホームページ・ブログ
2. メールマガジン
3. Facebook
4. Twitter
5. Instagram
6. LINE
7. TikTok
8. YouTube
9. テレビ
10. ラジオ
11. 新聞
12. ポスター・チラシ・DM 配布
13. 雑誌・フリーペーパー
14. その他（ ）
15. 特になし

Q24. 貴団体が札幌市から助成金や補助事業等に関する情報発信を受け取る場合、どのような媒体を望みますか。<MA>

1. 広報さっぽろ
2. 市の公式ホームページ
3. Facebook
4. Twitter
5. Instagram
6. LINE
7. TikTok
8. YouTube
9. テレビ
10. ラジオ
11. 新聞
12. 市の施設等へのポスター・チラシ設置
13. フリーペーパー等への掲載
14. その他（ ）
15. 特になし

文化芸術活動による収入等についてお聞きします。

Q25. 貴団体の 2019 年と 2020 年における文化芸術活動による収入・売上の額をお答えください。ない場合は 0（ゼロ）を記入してください。<IN>

- (1) 2019 年 [約（ ）万円/年]
- (2) 2020 年 [約（ ）万円/年]

Q26. 貴団体が 2019 年と 2020 年に文化芸術活動のために支出した金額（経費）をお答えください。ない場合は 0（ゼロ）を記入してください。<IN>

- (1) 2019 年 [約（ ）万円/年]
- (2) 2020 年 [約（ ）万円/年]

※紙調査票では Q25、Q26 は統合。

Q27. 貴団体が文化芸術活動を行う際の主な財源をお答えください。<MA>

1. チケット収入や作品の売り上げ
2. 公的・民間の助成金・補助金
3. 自治体等からの委託費
4. 企業協賛金
5. 文化芸術活動以外の事業収入（貯金、家賃などの不労所得を含む）
6. 出演料、講師料、振付料、作曲料、原稿料等
7. 金融機関、消費者金融からの借金等
8. 構成員からの会費
9. 代表者や主要メンバーの自己負担
10. その他（ ）
11. なし

Q28. 2019年度に、団体として申請した文化芸術活動関連の助成金・補助金がありますか。<SA>

1. ある→申請件数（ ）件
2. ない

Q29. 【Q28で1回答者のみお答えください】2019年度に申請した助成金・補助金のうち、採択されたのは何件ですか。<IN>
（ ）件

Q30. 2020年度に、団体として申請した文化芸術活動関連の助成金・補助金がありますか。<SA>

1. ある→申請件数（ ）件
2. ない

Q31. 【Q30で1回答者のみお答えください】2020年度に申請した助成金・補助金のうち、採択されたのは何件ですか。<IN>
（ ）件

Q32. 【Q30 で1回答者のみお答えください】文化庁による「文化芸術活動の継続支援事業」B（小規模団体向け〔上限150万円〕）の申請の有無についてお答えください。<SA>

1. 申請した
2. 申請していない

Q33. 【Q28 で2、かつ、Q30 で2回答者のみお答えください】助成金・補助金を申請しなかった理由はなんですか。<MA>

1. 情報を知らなかった
2. 当団体の活動に適した助成金・補助金がなかった
3. 申請の手続きが難しかった・面倒だった
4. 忙しくて申請する時間がなかった
5. 報告する際の提出資料が多かった
6. 助成金に興味がなかった
7. 必要がなかった
8. その他（ ）
9. 特に理由はない

Q34. 貴団体は、文化芸術活動の資金調達のため、クラウドファンディングに取り組んだことはありますか。<SA・マトリクス>

(1) 2019年

1. ある
2. 検討したが行ったことはない
3. 検討したことはない

(2) 2020年

1. ある
2. 検討したが行ったことはない
3. 検討したことはない

文化芸術活動に関する課題についてお聞きします。

Q35. 貴団体が文化芸術活動を行うに当たって、不足している・課題だと感じていることをお答えください。<MA>

1. 【場・機会】制作や練習の場所
2. 【場・機会】インフラ・設備機器
3. 【場・機会】発表の場・機会
4. 【場・機会】専門性・技術向上のための育成プログラム
5. 【場・機会】文化芸術に関する広い学びの場・機会
6. 【場・機会】交流・出会いの場・機会
7. 【場・機会】広報・告知・情報発信の場・機会
8. 【場・機会】相談の場・機会
9. 【場・機会】収入を得るための場・機会
10. 【人材】プロデュースする人
11. 【人材】ディレクションする人
12. 【人材】マネジメントする人（広報・PR・マーケティング・営業等）
13. 【人材】賛同者・理解者
14. 【人材】経済的支援者・協力者
15. 【人材】スタッフ・一緒に活動する人
16. 【人材】後継者
17. 【人材】批評家・評論家・研究者
18. 【人材】記録・編集の専門家
19. 【人材】法律・法的問題について相談できる専門家
20. 【資金】制作や練習の資金
21. 【資金】発表の資金
22. 【資金】PR や広報の資金
23. 【資金】日常的な活動経費（材料費、人件費、旅費、場所の使用料・賃料、管理費等）
24. 【資金】リサーチ・公演や制作方法の検討・準備の経費
25. 【資金】スキルアップ（研修・交流含む）の経費
26. 【資金】設備・機材等の投資資金
27. 【資金】記録・アーカイブの作成費
28. 【コロナ関連】感染予防に関する知識・ノウハウ、ガイドライン提示
29. 【コロナ関連】感染予防のための設備・用品
30. 【コロナ関連】文化芸術関連の感染症対策専門家

31. その他（ ）
32. 困っていることはない

文化芸術活動に対する意識等についてお聞きします。

Q36. 貴団体が文化芸術活動を続けている・行っている理由はなんですか。〈MA〉

1. 趣味や余暇活動の充実、生き甲斐の創出
2. アイデンティティの形成や自己肯定感の向上
3. 自己表現及びコミュニケーション能力の拡大
4. 人との交流、相互理解や関係を築く
5. 経済活動として取り組んでいる
6. 日常生活に新たな視点をもたらされる
7. その他（ ）
8. 特に理由はない

Q37. 文化芸術が社会にもたらす効果として、どのようなことを期待しますか。〈MA〉

1. 地域社会・経済の活性化
2. 新産業の創出
3. 人々が生きる楽しみを見出せる
4. 地域への愛着を育むこと、コミュニティ再生
5. 地域のイメージの向上
6. 観光客の増加
7. 人々の創造性の向上
8. 子どもの豊かな心の育み
9. 高齢者の社会参加・交流機会の拡大
10. 障がい者の活躍の場の創出
11. 多様な価値観を理解し支えあう共生社会
12. 国際交流の促進
13. 健康の増進
14. 他の文化芸術領域・社会分野の活動との連携機会の創出
15. 政治や社会に対する問題提起
16. その他（ ）
17. 特にない・わからない

Q38. 貴団体が行っている文化芸術活動に関して、現在、接点・関わりのある「他の文化芸術分野」は何ですか。〈MA〉

※Q7と同じ選択肢。

Q39. 貴団体が行っている文化芸術活動に関して、今後、接点・関わりを持ちたいと思っている「他の文化芸術分野」は何ですか。〈MA〉

※Q7と同じ選択肢。

※紙調査票では Q38、Q39 は統合。

Q40. 貴団体が行っている文化芸術活動に関して、現在、接点・関わりのある「社会分野」は何ですか。〈MA〉

1. 観光
2. 国際交流
3. 多文化共生（在留外国人との交流等）
4. 教育
5. 医療
6. 社会的包摂
7. SDGs
8. 経済・産業
9. 障がい福祉
10. スポーツ・健康増進
11. 子育て
12. 高齢者福祉
13. まちづくり・地域コミュニティの活性化
14. 環境
15. IT
16. ゲーム関連
17. 農業
18. 林業
19. 水産業
20. 食
21. 報道・言論
22. その他（ ）
23. 特になし

Q41. 貴団体が行っている文化芸術活動に関して、今後、接点・関わりを持ちたいと
思っている「社会分野」は何ですか。 <MA>

※Q40と同じ選択肢。

※紙調査票ではQ40、Q41は統合。

Q42. 【Q39、Q41で「今後、『他の文化芸術分野』『社会分野』と接点・関わりを持ち
たい」と回答した団体・事業者にお聞きします】今後、「他の文化芸術分野」「社
会分野」と接点・関わりを持ってやってみたいことはどのようなことですか。 <
FA>

()

Q43. 貴団体にとって、異なる文化芸術分野間の連携や、文化芸術と社会分野の連携
を推進していくために、どのような課題があると思いますか。 <MA>

1. コーディネーター（繋ぐ人、導く人など）がない
2. 連携のための助成金・補助金がない
3. 異分野間をつなぐ仕組みがない
4. 他分野の情報や知り合いがない
5. 連携のためのアイデアがない
6. 可能性を感じるが行動の仕方がわからない
7. 自団体の分野の活動に手一杯で、他分野と連携する余裕がない
8. その他 ()
9. 特に課題はない

Q44. 札幌市の文化芸術施策に求めること・期待すること、文化芸術施設の利用や、
助成金・補助金に関する課題等があればお書きください。 <FA>

()

これでアンケート調査は終了です。ご協力、ありがとうございました。

(3) 個人向け調査 調査票

札幌の 文化芸術の リアルを、 できるだけ リアルに。今。

仕事にしている人も、趣味で楽しんでいる人も。表現者本人も、表現を支える立場の人も。このまちで文化芸術活動に携わる人々は今、何をしていた、何に困っていて、何をしたいと考えているのか。まずはリアルな情報を集めることから始めます。札幌の文化芸術のために今、未来に必ずつながる、今。

個人向け

札幌市文化芸術活動実態調査

回答期間 2021年1月29日(金)～2月16日(火)

札幌市文化芸術活動実態調査 調査票（個人の方向け）

札幌で文芸、音楽、美術、工芸、演劇、舞踊、メディア芸術、伝統芸能、アイヌ文化、生活文化、デザイン、建築、ファッションなどの文化芸術活動に携わる皆さまへ

札幌市では、文化芸術活動に関わる方々が新型コロナウイルス感染症の影響を受けていることも踏まえて、文化芸術活動に携わられている方々の現状、課題及びニーズ等の実態を幅広く把握するためのアンケート調査を実施します。

調査結果は、札幌市が設置する「札幌文化芸術未来会議」等で、より効果的な短期及び中長期の文化芸術施策を検討するための基礎資料として活用します。また、調査結果報告書は、令和3年度以降、以下に示すウェブページで公開する予定です。

趣旨をご理解いただき、ご回答に協力いただきますよう、お願いします。

■この調査票の対象者

- 個人向け調査の対象は、札幌市に在住又は札幌市を主な活動の場として、文化芸術活動を行っている方です。

○文化芸術の直接的な表現者及び、それを支える人々（制作、プロデューサー、アートマネージャー、コーディネーター、テクニカルスタッフ等）
○施設（劇場、ギャラリー、ライブハウス等）で働く方々など、幅広い文化芸術の担い手
○文化芸術のサークル、ボランティア、ファンクラブ等に参加している方 など

※文化芸術活動を行っている団体・事業者の代表者等でご協力いただける方は「団体・事業者向け調査」にもご協力をお願いします。「団体・事業者向け調査」については「調査票（団体・事業者向け）」または「■返送方法」に示すウェブページをご覧ください。

■回答締切は 2021 年（令和 3 年） 2 月 16 日（火）（消印有効）です。

■返送方法

- 3 ページ目以降を、FAX または郵送にて下記までお送りください。

FAX : 011-232-4918（株式会社ノーザンクロス）
郵送：〒060-0041 札幌市中央区大通東 2 丁目 3 番地 1 第 36 桂和ビル 7 階
株式会社ノーザンクロス 札幌市文化芸術活動実態調査係

- ウェブフォーム、Eメールでのご回答も可能です。詳しくは下記をご覧ください。

<http://www.city.sapporo.jp/shimin/bunka/entaku/2021tyousa.html>

札幌市文化芸術活動実態調査

検索



■その他、ご回答に当たって

- ご回答は1人1回にてお願いします。
- ご回答は、選択式の設問では当てはまる番号に○印をつけてください。記述式の設問では（括弧）内に回答内容をご記入ください。
- 札幌市では、文化芸術に広く関わるみなさまの具体的な現状把握や率直なご意見を集め、今後の施策の検討・実現へ反映させていくことが何より大切と考えております。ぜひご回答・ご協力いただければ幸いです。

※ご回答したくない設問は、無回答のまま進めることができます。

- 調査は無記名式で、調査結果は統計的に処理するため、個人が特定される形で公開されることはございません。

■アンケート調査に関するお問合せ先

【調査業務受託者・調査票返送先】株式会社ノーザンクロス

- 担当：井上、島崎
- 電話：011-232-3661（※電話受付は平日9：00～18：00まで。なお、ノーザンクロスは新型コロナウイルスの感染拡大を踏まえ在宅勤務を取り入れています。担当者からの折返し電話となる可能性もございます。ご了承ください）
- FAX：011-232-4918
- Eメール：bunkajittai@northerncross.co.jp

次のページからアンケートが始まります。

【調査実施者】札幌市市民文化局文化部文化振興課

〒060-0001 札幌市中央区北1条西2丁目
札幌時計台ビル10階
電話：011-211-2261



さっぽろ市
05-005-20-2089
R2-5-40

まず、あなたの基本情報をお聞きます。

Q1. あなたの性別をお答えください。(○は1つだけ)

1. 男性 2. 女性 3. その他

Q2. お住まいの区をお答えください。(○は1つだけ)

1. 中央区 2. 北区 3. 東区 4. 白石区 5. 厚別区 6. 豊平区
7. 清田区 8. 南区 9. 西区 10. 手稲区 11. 札幌市外()

Q3. 年齢をお答えください。(○は1つだけ)

1. 10代 2. 20代 3. 30代 4. 40代 5. 50代 6. 60代
7. 70代 8. 80代以上

文化芸術分野の活動状況や制作環境についてお聞きます。

Q4. 現在、あなたが力を入れて取り組んでいる文化芸術活動について3つまでお答えください。また、それらの中で、現在、あなたが最も力を入れて取り組んでいるものをお答えください。なお、次問以降ではここでご回答いただいた「文化芸術活動」についてお答えください。

(1) 力を入れて取り組んでいる文化芸術活動
(下表から数字を3つまで記入)
(, ,)

(2) 中でも最も力を入れて取り組んでいる文化芸術活動((1)から数字を1つだけ記入)()

【文 芸】	1. 小説・戯曲・随筆等	2. ノンフィクション・紀行・伝記等
	3. 詩歌(詩、短歌、俳句、川柳等)	
	4. 評論・批評	5. 翻訳
	6. その他()	
【音 楽】	7. 管弦打楽器による独奏、合奏	8. 声楽、合唱
	9. 指揮	10. ピアノ、エレクトーン
	11. ポップス、歌謡曲、演歌、民謡/童謡類	12. ジャズ、即興音楽
	13. HIPHOP/RAP、R&B、FUNK&SOUL、レゲエ/スカ/ロックステディ、ブラジル/ラテン	
	14. ロック/パンク/ハードコア、ミクスチャー、オルタナティブ、メタル、フォーク/BLUES	
	15. エレクトロニカ/電子音楽、EDM、ハウス&テクノ、アンビエント/ドローン、DJ	
	16. ノイズミュージック、インダストリアル、フィールドレコーディング	
	17. 舞台音楽、映像音楽、施設BGM、CM/プロモーション音楽	
	18. 箏/琴、三味線/三線、胡弓/琵琶類、尺八/笛類、太鼓類、声明、詩吟、謡(うたい)	
	19. 民族音楽/楽器、伝統・伝承音楽/楽器、世界各地域の音楽/楽器	
	20. キッズ/ファミリー、アニメ/特撮系、ゲーム音楽	
	21. その他()	

(※表は次頁に続きます)

(※表は前頁からの続きです)

【美術】	22. 絵画・版画 24. インスタレーション 26. 映像 28. アートプロジェクト 30. その他 ()	23. 彫刻・立体造形 25. 写真 27. パフォーマンス 29. 書・書道
【工芸】	31. 陶芸 36. 宝飾 38. その他 ()	32. ガラス 37. 人形 33. 木工 34. 金工 35. 染織
【演劇】	39. 現代演劇、ミュージカル、朗読劇 41. パントマイム、大道芸 42. その他 ()	40. 人形劇
【舞踊】	43. クラシックバレエ 46. ストリートダンス 48. フラダンス 51. その他 ()	44. モダンダンス 47. 社交ダンス (スタンダード・ラテン) 49. バリィダンス 50. 日本舞踊
【メディア芸術】	52. 映画 (劇映画、ドラマ、ドキュメンタリー、TV 番組など) 53. アニメーション 55. デジタル技術を活用した芸術表現 56. その他 ()	54. 漫画
【伝統芸能】	57. 能楽、文楽、歌舞伎、組踊 59. その他 ()	58. 講談、落語、漫才・漫談、浪曲
【民芸】	60. 歌・舞踊 63. 手芸 (刺繍・服飾等) 65. その他 ()	61. 口承伝承 62. 工芸 64. アイヌ文化全般
【生活文化】	66. 手芸 69. 食文化 71. その他 ()	67. 茶道 70. 囲碁・将棋等 68. 華道・フラワーアレンジメント
【デザイン・ファッション・建築】	72. グラフィック・イラストレーション 73. 建築・インテリア 75. ファッション・服飾 77. デザインマネジメント (プロデュース・コンサルティング・ブランディングなど) 78. その他 ()	74. プロダクト・工業デザイン 76. Web デザイン・UI/UX デザイン
	79. その他 ()	
	80. 特になし	

Q14. 普段、どのような媒体で文化芸術活動の発表や、作品の販売等について情報発信していますか。(○はいくつでも)

- | | | |
|----------------|--------------|--------------------|
| 1. ホームページ・ブログ | 2. メールマガジン | 3. Facebook |
| 4. Twitter | 5. Instagram | 6. LINE |
| 7. TikTok | 8. YouTube | 9. テレビ |
| 10. ラジオ | 11. 新聞 | 12. ポスター・チラシ・DM 配布 |
| 13. 雑誌・フリーペーパー | 14. その他 () | |
| 15. 特になし | | |

Q15. あなたが札幌市から助成金や補助事業等に関する情報発信を受け取る場合、どのような媒体を望みますか。(○はいくつでも)

- | | | |
|-----------------------|------------------|-------------|
| 1. 広報さっぽろ | 2. 市の公式ホームページ | 3. Facebook |
| 4. Twitter | 5. Instagram | 6. LINE |
| 7. TikTok | 8. YouTube | 9. テレビ |
| 10. ラジオ | 11. 新聞 | |
| 12. 市の施設等へのポスター・チラシ設置 | 13. フリーペーパー等への掲載 | |
| 14. その他 () | | |
| 15. 特になし | | |

Q16. あなたは文化芸術団体（法人、趣味のサークル、グループ等）に所属・参加していますか。また、所属・参加している場合、差し支えなければ、あなたが所属している文化芸術団体名をお答えください。(○は1つだけ)

- | | |
|----------------------|--|
| 1. 所属・参加している→団体名 () | |
| 2. 所属・参加している団体はない | |

文化芸術活動による収入等についてお聞きします。

Q17. あなたの文化芸術活動への関わり方と文化芸術活動による収入の状況について最も近いものをお答えください。(○は1つだけ)

1. 文化芸術活動を生業としており、生活の収入源のほとんどすべてである（専業）
2. 文化芸術活動を生業としており、生活の収入源の一部である（兼業）
3. 文化芸術活動を生業としたいが、生活の収入源にはなっていない（文化芸術活動ではほぼ無収入）
4. 文化芸術活動を生業とせず、生活の収入源としていない
5. その他 ()

Q26. 【2019 年度、2020 年度に文化芸術活動関連の助成金・補助金を申請しなかった方のみお答えください】 助成金・補助金を申請しなかった理由はなんですか。

(○はいくつでも)

1. 情報を知らなかった
2. 自分の活動に適した助成金・補助金がなかった
3. 申請の手続きが難しかった・面倒だった
4. 忙しくて申請する時間がなかった
5. 報告する際の提出資料が多かった
6. 助成金に興味がなかった
7. 必要がなかった
8. その他 ()
9. 特に理由はない

Q27. 文化芸術活動の資金調達のため、クラウドファンディングに取り組んだことはありますか。2019 年、2020 年それぞれについてお答えください。(○はそれぞれ 1 つだけ)

(1) 2019 年

1. ある
2. 検討したが行ったことはない
3. 検討したことはない

(2) 2020 年

1. ある
2. 検討したが行ったことはない
3. 検討したことはない

文化芸術活動に関する課題についてお聞きします。

Q28. あなたが文化芸術活動をするにあたって不足している・課題だと感じていることをお答えください。(○はいくつでも)

【場・機会】	1. 制作や練習の場所 2. インフラ・設備機器 3. 発表の場・機会 4. 専門性・技術向上のための育成プログラム 5. 文化芸術に関する広い学びの場・機会 6. 交流・出会いの場・機会 7. 広報・告知・情報発信の場・機会 8. 相談の場・機会 9. 収入を得るための場・機会
【人材】	10. プロデュースする人 11. ディレクションする人 12. マネジメントする人 (広報・PR・マーケティング・営業等) 13. 賛同者・理解者 14. 経済的支援者・協力者 15. スタッフ・一緒に活動する人 16. 後継者 17. 批評家・評論家・研究者 18. 記録・編集の専門家 19. 法律・法的問題について相談できる専門家

(※表は次頁に続きます)

(※表は前頁からの続きです)

【資金】	20. 制作や練習の資金	21. 発表の資金
	22. PR や広報の資金	
	23. 日常的な活動経費（材料費、人件費、旅費、場所の使用料・賃料、管理費等）	
	24. リサーチ・公演や制作方法の検討・準備の経費	
	25. スキルアップ（研修・交流含む）の経費	
【コロナ 関連】	26. 設備・機材等の投資資金	27. 記録・アーカイブの作成費
	28. 感染予防に関する知識・ノウハウ、ガイドライン提示	
	29. 感染予防のための設備・用品	
	30. 文化芸術関連の感染症対策専門家	
	31. その他（ ）	
	32. 困っていることはない	

文化芸術活動に対する意識等についてお聞きします。

Q29. あなたが文化芸術活動を続けている・行っている理由はなんですか。(○はいくつでも)

1. 趣味や余暇活動の充実、生き甲斐の創出
2. アイデンティティの形成や自己肯定感の向上
3. 自己表現及びコミュニケーション能力の拡大
4. 人との交流、相互理解や関係を築く
5. 収入や就労など、経済的な活動につながる
6. 日常生活に新たな視点をもたらされる
7. その他（ ）
8. 特に理由はない

Q30. あなたは、文化芸術が社会にもたらす効果として、どのようなことを期待しますか。(○はいくつでも)

1. 地域社会・経済の活性化
2. 新産業の創出
3. 人々が生きる楽しみを見出せる
4. 地域への愛着を育むこと、コミュニティ再生
5. 地域のイメージの向上
6. 観光客の増加
7. 人々の創造性の向上
8. 子どもの豊かな心の育み
9. 高齢者の社会参加・交流機会の拡大
10. 障がい者の活躍の場の創出
11. 多様な価値観を理解し支え合う共生社会
12. 国際交流の促進
13. 健康の増進
14. 他の文化芸術領域・社会分野の活動との連携機会の創出
15. 政治や社会に対する問題提起
16. その他（ ）
17. 特にない・わからない

Q31. あなたが行っている文化芸術活動に関して、現在、接点・関わりのある「他の文化芸術分野」は何ですか。また、今後、接点・関わりを持ちたいと思っている「他の文化芸術分野」は何ですか。3～4頁のQ4の表から数字を選んでご記入ください。（記入はいくつでも）

(1) 現在、接点・関わりのある「他の文化芸術分野」

()

(2) 今後、接点・関わりを持ちたいと思っている「他の文化芸術分野」

()

Q32. あなたが行っている文化芸術活動に関して、現在、接点・関わりのある「社会分野」は何ですか。また、今後、接点・関わりを持ちたいと思っている「社会分野」は何ですか。（記入はそれぞれいくつでも）

(1) 現在、接点・関わりのある「社会分野」

()

(2) 今後、接点・関わりを持ちたいと思っている「社会分野」

()

- | | |
|------------------------|---------------|
| 1. 観光 | 2. 国際交流 |
| 3. 多文化共生（在留外国人との交流等） | 4. 教育 |
| 5. 医療 | 6. 社会的包摂 |
| 7. SDGs | 8. 経済・産業 |
| 9. 障がい福祉 | 10. スポーツ・健康増進 |
| 11. 子育て | 12. 高齢者福祉 |
| 13. まちづくり・地域コミュニティの活性化 | 14. 環境 |
| 15. IT | 16. ゲーム関連 |
| 17. 農業 | 18. 林業 |
| 19. 水産業 | 20. 食 |
| 21. 報道・言論 | |
| 22. その他 () | |
| 23. 特になし | |

(4) 団体向け調査 調査票

札幌の 文化芸術の リアルを、 できるだけ リアルに。今。

仕事にしている人も、趣味で楽しんでいる人も。表現者本人も、表現を支える立場の人も。このまちで文化芸術活動に携わる人々は今、何をしていた、何に困っていて、何をしたいと考えているのか。まずはリアルな情報を集めることから始めます。札幌の文化芸術のために今、未来に必ずつながる、今。

団体向け

札幌市文化芸術活動実態調査

回答期間 2021年1月29日(金)～2月16日(火)

札幌市文化芸術活動実態調査 調査票（団体・事業者向け）

札幌で文芸、音楽、美術、工芸、演劇、舞踊、メディア芸術、伝統芸能、アイヌ文化、生活文化、デザイン、建築、ファッションなどの文化芸術活動に携わる皆さまへ

札幌市では、文化芸術活動に関わる方々が新型コロナウイルス感染症の影響を受けていることも踏まえて、文化芸術活動に携わられている方々の現状、課題及びニーズ等の実態を幅広く把握するためのアンケート調査を実施します。

調査結果は、札幌市が設置する「札幌文化芸術未来会議」等で、より効果的な短期及び中長期の文化芸術施策を検討するための基礎資料として活用します。また、調査結果報告書は、令和3年度以降、以下に示すウェブページで公開する予定です。

趣旨をご理解いただき、ご回答に協力いただきますよう、お願いします。

■この調査票の対象者

- ・団体・事業者向け調査の対象は、札幌市を主な活動の場として、文化芸術活動を行っている団体・事業者です。代表者またはそれに代わる方がご回答ください。
 - ・法人／任意団体・グループ、営利／非営利、活動場所が事務所等／自宅などの別は問いません。文化芸術活動を継続的に行っている団体であればお答えいただけます。
- ※文化芸術活動を行っている個人の方向け調査も行っておりますので、ご協力をお願いします。「個人の方向け調査」については「調査票（個人の方向け）」または「■返送方法」に示すウェブページをご覧ください。

■回答締切は **2021年（令和3年）2月16日（火）**（消印有効）です。

■返送方法

- ・3ページ目以降を、FAXまたは郵送にて下記までお送りください。

FAX：011-232-4918（株式会社ノーザンクロス）

郵送：〒060-0041 札幌市中央区大通東2丁目3番地1第36桂和ビル7階
株式会社ノーザンクロス 札幌市文化芸術活動実態調査係

- ・ウェブフォーム、Eメールでのご回答も可能です。詳しくは下記をご覧ください。

<http://www.city.sapporo.jp/shimin/bunka/entaku/2021tyousa.html>

札幌市文化芸術活動実態調査

検索



■その他、ご回答に当たって

- ご回答は 1 団体・事業者につき 1 回にてお願いします。
- ご回答は、選択式の設問では当てはまる番号に○印をつけてください。記述式の設問では（括弧）内に回答内容をご記入ください。
- 札幌市では、文化芸術に広く関わるみなさまの具体的な現状把握や率直なご意見を集め、今後の施策の検討・実現へ反映させていくことが何より大切と考えております。ぜひご回答・ご協力いただければ幸いです。

※ご回答したくない設問は、無回答のまま進めることができます。

- 調査は無記名式で、調査結果は統計的に処理するため、団体・事業者、個人が特定される形で公開されることはありません。

■アンケート調査に関するお問合せ先

【調査業務受託者・調査票返送先】株式会社ノーザンクロス

- 担当：井上、島崎
- 電話：011-232-3661（※電話受付は平日 9：00～18：00 まで。なお、ノーザンクロスは新型コロナウイルスの感染拡大を踏まえ在宅勤務を取り入れています。担当者からの折返し電話となる可能性もございます。ご了承ください）
- FAX：011-232-4918
- Eメール：bunkajittai@northerncross.co.jp

次のページからアンケートが始まります。

【調査実施者】札幌市市民文化局文化部文化振興課

〒060-0001 札幌市中央区北 1 条西 2 丁目
札幌時計台ビル 10 階
電話：011-211-2261



さっぽろ市
05-D05-20-2090
R2-5-41

まず、団体の基本情報をお聞きします。

Q1. 貴団体の形態をお答えください。(○は1つだけ)

1. 個人事業所
2. 株式会社・特例有限会社・相互会社
3. 合名会社・合資会社
4. 合同会社
5. 公益財団・社団法人
6. 一般財団・社団法人
7. 特定非営利活動法人
8. 学校法人
9. 宗教法人
10. 社会福祉法人・医療法人
11. 法人でない団体（保存会、組合、協議会、任意団体）
12. その他（ ）

Q2. 貴団体の事務所がある区をお答えください。事務所がない場合は貴団体代表者のお住まい等がある区をお答えください。(○は1つだけ)

1. 中央区
2. 北区
3. 東区
4. 白石区
5. 厚別区
6. 豊平区
7. 清田区
8. 南区
9. 西区
10. 手稲区
11. 札幌市外（ ）

Q3. 貴団体を構成する方の種別とそれぞれの人数を教えてください。(数値を記入)

1. 個人事業主	(人)
2. 個人事業主の家族等で無給の人(※家族でも賃金・給与を受けている人は下記いずれかとしてください)	(人)
3. 正社員・正職員(所定労働時間で働いている人)	(人)
4. 非正規社員・非正規職員(契約社員、嘱託、非常勤、パート等)	(人)
5. 臨時雇用者(1か月未満の雇用者、日雇い等)	(人)
6. ボランティア・無給スタッフ	(人)
7. 個人会員	(人)
8. その他()	(人)

Q4. 差し支えなければ、貴団体の名称を教えてください(※札幌市内にどのような文化芸術団体があるか調べさせていただくためにお聞きしています。貴団体が特定される形でご回答内容を公開したり、ご回答内容によって貴団体が不利益を被ることは一切ございません)。

()

Q5. 差し支えなければ、貴団体への連絡先メールアドレスをお教えてください。本調査報告書の公開のお知らせ、その他札幌市市民文化局文化部からのご案内を差し上げるためにお聞きしています(※メールアドレスを他の用途に使用したり、他の札幌市部局に提供したりすることは一切ございません)。

()

(※表は前頁からの続きです)

【舞踊】	43. クラシックバレエ 44. モダンダンス 45. ジャズダンス 46. ストリートダンス 47. 社交ダンス (スタンダード・ラテン) 48. フラダンス 49. バリールダンス 50. 日本舞踊 51. その他 ()
【メディア芸術】	52. 映画 (劇映画、ドラマ、ドキュメンタリー、TV 番組など) 53. アニメーション 54. 漫画 55. デジタル技術を活用した芸術表現 56. その他 ()
【伝統芸能】	57. 能楽、文楽、歌舞伎、組踊 58. 講談、落語、漫才・漫談、浪曲 59. その他 ()
【民芸】	60. 歌・舞踊 61. 口承伝承 62. 工芸 63. 手芸 (刺繍・服飾等) 64. アイヌ文化全般 65. その他 ()
【生活文化】	66. 手芸 67. 茶道 68. 華道・フラワーアレンジメント 69. 食文化 70. 囲碁・将棋等 71. その他 ()
【デザイン・建築・ファッション】	72. グラフィック・イラストレーション 73. 建築・インテリア 74. プロダクト・工業デザイン 75. ファッション・服飾 76. Web デザイン・UI/UX デザイン 77. デザインマネジメント (プロデュース・コンサルティング・ブランディングなど) 78. その他 ()
	79. その他 ()
	80. 特になし

Q7. 貴団体の文化芸術活動における主な役割を、優先順位の高い順に最大2つまでお答えください。(○は2つまで)

1. 創作発表 (音楽や舞台芸術、映画等の出演、公演、上演、作品創作〔作曲、脚本、演出、振付〕、大道芸、写真家、舞踏家、美術やメディア芸術等の作品創作・発表、その他の創作発表)
2. 企画制作 (プロデューサー、ディレクター、キュレーター、マネージャー、プロモーター、コーディネーター、中間支援、その他の企画制作)
3. 技術提供 (照明技術、音響技術、舞台技術・舞台管理、道具・衣装製作、展示設営、撮影・編集・プログラミング、デザイン、調律、トレーナー、通訳・翻訳、その他の技術提供)
4. 施設運営 (ホール・劇場、美術館・博物館、映画館、貸スペース、ライブハウス・クラブ、スタジオ・アトリエ、その他の施設運営)
5. 教育研究 (教室等の指導者、専修学校・養成所指導者、大学・高等学校の専任教員、批評家・研究者、その他の教育研究)
6. 販売 (作品販売、楽器販売、ショップ、ギャラリー、古物商、プロモーション、マネージャー)
7. サポート (ボランティア、コレクター、愛好家等)
8. その他 ()
9. 上記の技能分野では2つに絞ることができない

Q12. 2019年、2020年に貴団体が文化芸術活動の発表や作品の販売を行っていた施設・スペースをお答えください。(下表から数字を記入。記入はいくつでも)

(1) 2019年() (2) 2020年()

- ↑
- | | |
|-----------------------------|------------------------|
| 1. 劇場・ホール・美術館・ギャラリー等の文化芸術施設 | 3. 映画館 |
| 2. ライブハウス・クラブ等 | 5. 福祉施設・障がい者支援施設等 |
| 4. 区民センター等の集会施設 | 7. 学校等の教育施設 |
| 6. 病院等の医療施設 | 9. 商店街・商業施設 |
| 8. 飲食店 | 11. 公園・野外 |
| 10. 宿泊施設 | 12. 書籍・雑誌・フリーペーパー等の紙媒体 |
| 13. ラジオ・テレビ | 14. ウェブ・動画配信 |
| 15. その他() | |
| 16. なし | |

Q13. 2019年、2020年に貴団体が行った文化芸術活動の発表形態ごとの発表等の回数をお答えください。(数値を記入。発表等をしなかった場合は「5. なし」に○)

発表形態	2019年	2020年
1. 公演・展覧会・上映会等	(回)	(回)
2. ワークショップ	(回)	(回)
3. レクチャー・講演会	(回)	(回)
4. その他()	(回)	(回)
	5. なし	5. なし

Q14. 2020年に貴団体はオンラインでの発表を行いましたか。行った場合はその回数をお答えください。(○は1つだけ)

1. 行った→(回) 2. 行っていない

Q15. 1週間当たり、貴団体が文化芸術活動に関わった時間を、2019年と2020年についてお答えください。(数値を記入)

(1) 2019年(約 時間/週) (2) 2020年(約 時間/週)

Q16. 普段、どのような媒体で文化芸術活動の発表や、作品の販売等について情報発信していますか。(○はいくつでも)

- | | | |
|----------------|--------------|--------------------|
| 1. ホームページ・ブログ | 2. メールマガジン | 3. Facebook |
| 4. Twitter | 5. Instagram | 6. LINE |
| 7. TikTok | 8. YouTube | 9. テレビ |
| 10. ラジオ | 11. 新聞 | 12. ポスター・チラシ・DM 配布 |
| 13. 雑誌・フリーペーパー | 14. その他 () | |
| 15. 特になし | | |

Q17. 貴団体が札幌市から助成金や補助事業等に関する情報発信を受け取る場合、どのような媒体を望みますか。(○はいくつでも)

- | | | |
|-----------------------|------------------|-------------|
| 1. 広報さっぽろ | 2. 市の公式ホームページ | 3. Facebook |
| 4. Twitter | 5. Instagram | 6. LINE |
| 7. TikTok | 8. YouTube | 9. テレビ |
| 10. ラジオ | 11. 新聞 | |
| 12. 市の施設等へのポスター・チラシ設置 | 13. フリーペーパー等への掲載 | |
| 14. その他 () | | |
| 15. 特になし | | |

文化芸術活動による収入等についてお聞きます。

Q18. 貴団体の 2019 年と 2020 年における文化芸術活動による収入・売上の額と、文化芸術活動のために支出した金額(経費)をお答えください。ない場合は 0 (ゼロ) を記入してください。(数値を記入)

年	収入・売上	経費
2019 年	(約 万円/年)	(約 万円/年)
2020 年	(約 万円/年)	(約 万円/年)

Q19. 貴団体が文化芸術活動を行う際の主な財源をお答えください。(○はいくつでも)

- | | |
|-----------------------------------|------------------|
| 1. チケット収入や作品の売り上げ | 2. 公的・民間の助成金・補助金 |
| 3. 自治体等からの委託費 | 4. 企業協賛金 |
| 5. 文化芸術活動以外の事業収入(貯金、家賃などの不労所得を含む) | |
| 6. 出演料、講師料、振付料、作曲料、原稿料等 | |
| 7. 金融機関、消費者金融からの借金等 | 8. 構成員からの会費 |
| 9. 代表者や主要メンバーの自己負担 | |
| 10. その他 () | |
| 11. なし | |

文化芸術活動に関する課題についてお聞きします。

Q24. 貴団体が文化芸術活動を行うに当たって、不足している・課題だと感じていることをお答えください。(〇はいくつでも)

【場・機会】	1. 制作や練習の場所 3. 発表の場・機会 4. 専門性・技術向上のための育成プログラム 5. 文化芸術に関する広い学びの場・機会 6. 交流・出会いの場・機会 8. 相談の場・機会	2. インフラ・設備機器 7. 広報・告知・情報発信の場・機会 9. 収入を得るための場・機会
【人材】	10. プロデュースする人 12. マネジメントする人（広報・PR・マーケティング・営業等） 13. 賛同者・理解者 15. スタッフ・一緒に活動する人 17. 批評家・評論家・研究者 19. 法律・法的問題について相談できる専門家	11. ディレクションする人 14. 経済的支援者・協力者 16. 後継者 18. 記録・編集の専門家
【資金】	20. 制作や練習の資金 22. PRや広報の資金 23. 日常的な活動経費（材料費、人件費、旅費、場所の使用料・賃料、管理費等） 24. リサーチ・公演や制作方法の検討・準備の経費 25. スキルアップ（研修・交流含む）の経費 26. 設備・機材等の投資資金	21. 発表の資金 27. 記録・アーカイブの作成費
【コロナ関連】	28. 感染予防に関する知識・ノウハウ、ガイドライン提示 29. 感染予防のための設備・用品 30. 文化芸術関連の感染症対策専門家	
	31. その他（ ）	
	32. 困っていることはない	

文化芸術活動に対する意識等についてお聞きします。

Q25. 貴団体が文化芸術活動を続けている・行っている理由はなんですか。(〇はいくつでも)

1. 趣味や余暇活動の充実、生き甲斐の創出
2. アイデンティティの形成や自己肯定感の向上
3. 自己表現及びコミュニケーション能力の拡大
4. 人との交流、相互理解や関係を築く
5. 経済活動として取り組んでいる
6. 日常生活に新たな視点がもたらされる
7. その他（ ）
8. 特に理由はない

Q26. 文化芸術が社会にもたらす効果として、どのようなことを期待しますか。(○は
いくつでも)

- | | |
|-------------------------------|-------------------------|
| 1. 地域社会・経済の活性化 | 2. 新産業の創出 |
| 3. 人々が生きる楽しみを見出せる | 4. 地域への愛着を育むこと、コミュニティ再生 |
| 5. 地域のイメージの向上 | 6. 観光客の増加 |
| 7. 人々の創造性の向上 | 8. 子どもの豊かな心の育み |
| 9. 高齢者の社会参加・交流機会の拡大 | 10. 障がい者の活躍の場の創出 |
| 11. 多様な価値観を理解し支え合う共生社会 | |
| 12. 国際交流の促進 | 13. 健康の増進 |
| 14. 他の文化芸術領域・社会分野の活動との連携機会の創出 | |
| 15. 政治や社会に対する問題提起 | |
| 16. その他 () | |
| 17. 特にない・わからない | |

Q27. 貴団体が行っている文化芸術活動に関して、現在、接点・関わりのある「他の文化芸術分野」は何ですか。また、今後、接点・関わりを持ちたいと思っている「他の文化芸術分野」は何ですか。4～5 頁の Q6 の表から数字を選んでご記入ください。(記入はいくつでも)

- (1) 現在、接点・関わりのある「他の文化芸術分野」
()
- (2) 今後、接点・関わりを持ちたいと思っている「他の文化芸術分野」
()

Q28. 貴団体が行っている文化芸術活動に関して、現在、接点・関わりのある「社会分野」は何ですか。また、今後、接点・関わりを持ちたいと思っている「社会分野」は何ですか。（記入はそれぞれいくつでも）

(1) 現在、接点・関わりのある「社会分野」

()

(2) 今後、接点・関わりを持ちたいと思っている「社会分野」

()

- 1. 観光
- 2. 国際交流
- 3. 多文化共生（在留外国人との交流等）
- 4. 教育
- 5. 医療
- 6. 社会的包摂
- 7. SDGs
- 8. 経済・産業
- 9. 障がい福祉
- 10. スポーツ・健康増進
- 11. 子育て
- 12. 高齢者福祉
- 13. まちづくり・地域コミュニティの活性化
- 14. 環境
- 15. IT
- 16. ゲーム関連
- 17. 農業
- 18. 林業
- 19. 水産業
- 20. 食
- 21. 報道・言論
- 22. その他 ()
- 23. 特になし

Q29. 【Q27、Q28で「今後、『他の文化芸術分野』や『社会分野』と接点・関わりを持ちたい」と回答した団体・事業者にお聞きします】接点・関わりを持ってやってみたいことはどのようなことですか。自由にお書きください。

()

